, 2 1

(令和3年度)

久留米大学 医学部医学科シラバス (医学教育カリキュラム)

令和3年4月現在のデータです。

日程、講義内容は随時変更されますので、ご了承ください。

※学生は最新版を電子シラバス (Moodle) で 確認してください。

2021 Practical Clinical English M3

<u> ダッシュボード</u> / マイコース / <u>2021年度</u> / <u>2021年度・医学科</u> / 通年 / <u>3年</u> / <u>2021 Practical Clinical English M3</u>

Practical Clinical English M 3

Schedules are subject to change.

[Course Director]

Atsushi Mizoguchi, M.D., Ph.D.

(Department of Immunology)

[Course Co-Director]

Emiko Mizoguchi, M.D., Ph.D.

(Department of Immunology)

[Course Description, Aims]

In this course, students will learn essential <u>medical</u> English that is required for clinical practice. The deep understanding of essential medicine English imparted by the PCE M3 course will endow students with the requisite knowledge to understand various <u>medical</u> issue in English.

[Course Objectives]

- 1. To be familiar with essential medical terms in English, which are frequently used in clinical practice.
- 2. To read medical journals and books, which are written in English.
- 3. To understand the question written in English for national examination for <u>medical</u> practitioners.
- 4. To understand English presentation at Academic meetings.
- 5. To enjoy international interaction with foreign $\underline{\text{medical}}$ students and staffs.

参考) 医学教育モデル・コア・カリキュラム 平成28年度改訂版において、本科目が対応する項目

A 医師として求められる基本的な資質・能力

A-7 社会における医療の実践

国際医療への貢献

A-7-2) ①患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。

[Evaluation]

We will comprehensively conduct assessment by the main examination (annual test) and in-class performance (attitude toward learning).

日本医学英語検定試験準3級合格者は、受験資格の取得をもって60点合格とするが、受験も可能である。

また、日本医学英語検定試験**3級**合格者は受験資格の取得をもって合格とし、点数は科目責任者との面接により決定される。ただし受験も可能である。

詳細は科目責任者に問い合わせること。

[Feedbacks]

Students will receive feedback about the final examination (questions and answers) on this moodle site.

[Course Administrator]

Nobukazu Komatsu, Ph.D.

(Department of Immunology)

Please contact immunology@med.kurume-u.ac.jp or call (0942) 31-7551 (Department of Immunology Office)



Teaching staffs



医学英単語の理解について

(背景) これまでの医師国家試験において英語問題(症例問題)は、80%以上が正答でないと不合格となる必須問題中に2題出題され、配点割合として3%であった。そして、それらの問題の難易度は日本語に翻訳できれば簡単に解ける常識問題であった。

(2020年からの変化)2020年の医師国家試験から英語問題数はこれまでの2倍にあたる4題に増え、問題の内容も難化傾向を認めた。 今後は、アメリカ医師国家試験(USMLE)と同等レベルの難易度となり、問題数も増加していくと考えられる。つまり、日本語に翻訳できてもしっかり

した知識がないと解けない問題へと難化することが想定され、これまでのように超必須英単語を覚えているだけでは到底太刀打ちで きなくなると考えられる。

(対策)まずは、できるだけ多くの医学英単語を理解しておく必要がある。そこで、Practical Clinical English M2, M3, M4の担当教員が協力して必須医学英単語集を作成した。

(使用方法)約4000単語の日本語訳を調べる。その際、できるだけ長期記憶として留めるため、辞書で英単語の和訳を調べるか、スマートフォンなどで調べる場合は、コピー&ペーストを使わず一文字ずつ手入力して頭に入れながら意味を調べると良い。

(2年生と3年生) 今後、臨床科目の講義を受講する2年生と3年生は知らない単語が多くあるが、「日本語に訳し、この日本語の疾患名や症候は何だろう」と考えるだけでも、今後習う疾患の予習となる。同時に、4年生のPCE本試験までには全て覚えておくべき英単語を早期から記憶できる利点もある。

9th APR 2021 (Fri) Period 6

[Topics]

Practice for Medical Writing

[Teaching staff]

Atsushi Mizoguchi, M.D., Ph.D.

[Objective]

To practice for medical writing.

[Preparation]

None

14th APR 2021 (Wed) Period 7

[Topics]

Pathology

[Teaching staff]

Rei-ichiro Kondo, M.D., Ph.D

[Objective]

To learn English terms regarding pathology.

[Preparation]

None

19th APR 2021 (Mon) Period 7

[Topics]

Pulmonology

[Teaching staff]

Tomoaki Hoshino, M.D., Ph.D.

[Objective]

To learn English terms regarding pulmonology.

[Preparation]

None

8th JUN 2021 (Tue) Period 3

[Topics]

Radiology

[Teaching staff]

Norimitsu Tanaka, M.D., Ph.D.

[Objective]

To learn English terms regarding radiology.

[Preparation]

None

9th JUN 2021 (Wed) Period 7

[Topics]

Autoimmune Diseases

[Teaching staff]

Satoshi Yamasaki, M.D., Ph.D.

[Objective]

To learn English terms regarding autoimmune diseases.

Keywords: autoantibody, Disease-modifying anti-rheumatic drags (DMARDs)

[Preparation]

None

10th JUN 2021 (Thu) Period 1

[Topics]

Endocrinology 1

[Teaching staff]

Masatoshi Nomura, M.D., Ph.D.

[Objective]

To learn English terms regarding endocrinology.

Keywords: Chronic inflammation, DAMPs (Damage-associated molecular patterns), 3 point MACE (major adverse cardiovascular events)

[Preparation]

None

[Topics]

Gasteroenterology

[Teaching staff]

Rei-ichiro Kuwahara, M.D., Ph.D.

[Objective]

To learn English terms regarding gastroenterology.

[Preparation]

None

13rd OCT 2021 (Wed) Period 7

[Topics]

Gynecology

[Teaching staff]

Naotake Tsuda, M.D., Ph.D.

[Objective]

To learn English terms regarding gynecology.

[Preparation]

None

21st OCT 2021 (Thu) Period 1

[Topics]

Nephrology

Teaching staff

Yusuke Kaida, M.D., Ph.D.

[Objective]

To learn English terms regarding nephrology.

Keyword: chronic kidney disease, gloomerulonephritis, proteinuria

[Preparation]

None

22nd OCT 2021 (Fri) Period 7

[Topics]

Cardiology

[Teaching staff]

Hiroki Aoki, M.D., Ph.D.

[Objective]

To learn English terms regarding cardiology.

Keywords:循環器疾患に関する英語、循環器診療に関する英語

[Preparation]

None

[Topics]

Urology

[Teaching staff]

Tsukasa Igawa, M.D., Ph.D.

[Objective]

To learn English terms regarding urology.

Keywords: Genitourinary System, Urologic disease, Male reproductive organs

(Preparation)

None

24th NOV 2021 (Wed) Period 7

[Topics]

Surgery

[Teaching staff]

Toru Hisaka, M.D., Ph.D.

[Objective]

To learn English terms regarding surgery.

[Preparation]

None

30 NOV 2021 (Tue) Period 7

[Topics]

Neurology

[Teaching staff]

Takayuki Taniwaki, M.D., Ph.D.

[Objective]

To learn English terms regarding neurology.

Keywords: <u>Dementia</u>, <u>Parkinson's disease</u>, <u>Epilepsy</u>

[Preparation]

None

6th DEC 2021 (Mon) Period 7

[Topics]

Pediatrics 1

[Teaching staff]

Kenji Suda, M.D., Ph.D.

Objective

To learn English terms regarding pediatrics.

[Preparation]

None

19th JAN 2022 (Wed) Period 7

[Topics]

Psychiatry

[Teaching staff]

Mamoru Satoh, M.D., Ph.D.

[Objective]

To learn English terms regarding psychiatry.

Keywords: Psychiatry, Schizophrenia, bipolar disorder, anxiety disorder

[Preparation]

None

21st JAN 2022 (Fri) Period 7

[Topics]

Neurosurgery

[Teaching staff]

Motohiro Morioka, M.D., Ph.D.

[Objective]

To learn English term regarding neurosurgery.

[Preparation]

None

31st JAN 2022 (Mon) Period 7

[Topics]

Emergency Medicine

[Teaching staff]

Osamu Takasu, M.D., Ph.D.

(Objective)

To learn English term regarding emergency medicine.

[Preparation]

None

3rd FEB 2022 (Thu) Period 5

[Topics]

<u>Hematology</u>

[Teaching staff]

Emiko Mizoguchi, M.D., Ph.D.

[Objective]

Anatomy and Physiology of Blood

Anatomical Terms for Hematology and Immunology

Diagnostic and Therapeutic Procedures for Hematology/Immunology

【Preparation】 None 試験問題・解答(本試験)

あなたは 学生 アカウント としてログインしています (ログアウト) Home

日本語 (ja) English (en) 日本語 (ja)

モバイルアプリを取得する

2021 薬理学 Ⅱ

<u>ダッシュボード</u> / マイコース / <u>2021年度</u> / <u>2021年度・医学科</u> / <u>1学期</u> / <u>3年</u> / <u>2021薬理学 I</u>

薬理学Ⅱ

【統括責任者】

西 昭徳

【何を学ぶか】

- ・薬物・毒物の生体への作用について、個体・細胞・分子のレベルにおける作用機序と、生体と薬物分子との相互作用を理解し、的確な薬物療法を行うための基本的な考え方を学ぶ。
- ・診療に必要な薬物治療の基本(薬理作用、有害事象、投与時の注意事項)を学ぶ。

【獲得すべき能力(全体)】

薬物を実際に臨床応用するための各薬物に関する知識を得ることを目的としている。取り上げられる薬物は、中枢神経作用薬、自律神経作用薬、循環器作用薬、呼吸器作用薬、消化器作用薬、<u>利尿薬</u>、鎮痛薬、抗<u>炎症</u>薬、抗感染症薬、<u>抗悪性腫瘍薬</u>などである。これらの薬物の薬理作用、臨床作用、副作用などについて学ぶことを目的としている。

【獲得すべき能力(個別)】

- 1. 自律神経作用薬(<u>アドレナリン</u><エピネフリン>作用薬、抗<u>アドレナリン</u><エピネフリン>薬、コリン作用薬、抗コリン薬) の薬 理作用を説明できる。
- 2. 中枢神経作用薬(向精神薬、抗うつ薬、パーキンソン病治療薬、抗けいれん薬、全身麻酔薬)の薬理作用を説明できる。
- 3. 薬物 (オピオイドを含む) の依存、習慣性や噲癖を説明できる。
- 4. 循環器作用薬 (強心薬、抗不整脈薬、降圧薬)の薬理作用を説明できる。
- 5. 呼吸器作用薬 (気管支拡張薬)の薬理作用を説明できる。
- 6. 消化器作用薬 (潰瘍治療薬、消化管運動作用薬)の薬理作用を説明できる。
- 7. <u>利尿薬</u>の薬理作用を説明できる。
- 8. ステロイド薬および非ステロイド性抗炎症薬の薬理作用を説明できる。
- 9. 抗菌薬の薬理作用を説明できる。
- 10. 抗腫瘍薬の薬理作用を説明できる。
- 11. 生物製剤の薬理作用と副作用を説明できる。
- 12. <u>処方せん</u>の書き方を説明できる。

【身に着けてほしい能力】

薬物の薬理作用、薬物動態に基づいて、治療効果、投与量・計画、副作用、薬物相互作用などを考察する習慣を身につけ、臨床での薬物治療の実践に対応できる能力を養う。

【資料】

前日までにアップロード、データもしくは各自印刷したものを使用

【評価方法】

学期末試験:客観テスト(マークシート)60点前後及び記述試験40点前後、実習レポートの提出を受験資格の条件とし、実習レポート評価点を合否判定の参考にする。

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

実習レポート:評価後に返却する。

本試験

・選択肢問題持ち帰り

・記述問題 (解答用紙) は回収

問題公表

・本試験終了後、選択肢・記述問題をMoodleに公表

解答公表

- ・再試験終了後、選択肢問題解答(マークシート)を公表
- ・記述問題解答は配布プリントを参照のこと(但し、解答が難しい場合には質問として受け付ける)

【問い合わせ】

講義終了後、放課後、学期末試験前に、薬理学講座において質問を受け付けている。

問合せ電話番号: 内線3434 あるいは 0942-31-7545

算疑応答掲示板

料目DB

指定・参考図書

英語DB

Aa 用語集

科目評価(新)

4/27 (火) 1限 自律神経系作用薬①アドレナリン作用薬(西)

【単元】

自律神経系作用薬①アドレナリン作用薬

【講義担当者】

西 昭徳

【学習目標各論】

- 1. カテコールアミンの種類を列挙し、その生合成について述べることができる。
- 2. α作用とβ作用について列挙することができる。
- 3. カテコールアミンによる血圧調節を述べることができる。

【準備学習】

予習:指定教科書の学習内容に該当する部分を読んで予習すること。学習内容に関する概略を把握し、疑問を持って講義に臨むこ

復習:講義については当日分を復習してまとめ、重要項目・キーワードに関して知識を整理すること。

4/27 (火) 2限 自律神経系作用薬②アドレナリン作用薬(西)

【単元】

自律神経系作用薬②アドレナリン作用薬

【講義担当者】

西 昭徳

【学習目標各論】

1. アドレナリン作用薬をその作用機序から大別し、代表的な薬物名を挙げることができる。

- 2.1について主な臨床応用法について述べることができる。
- 3. 交感神経興奮薬・遮断薬について述べることができる。

【準備学習】

予習:指定教科書の学習内容に該当する部分を読んで予習すること。学習内容に関する概略を把握し、疑問を持って講義に臨むこ

と。

復習:講義については当日分を復習してまとめ、重要項目・キーワードに関して知識を整理すること。

4/27 (火) 3限 自律神経系作用薬③抗アドレナリン薬(西)

【単元】

自律神経系作用薬③抗アドレナリン薬

【講義担当者】

西 昭徳

【学習目標各論】

- 1. 抗<u>アドレナリン</u>薬を分類することができる。
- 2. 各々の特色、代表的薬物名を挙げることができる。
- 3. 上記の薬物の臨床応用、副作用について述べることができる。

【準備学習】

予習:指定教科書の学習内容に該当する部分を読んで予習すること。学習内容に関する概略を把握し、疑問を持って講義に臨むこ

復習:講義については当日分を復習してまとめ、重要項目・キーワードに関して知識を整理すること。

4/27 (火) 4限 自律神経系作用薬④ (大西)

【単元】

自律神経系作用薬④

【講義担当者】

大西 克典

【学習目標各論】

- 1. 自律神経の作用メカニズムについて説明できる。
- 2. アセチルコリンの2種の作用について述べることができる。
- 3. 自律神経機能について検査法および調節メカニズムを説明できる。
- 4. 自律神経に影響する因子について説明できる。

【準備学習】

予習:指定教科書の学習内容に該当する部分を読んで予習すること。学習内容に関する概略を把握し、疑問を持って講義に臨むこと。

復習:講義については当日分を復習してまとめ、重要項目・キーワードに関して知識を整理すること。

4/27 (火) 5限 自律神経系作用薬⑤ (大西)

【単元】

自律神経系作用薬⑤

【講義担当者】

大西 克典

【学習目標各論】

- 1. <u>アセチルコリン</u>の生合成と代謝について述べることができる。
- 2. 自律神経作用薬について作用機序から大別し、説明することができる。
- 3. 代表的なコリン作用薬を列挙し、臨床応用法を述べることができる。
- 4. 代表的な抗コリン薬を列挙し、臨床応用法を述べることができる。

【準備学習】

予習:指定教科書の学習内容に該当する部分を読んで予習すること。学習内容に関する概略を把握し、疑問を持って講義に臨むこと。

復習:講義については当日分を復習してまとめ、重要項目・キーワードに関して知識を整理すること。

4/27 (火) 6限 特別講義 薬物標的となるトランスポーター (岩本)

【単元】

特別講義 薬物標的となるトランスポーター

【講義担当者】

岩本 隆宏 教授(福岡大学 医学部 薬理学)

【学習目標各論】

- 1. トランスポーターの分類、構造、機能を説明できる。
- 2. 血管トーヌスに作用する薬物について説明できる。
- 3. トランスポーター研究の創薬応用について理解する。

【準備学習】

予習:指定教科書の学習内容に該当する部分を読んで予習すること。学習内容に関する概略を把握し、疑問を持って講義に臨むこと。

復習:講義については当日分を復習してまとめ、重要項目・キーワードに関して知識を整理すること。

4/28 (水) 1限 生体内活性物質 (河原)

【単元】

生体内活性物質

【講義担当者】

河原 幸江

【学習目標各論】

- 1. <u>ヒスタミン</u>の主な生体意義と代表的抗<u>ヒスタミン</u>薬の臨床応用について述べることができる。
- 2. プロスタグランジンの主な作用と臨床応用について述べることができる。
- 3. セロトニンの生体意義と薬理作用について述べることができる。

【準備学習】

予習:指定教科書の学習内容に該当する部分を読んで予習すること。学習内容に関する概略を把握し、疑問を持って講義に臨むこと。

復習:講義については当日分を復習してまとめ、重要項目・キーワードに関して知識を整理すること。

4/28 (水) 2限 向精神薬① (抗うつ薬) (西)

【単元】

向精神薬① (抗うつ薬)

【講義担当者】

西 昭徳

【学習目標各論】

- 1. うつ病の病因仮説を説明できる。
- 2. 抗うつ薬を分類し、作用機序を説明できる。
- 3. 抗うつ薬の副作用を説明できる。

【準備学習】

予習:指定教科書の学習内容に該当する部分を読んで予習すること。学習内容に関する概略を把握し、疑問を持って講義に臨むこ

復習:講義については当日分を復習してまとめ、重要項目・キーワードに関して知識を整理すること。

4/28(水)3限 向精神薬②(気分安定薬)(西)

【単元】

向精神薬②(気分安定薬)

【講義担当者】

西 昭徳

【学習目標各論】

- 1. 双極性障害の治療薬選択について説明できる。
- 2. 気分安定薬とその有効性について説明できる。
- 3. リチウムの作用機序、有効性、副作用について説明できる。

【準備学習】

予習:指定教科書の学習内容に該当する部分を読んで予習すること。学習内容に関する概略を把握し、疑問を持って講義に臨むこと。

復習:講義については当日分を復習してまとめ、重要項目・キーワードに関して知識を整理すること。

4/28 (水) 4限 高血圧治療薬① (大西)

【単元】

高血圧治療薬①

【講義担当者】

大西 克典

【学習目標各論】

- 1. 降圧薬の作用機序を説明できる。
- 2. 降圧薬の副作用を説明できる。
- 3. 降圧薬選択の基本を理解する。

【準備学習】

予習:指定教科書の学習内容に該当する部分を読んで予習すること。学習内容に関する概略を把握し、疑問を持って講義に臨むこ

۲.

復習:講義については当日分を復習してまとめ、重要項目・キーワードに関して知識を整理すること。

4/28 (水) 5限 高血圧治療薬② (大西)

【単元】

高血圧治療薬② (資料と動画は①に統合してアップロードしています)

【講義担当者】

大西 克典

【学習目標各論】

- 1. 降圧薬の作用機序を説明できる。
- 2. 降圧薬の副作用を説明できる。
- 3. 降圧薬選択の基本を理解する。

【準備学習】

予習:指定教科書の学習内容に該当する部分を読んで予習すること。学習内容に関する概略を把握し、疑問を持って講義に臨むこ

٤.

復習:講義については当日分を復習してまとめ、重要項目・キーワードに関して知識を整理すること。

4/28 (水) 6限 造血薬 (大西)

【単元】

造血薬

【講義担当者】

大西 克典

【学習目標各論】

- 1. 貧血を分類することができる。
- 2. 上記の分類に応じて使用される薬物名を挙げ、その作用機序について説明できる。
- 3. 鉄代謝について説明できる。

【準備学習】

予習:指定教科書の学習内容に該当する部分を読んで予習すること。学習内容に関する概略を把握し、疑問を持って講義に臨むこ

復習:講義については当日分を復習してまとめ、重要項目・キーワードに関して知識を整理すること。

4/28 (水) 7限 実習・ロールプレイ・P-drugの説明

【単元】

実習・ロールプレイ・P-drugの説明

【講義担当者】

薬理学スタッフ

【学習目標各論】

- 1. 実習内容を把握し、使用する薬物の作用機序、副作用などについて理解する。
- 2. ロールプレイで担当する症例を選択し、その症例に適切な薬物療法について学ぶ。
- 3. 担当する症例より「P-drug」の対象とする疾患を選定し、演習を開始する。

【準備学習】

予習:不要

復習:実習の各項目において、実習を行う意義と目的について考察すること。

5/6 (木) 1限 ホルモンとその関連物質①経口血糖降下薬(西)

【単元】

ホルモンとその関連物質①経口血糖降下薬

【講義担当者】

西 昭徳

【学習目標各論】

- 1. インスリンの分泌機構、生理作用について理解する。
- 2. インクレチンを用いた2型糖尿病の治療戦略について説明できる。
- 3. 病態に合わせた経口血糖降下薬の選択について説明できる。
- 4.7種類の経口血糖降下薬をあげ、その作用機序、副作用について説明できる。

【準備学習】

予習:指定教科書の学習内容に該当する部分を読んで予習すること。学習内容に関する概略を把握し、疑問を持って講義に臨むこ

復習:講義については当日分を復習してまとめ、重要項目・キーワードに関して知識を整理すること。

5/6 (木) 2限 ホルモンとその関連物質②インスリン製剤(西)

【単元】

ホルモンとその関連物質②インスリン製剤

【講義担当者】

西 昭徳

【学習目標各論】

- 1. <u>インスリン</u>療法の適応について説明できる。
- 2. <u>インスリン</u>製剤の特徴について説明できる。
- 4. インスリン投与の問題点とその対応について説明できる。

【準備学習】

予習:指定教科書の学習内容に該当する部分を読んで予習すること。学習内容に関する概略を把握し、疑問を持って講義に臨むこと。

復習:講義については当日分を復習してまとめ、重要項目・キーワードに関して知識を整理すること。

5/6 (木) 3限 鎮痛薬①抗炎症薬・解熱鎮痛薬(河原)

【単元】

鎮痛薬①抗<u>炎症</u>薬·解熱鎮痛薬

【講義担当者】

河原 幸江

【学習目標各論】

- 1. 解熱鎮痛薬の5つの薬理作用について列挙できる。
- 2. 代表的薬物について、上記の5つのプロフィールの違いを述べることができる。
- 3. 代表的薬物の臨床応用と主な副作用について述べることができる。
- 4. 代表的抗痛風薬を挙げ、その作用機序について述べることができる。

【準備学習】

予習:指定教科書の学習内容に該当する部分を読んで予習すること。学習内容に関する概略を把握し、疑問を持って講義に臨むこ と

復習:講義については当日分を復習してまとめ、重要項目・キーワードに関して知識を整理すること。

5/6 (木) 4限 鎮痛薬② (河原)

【単元】

鎮痛薬②

【講義担当者】

河原 幸江

【学習目標各論】

- 1. 痛みの生理学的機序について簡単に説明できる。
- 2. <u>麻薬性鎮痛薬</u>の特色を列挙できる。
- 3. 麻薬性鎮痛薬の薬理作用について列挙し、代表的薬物名を挙げことができる。
- 4. <u>麻薬拮抗薬</u>を列挙できる。

【準備学習】

予習:指定教科書の学習内容に該当する部分を読んで予習すること。学習内容に関する概略を把握し、疑問を持って講義に臨むこと。

復習:講義については当日分を復習してまとめ、重要項目・キーワードに関して知識を整理すること。

5/7(金)1限 向精神薬③(抗不安薬・睡眠薬)(上松)

【単元】

向精神薬③ (<u>抗不安薬・睡眠薬</u>)

【講義担当者】

上松 謙 (非常勤講師)

【学習目標各論】

抗不安薬

- 1. ベンゾジアゼピン系抗不安薬の作用機序について述べることができる。
- 2. ベンゾジアゼピン系<u>抗不安薬</u>の臨床応用、副作用について述べることができる。
- 3. 非ベンゾジアゼピン系抗不安薬の作用機序について述べることができる。

睡眠薬

- 1. 主な睡眠薬の名前と作用機序を述べることができる。
- 2. 睡眠薬使用上の臨床的問題点を列挙できる。

【準備学習】

予習:指定教科書の学習内容に該当する部分を読んで予習すること。学習内容に関する概略を把握し、疑問を持って講義に臨むこ

۲.

復習:講義については当日分を復習してまとめ、重要項目・キーワードに関して知識を整理すること。

5/7(金)2限 ホルモンとその関連物質③甲状腺ホルモンと抗甲状腺薬(西)

【単元】

ホルモンとその関連物質③甲状腺ホルモンと抗甲状腺薬

【講義担当者】

西 昭徳

【学習目標各論】

- 1. 主な下垂体ホルモンの臨床応用について説明できる。
- 2. <u>甲状腺ホルモン</u>の臨床応用について説明できる。
- 3. 抗甲状腺薬の代表的薬物名をあげ、臨床応用、副作用について説明できる。

【準備学習】

予習:指定教科書の学習内容に該当する部分を読んで予習すること。学習内容に関する概略を把握し、疑問を持って講義に臨むこ

復習:講義については当日分を復習してまとめ、重要項目・キーワードに関して知識を整理すること。

5/7 (金) 3限 ホルモンとその関連物質(4)副腎皮質ホルモン(西)

【単元】

ホルモンとその関連物質④副腎皮質ホルモン

【講義担当者】

西 昭徳

【学習目標各論】

- 1. 副腎皮質ホルモンの生理作用について説明できる。
- 2. 代表的副腎皮質ホルモンの特徴を説明できる。
- 3. 副腎皮質ホルモンの臨床応用、重篤な副作用について説明できる。

【準備学習】

予習:指定教科書の学習内容に該当する部分を読んで予習すること。学習内容に関する概略を把握し、疑問を持って講義に臨むこと。

復習:講義については当日分を復習してまとめ、重要項目・キーワードに関して知識を整理すること。

5/7 (金) 4限 向精神薬(4) (薬物依存) (首藤)

【単元】

向精神薬④(薬物依存)

【講義担当者】

首藤 隆秀

【学習目標各論】

- 1. 依存性薬物の薬理作用を理解する。
- 2. 精神依存および身体依存を生じる薬物名を挙げることができる。
- 3. 嫌酒薬について説明できる。

【準備学習】

予習:指定教科書の学習内容に該当する部分を読んで予習すること。学習内容に関する概略を把握し、疑問を持って講義に臨むこ

復習:講義については当日分を復習してまとめ、重要項目・キーワードに関して知識を整理すること。

5/11 (火) 1限 二重盲検実習結果考察

【単元】

二重盲検実習結果考察

【講義担当者】

薬理学実習担当者全員

5/11 (火) 2限 利尿薬 (西)

【単元】

利尿薬

【講義担当者】

西 昭徳

【学習目標各論】

- 1. 尿生成メカニズムを理解し、<u>利尿薬</u>の作用機序を説明できる。
- 2. <u>ループ利尿薬、チアジド系利尿薬、カリウム保持性利尿薬、炭酸脱水酵素阻害薬、浸透圧性利尿薬</u>の代表的薬物名を挙げ、これらの薬理作用と副作用を列挙できる。

【準備学習】

予習:指定教科書の学習内容に該当する部分を読んで予習すること。学習内容に関する概略を把握し、疑問を持って講義に臨むこと。

復習:講義については当日分を復習してまとめ、重要項目・キーワードに関して知識を整理すること。

5/11(火)3限 抗てんかん薬(首藤)

【単元】

抗てんかん薬

【講義担当者】

首藤 隆秀

【学習目標各論】

1. けいれん発作発現機序を理解する。

2. てんかん発作の分類と抗てんかん薬の代表的薬物名を挙げることができる。

【準備学習】

予習:指定教科書の学習内容に該当する部分を読んで予習すること。学習内容に関する概略を把握し、疑問を持って講義に臨むこ

と。

復習:講義については当日分を復習してまとめ、重要項目・キーワードに関して知識を整理すること。

5/11 (火) 4限 強心薬 (河原)

【単元】

強心薬

【講義担当者】

河原 幸江

【学習目標各論】

- 1. 強心薬について大別することができる。
- 2. 強心配糖体の作用機序について述べることができる。
- 3. 強心配糖体の名称を列挙し、作用発現速度、作用持続時間の違いについて述べることができる。
- 4. 強心配糖体の臨床応用、副作用について述べることができる。

【準備学習】

予習:指定教科書の学習内容に該当する部分を読んで予習すること。学習内容に関する概略を把握し、疑問を持って講義に臨むこ

と。

復習:講義については当日分を復習してまとめ、重要項目・キーワードに関して知識を整理すること。

5/12 (水) 1限 拍律調整薬① (河原)

【単元】

拍律調整薬①

【講義担当者】

河原 幸江

【学習目標各論】

1. 代表的な拍律調整薬名を挙げ、その臨床応用、副作用について述べることができる。

【準備学習】

予習:指定教科書の学習内容に該当する部分を読んで予習すること。学習内容に関する概略を把握し、疑問を持って講義に臨むこ

復習:講義については当日分を復習してまとめ、重要項目・キーワードに関して知識を整理すること。

5/12 (水) 2限 拍律調整薬②血圧上昇薬(河原)

【単元】

拍律調整薬②血圧上昇薬

【講義担当者】

【学習目標各論】

拍律調整薬

1. 代表的な拍律調整薬名を挙げ、その臨床応用、副作用について述べることができる。

血圧上昇薬

1. 代表的な血圧上昇薬を挙げ、その臨床応用について述べることができる。

【準備学習】

予習:指定教科書の学習内容に該当する部分を読んで予習すること。学習内容に関する概略を把握し、疑問を持って講義に臨むこと。

復習:講義については当日分を復習してまとめ、重要項目・キーワードに関して知識を整理すること。

5/12 (水) 3限 特別講義 P-drug (笹栗)

【単元】

特別講義 P-drug

【講義担当者】

笹栗 俊之 教授(九州大学大学院 医学研究院 臨床薬理学)

【学習目標各論】

- 6つのステップを習得する。
 - 1. 診断を定義する。
 - 2. 治療目標を特定する。
 - 3. 有効な薬物群の目録を作成する。
 - 4. クライテリアに従って有効な薬物群を選択する。
 - 5. P-drugを選択する。
 - 6. 自分の処方集を作成する。

【準備学習】

予習:指定教科書の学習内容に該当する部分を読んで予習すること。学習内容に関する概略を把握し、疑問を持って講義に臨むこ と

復習:講義については当日分を復習してまとめ、重要項目・キーワードに関して知識を整理すること。

5/12 (水) 4限 特別講義 P-drug (笹栗)

【単元】

特別講義 P-drug

【講義担当者】

笹栗 俊之 教授(九州大学大学院 医学研究院 臨床薬理学)

【学習目標各論】

6つのステップを習得する。

- 1. 診断を定義する。
- 2. 治療目標を特定する。
- 3. 有効な薬物群の目録を作成する。
- 4. クライテリアに従って有効な薬物群を選択する。

- 5. P-drugを選択する。
- 6. 自分の処方集を作成する。

【準備学習】

予習:指定教科書の学習内容に該当する部分を読んで予習すること。学習内容に関する概略を把握し、疑問を持って講義に臨むこ

と。

復習:講義については当日分を復習してまとめ、重要項目・キーワードに関して知識を整理すること。

5/13 (木) 1限 消化器作用薬① (西)

【単元】

消化器作用薬①

【講義担当者】

西 昭徳

【学習目標各論】

- 1. <u>消化性潰瘍</u>の発症機序を説明できる。
- 2. <u>消化性潰瘍</u>治療薬を分類し、その作用機序を説明できる。
- 3. ヘリコバクター・ピロリ感染症の治療法について説明できる。

【準備学習】

予習:指定教科書の学習内容に該当する部分を読んで予習すること。学習内容に関する概略を把握し、疑問を持って講義に臨むこ と

復習:講義については当日分を復習してまとめ、重要項目・キーワードに関して知識を整理すること。

5/13 (木) 2限 消化器作用薬② (西)

【単元】

消化器作用薬②

【講義担当者】

西 昭徳

【学習目標各論】

- 1. 代表的制吐薬をあげ、その作用機序を説明できる。
- 2. 止瀉薬、瀉下薬の作用機序を理解する。
- 3. <u>潰瘍性大腸炎</u>、クローン病の治療薬をあげることができる。

【準備学習】

予習:指定教科書の学習内容に該当する部分を読んで予習すること。学習内容に関する概略を把握し、疑問を持って講義に臨むこ と

復習:講義については当日分を復習してまとめ、重要項目・キーワードに関して知識を整理すること。

5/13 (木) 3限 向精神薬⑤ (抗精神病薬) (西川)

【単元】

向精神薬⑤(抗精神病薬)

【講義担当者】

西川 正(非常勤講師)

【学習目標各論】

- 1. 統合失調症の病態について説明できる。
- 2. 抗精神病薬の薬理作用について説明できる。
- 3. 抗精神病薬の使用法、副作用について概説できる。

【準備学習】

予習:指定教科書の学習内容に該当する部分を読んで予習すること。学習内容に関する概略を把握し、疑問を持って講義に臨むこ

復習:講義については当日分を復習してまとめ、重要項目・キーワードに関して知識を整理すること。

5/13 (木) 4限 血液凝固阻止薬と促進薬 (大西)

【単元】

血液凝固阻止薬と促進薬

【講義担当者】

大西 克典

【学習目標各論】

- 1. 血液凝固の機序について簡単に説明できる。
- 2. 代表的血液凝固阻止薬名を挙げ、その作用機序について述べることができる。
- 3. 各々の臨床応用、その際の注意点について述べることができる。
- 4. 代表的血液凝固促進薬(止血薬)名を挙げ、その作用機序について述べることができる。

【準備学習】

予習:指定教科書の学習内容に該当する部分を読んで予習すること。学習内容に関する概略を把握し、疑問を持って講義に臨むこと。

復習:講義については当日分を復習してまとめ、重要項目・キーワードに関して知識を整理すること。

5/14 (金) 1限 麻酔薬 (石井)

【単元】

麻酔薬

【講義担当者】

石井 秀夫(非常勤講師)

【学習目標各論】

- 1. <u>麻酔薬</u>について定義することができる。
- 2. 麻酔の深度について分類することができる。
- 3. 吸入麻酔薬の主なものを挙げ、その長所、短所を述べることができる。
- 4. 注射用麻酔薬の名を挙げ、その長所、短所を述べることができる。
- 5. 麻酔前処置で用いる主な薬名を列挙し、その使用目的を述べることができる。

【準備学習】

予習:指定教科書の学習内容に該当する部分を読んで予習すること。学習内容に関する概略を把握し、疑問を持って講義に臨むこと。

復習:講義については当日分を復習してまとめ、重要項目・キーワードに関して知識を整理すること。

5/14(金)2限 筋弛緩薬(石井)

【単元】

筋弛緩薬

【講義担当者】

石井 秀夫 (非常勤講師)

【学習目標各論】

- 1. 神経筋接合部における骨格筋の収縮機序について順序よく説明できる。
- 2. 筋弛緩薬を2つに大別し、その作用機序について1と関連付けて説明できる。

【準備学習】

予習:指定教科書の学習内容に該当する部分を読んで予習すること。学習内容に関する概略を把握し、疑問を持って講義に臨むこ

٤.

復習:講義については当日分を復習してまとめ、重要項目・キーワードに関して知識を整理すること。

5/14(金)3限 脂質異常症治療薬(黒岩)

【単元】

脂質異常症治療薬

【講義担当者】

黒岩 真帆美

【学習目標各論】

- 1. 生体内での脂質の輸送及び代謝について述べることができる。
- 2. コレステロールの生合成について述べることができる。
- 3. <u>脂質異常症</u>治療薬をその作用機序から分類し、代表的な薬物名を挙げることができる。
- 4. 上記の薬物の臨床応用法について述べることができる。

【準備学習】

予習:指定教科書の学習内容に該当する部分を読んで予習すること。学習内容に関する概略を把握し、疑問を持って講義に臨むこと。

復習:講義については当日分を復習してまとめ、重要項目・キーワードに関して知識を整理すること。

5/14(金)4限 生殖器作用薬(河原)

【単元】

生殖器作用薬

【講義担当者】

河原 幸江

【学習目標各論】

- 1. 子宮収縮薬使用の臨床的な目的を3つ挙げ、説明できる。
- 2. 主な子宮収縮薬名を挙げ、その特色を述べることができる。
- 3. <u>子宮収縮薬</u>抑制使用の臨床的な目的を3つ挙げ、説明できる。

- 4. 代表的な子宮収縮抑制薬名を挙げることができる。
- 5. 避妊薬の作用機序の主なものについて列挙できる。

【準備学習】

予習:指定教科書の学習内容に該当する部分を読んで予習すること。学習内容に関する概略を把握し、疑問を持って講義に臨むこ

復習:講義については当日分を復習してまとめ、重要項目・キーワードに関して知識を整理すること。

5/18 (火) 3限 抗パーキンソン病薬 (溝口)

【単元】

抗<u>パーキンソン病</u>薬

【講義担当者】

溝口 克弘 (非常勤講師)

【学習目標各論】

- 1. <u>黒質</u>—<u>線条体ドパミン</u>神経系を説明できる。
- 2. パーキンソン病治療薬を上げ、その作用機序を説明できる。
- 3. パーキンソン病治療薬の副作用を説明できる。
- 4. 長期L-DOPA投与症候群について説明できる。

【準備学習】

予習:指定教科書の学習内容に該当する部分を読んで予習すること。学習内容に関する概略を把握し、疑問を持って講義に臨むこと。

復習:講義については当日分を復習してまとめ、重要項目・キーワードに関して知識を整理すること。

5/18 (火) 4限 認知症治療薬(西)

【単元】

認知症治療薬

【講義担当者】

西 昭徳(教授)

【学習目標各論】

- 1. アルツハイマー病治療薬と脳血管性認知症治療薬について述べることができる。
- 2. 抗コリンエステラーゼ薬とNMDA遮断薬の作用を述べることができる。
- 3. 上記薬物の臨床応用、副作用を述べることができる。

【準備学習】

予習:指定教科書の学習内容に該当する部分を読んで予習すること。学習内容に関する概略を把握し、疑問を持って講義に臨むこ と

復習:講義については当日分を復習してまとめ、重要項目・キーワードに関して知識を整理すること。

5/19 (水) 3限 抗感染症薬① (首藤)

【単元】

抗感染症薬①

【講義担当者】

首藤 隆秀

【学習目標各論】

- 1. 抗細菌薬を作用機序により分類し、その代表的な薬物名を挙げることができる。
- 2. 代表的な抗真菌薬を挙げ、その作用機序と臨床応用について述べることができる。
- 3. 代表的な抗ウイルス薬を挙げ、その作用機序と臨床応用について述べることができる。

【準備学習】

予習:指定教科書の学習内容に該当する部分を読んで予習すること。学習内容に関する概略を把握し、疑問を持って講義に臨むこと。

復習:講義については当日分を復習してまとめ、重要項目・キーワードに関して知識を整理すること。

5/19 (水) 4限 抗感染症薬②(首藤)

【単元】

抗感染症薬②

【講義担当者】

首藤 隆秀

【学習目標各論】

- 1. 抗細菌薬を作用機序により分類し、その代表的な薬物名を挙げることができる。
- 2. 代表的な抗真菌薬を挙げ、その作用機序と臨床応用について述べることができる。
- 3. 代表的な抗ウイルス薬を挙げ、その作用機序と臨床応用について述べることができる。

【準備学習】

予習:指定教科書の学習内容に該当する部分を読んで予習すること。学習内容に関する概略を把握し、疑問を持って講義に臨むこ と

復習:講義については当日分を復習してまとめ、重要項目・キーワードに関して知識を整理すること。

5/20 (木) 3限 抗悪性腫瘍薬① (首藤)

【単元】

抗悪性腫瘍薬①

【講義担当者】

首藤 隆秀

【学習目標各論】

- 1. 抗悪性腫瘍薬をその作用機序から分類し、その代表的な薬物名を挙げ、臨床応用について述べることができる。
- 2. 代表的な分子標的治療薬の作用機序、副作用、臨床応用について述べることができる。

【準備学習】

予習:指定教科書の学習内容に該当する部分を読んで予習すること。学習内容に関する概略を把握し、疑問を持って講義に臨むこ

復習:講義については当日分を復習してまとめ、重要項目・キーワードに関して知識を整理すること。

5/20 (木) 4限 抗悪性腫瘍薬② (首藤)

【単元】

抗悪性腫瘍薬2

【講義担当者】

【学習目標各論】

- 1. 抗悪性腫瘍薬をその作用機序から分類し、その代表的な薬物名を挙げ、臨床応用について述べることができる。
- 2. 代表的な分子標的治療薬の作用機序、副作用、臨床応用について述べることができる。

【準備学習】

予習:指定教科書の学習内容に該当する部分を読んで予習すること。学習内容に関する概略を把握し、疑問を持って講義に臨むこと

復習:講義については当日分を復習してまとめ、重要項目・キーワードに関して知識を整理すること。

5/21(金)3限 特別講義 冠血管拡張薬(筒井)

【単元】

特別講義 冠血管拡張薬

【講義担当者】

筒井 正人 教授(琉球大学大学院医学研究科薬理学)

【学習目標各論】

- 1. <u>狭心症</u>の発生機序を説明できる。
- 2. 代表的な狭心症治療薬の作用機序、適応、副作用について説明できる。
- 3. 狭心症の病態・分類に基づいた狭心症治療薬の選択を説明できる。

【準備学習】

予習:指定教科書の学習内容に該当する部分を読んで予習すること。学習内容に関する概略を把握し、疑問を持って講義に臨むこと。

復習:講義については当日分を復習してまとめ、重要項目・キーワードに関して知識を整理すること。

5/21(金)4限 特別講義 冠血管拡張薬(筒井)

【単元】

特別講義 冠血管拡張薬

【講義担当者】

筒井 正人 教授 (琉球大学 大学院 医学研究科 薬理学)

【学習目標各論】

- 1. <u>狭心症</u>の発生機序を説明できる。
- 2. 代表的な狭心症治療薬の作用機序、適応、副作用について説明できる。
- 3. <u>狭心症</u>の病態・分類に基づいた<u>狭心症</u>治療薬の選択を説明できる。

【準備学習】

予習:指定教科書の学習内容に該当する部分を読んで予習すること。学習内容に関する概略を把握し、疑問を持って講義に臨むこと。

復習:講義については当日分を復習してまとめ、重要項目・キーワードに関して知識を整理すること。

【単元】

処方せん1

【講義担当者】

西 昭徳

【学習目標各論】

- 1. 内服薬処方せん記載のルールを理解する。
- 2. 内服薬処方せんの書き方を学ぶ。
- 3. 調剤と疑義照会について理解する。
- 4. 処方ミスと医療事故について考察する。

【準備学習】

予習:指定教科書の学習内容に該当する部分を読んで予習すること。学習内容に関する概略を把握し、疑問を持って講義に臨むこ と

復習:講義については当日分を復習してまとめ、重要項目・キーワードに関して知識を整理すること。

5/25 (火) 4限 処方せん②(西)

【単元】

<u>処方せん</u>②

【講義担当者】

西 昭徳

【学習目標各論】

- 1. 内服薬処方せん記載のルールを理解する。
- 2. 内服薬<u>処方せん</u>の書き方を学ぶ。
- 3. 調剤と疑義照会について理解する。
- 4. 処方ミスと医療事故について考察する。

【準備学習】

予習:指定教科書の学習内容に該当する部分を読んで予習すること。学習内容に関する概略を把握し、疑問を持って講義に臨むこと。

復習:講義については当日分を復習してまとめ、重要項目・キーワードに関して知識を整理すること。

5/26(水)3限 抗悪性腫瘍薬③(首藤)

【単元】

抗悪性腫瘍薬3

【講義担当者】

首藤 隆秀

【学習目標各論】

- 1. 抗悪性腫瘍薬をその作用機序から分類し、その代表的な薬物名を挙げ、臨床応用について述べることができる。
- 2. 代表的な分子標的治療薬の作用機序、副作用、臨床応用について述べることができる。

【準備学習】

予習:指定教科書の学習内容に該当する部分を読んで予習すること。学習内容に関する概略を把握し、疑問を持って講義に臨むこと。

復習:講義については当日分を復習してまとめ、重要項目・キーワードに関して知識を整理すること。

5/26 (水) 4限 TBL演習

【単元】

TBL演習

試験問題·解答(本試験)

あなたは 学生 アカウント としてログインしています (ログアウト) Home

日本語 (ja) English (en) 日本語 (ja)

モバイルアプリを取得する

2021 薬理学 Ⅱ 実習

<u>ダッシュボード</u> / マイコース / <u>2021年度</u> / <u>2021年度・医学科</u> / <u>実習</u> / <u>3年</u> / <u>2021薬理学Ⅱ実習</u>

薬理学Ⅱ実習

質疑応答掲示板

料目DB

指定・参考図書

■ 英語DB

Aa 用語集

科目評価(新)

5/6 (木) 5限~8限 実習・ロールプレイ・P-drugの準備

[学習到達目標]

- 1. 実習内容を把握し、使用する薬物の作用機序、副作用などについて理解する。
- 2. ロールプレイで担当する症例を選択し、その症例に適切な薬物療法について学ぶ。
- 3. 担当する症例より「P-drug」の対象とする疾患を選定し、演習を開始する。

[資料]

薬理学実習書 ロールプレイ配布資料

[準備学習(予習・復習)]

予習:不要

復習:実習の各項目において、実習を行う意義と目的について考察すること。

5/7 (金) 5限~8限 実習 I: 二重盲検比較試験

[学習到達目標]

1. 学生自身が、被験者、医師、コントローラーの役割を演じ、モデル化された薬効評価を体験することにより、実際に臨床の場でいかにして薬物の評価が行われているのかを知る。

[資料]

薬理学実習書

[準備学習(予習・復習)]

予習: 2年「薬理学 I」の臨床研究の講義プリントを復習して臨むこと。

復習:二重盲検比較試験の結果について考察すること。

5/11 (火) 5限~8限 実習Ⅱ:血圧に関する生理・薬理/実習Ⅲ:腸管の自律神経支配と薬理

Aグループ: (実習Ⅱ)血圧に関する生理・薬理

[学習到達目標]

- 1. 麻酔下のウサギの血圧に及ぼす自律神経作用薬の影響を観察する。
- 2. 自律神経作用薬の拮抗関係を観察、理解する。

[準備学習(予習・復習)]

予習:指定教科書、講義プリントを参照し、実習で使用する試薬の血圧に及ぼす影響を把握する。

復習:実習内容を理解し、得られた結果を考察する。

Bグループ: (実習Ⅲ) 腸管の自律神経支配と薬理

「学習到達日標」

1. モルモット摘出腸管に自律神経作用薬を与え、収縮に及ぼす作用を観察し、拮抗薬適用によってどのような変化が起こるかを観察する。

[準備学習(予習・復習)]

予習:実習書の1)実習方法の概略、2)使用薬物の腸管に対する作用機序、4)薬物の相互作用を把握しておくこと。

復習:実習内容を理解し、得られた結果を考察する。

Cグループ: P-drug演習・レポート作成

[学習到達目標]

- 1. 症例についてP-drug演習を実施し、ロールプレイの討論・発表準備を行う。
- 2. 症例に対するレポート(処方集)を作成する。

[準備学習(予習・復習)]

予習:指定教科書、講義プリントを参照し、P-drugのステップを把握する。

復習:実習内容を理解し、自分の処方集を評価する。

Dグループ: P-drug演習・レポート作成

「学習到達目標」

- 1. 症例についてP-drug演習を実施し、ロールプレイの討論・発表準備を行う。
- 2. 症例に対するレポート(処方集)を作成する。

[準備学習(予習・復習)]

予習:指定教科書、講義プリントを参照し、P-drugのステップを把握する。

復習:実習内容を理解し、自分の処方集を評価する。

[資料]

薬理学実習書

5/12 (水) 5限~8限 実習Ⅱ:血圧に関する生理・薬理/実習Ⅲ:腸管の自律神経 支配と薬理

Aグループ: P-drug演習・レポート作成

[学習到達目標]

- 1. 症例についてP-drug演習を実施し、ロールプレイの討論・発表準備を行う。
- 2. 症例に対するレポート(処方集)を作成する。

[準備学習(予習・復習)]

予習:指定教科書、講義プリントを参照し、P-drugのステップを把握する。

復習:実習内容を理解し、自分の処方集を評価する。

Bグループ: P-drug演習・レポート作成

[学習到達目標]

- 1. 症例についてP-drug演習を実施し、ロールプレイの討論・発表準備を行う。
- 2. 症例に対するレポート(処方集)を作成する。

[準備学習(予習・復習)]

予習:指定教科書、講義プリントを参照し、P-drugのステップを把握する。

復習:実習内容を理解し、自分の処方集を評価する。

Cグループ: (実習Ⅱ) 血圧に関する生理・薬理

[学習到達目標]

- 1. 麻酔下のウサギの血圧に及ぼす自律神経作用薬の影響を観察する。
- 2. 自律神経作用薬の拮抗関係を観察、理解する。

[準備学習(予習・復習)]

予習:指定教科書、講義プリントを参照し、実習で使用する試薬の血圧に及ぼす影響を把握する。

復習:実習内容を理解し、得られた結果を考察する。

Dグループ: (実習Ⅲ) 腸管の自律神経支配と薬理

[学習到達目標]

1. モルモット摘出腸管に自律神経作用薬を与え、収縮に及ぼす作用を観察し、拮抗薬適用によってどのような変化が起こるかを観察する。

[準備学習(予習・復習)]

予習:実習書の1)実習方法の概略、2)使用薬物の腸管に対する作用機序、4)薬物の相互作用を把握しておくこと。

復習:実習内容を理解し、得られた結果を考察する。

[資料]

薬理学実習書

5/13 (木) 5限~8限 実習Ⅱ:血圧に関する生理・薬理/実習Ⅲ:腸管の自律神経支配と薬理

Aグループ: (実習Ⅲ) 腸管の自律神経支配と薬理

「学習到達日標

1. モルモット摘出腸管に自律神経作用薬を与え、収縮に及ぼす作用を観察し、拮抗薬適用によってどのような変化が起こるかを観察する。

[準備学習(予習・復習)]

予習:実習書の1)実習方法の概略、2)使用薬物の腸管に対する作用機序、4)薬物の相互作用を把握しておくこと。

復習:実習内容とその考察をレポートにまとめ、後日提出すること。

Bグループ: (実習Ⅱ) 血圧に関する生理・薬理

[学習到達目標]

- 1. 麻酔下のウサギの血圧に及ぼす自律神経作用薬の影響を観察する。
- 2. 自律神経作用薬の拮抗関係を観察、理解する

「準備学習(予習・復習)]

予習:指定教科書、講義プリントを参照し、実習で使用する試薬の血圧に及ぼす影響を把握する。

復習:実習内容を理解し、得られた結果を考察する。

Cグループ: P-drug演習・レポート作成

「学習到達目標]

- 1. 症例についてP-drug演習を実施し、ロールプレイの討論・発表準備を行う。
- 2. 症例に対するレポート(処方集)を作成する。

[準備学習(予習・復習)]

予習:指定教科書、講義プリントを参照し、P-drugのステップを把握する。

復習:実習内容を理解し、自分の処方集を評価する。

Dグループ: P-drug演習・レポート作成

「学習到達目標)

- 1. 症例についてP-drug演習を実施し、ロールプレイの討論・発表準備を行う。
- 2. 症例に対するレポート(処方集)を作成する。

[準備学習(予習・復習)]

予習:指定教科書、講義プリントを参照し、P-drugのステップを把握する。

復習:実習内容を理解し、自分の処方集を評価する。

[資料]

薬理学実習書

5/14 (金) 5限~8限 実習Ⅱ:血圧に関する生理・薬理/実習Ⅲ:腸管の自律神経 支配と薬理

Aグループ: P-drug演習・レポート作成

「学習到達日標」

- 1. 症例についてP-drug演習を実施し、ロールプレイの討論・発表準備を行う。
- 2. 症例に対するレポート(処方集)を作成する。

[準備学習(予習・復習)]

予習:指定教科書、講義プリントを参照し、P-drugのステップを把握する。

復習:実習内容を理解し、自分の処方集を評価する。

Bグループ:P-drug演習・レポート作成

[学習到達目標]

- 1. 症例についてP-drug演習を実施し、ロールプレイの討論・発表準備を行う。
- 2. 症例に対するレポート(処方集)を作成する。

[準備学習(予習・復習)]

予習:指定教科書、講義プリントを参照し、P-drugのステップを把握する。

復習:実習内容を理解し、自分の処方集を評価する。

Cグループ: (実習皿) 腸管の自律神経支配と薬理

[学習到達目標]

1. モルモット摘出腸管に自律神経作用薬を与え、収縮に及ぼす作用を観察し、拮抗薬適用によってどのような変化が起こるかを観 察する。

[準備学習(予習・復習)]

予習:実習書の1)実習方法の概略、2)使用薬物の腸管に対する作用機序、4)薬物の相互作用を把握しておくこと。

復習:実習内容とその考察をレポートにまとめ、後日提出すること。

Dグループ: (実習Ⅱ) 血圧に関する生理・薬理

[学習到達目標]

- 1. 麻酔下のウサギの血圧に及ぼす自律神経作用薬の影響を観察する。
- 2. 自律神経作用薬の拮抗関係を観察、理解する

[準備学習(予習・復習)]

予習:指定教科書、講義プリントを参照し、実習で使用する試薬の血圧に及ぼす影響を把握する。

復習:実習内容を理解し、得られた結果を考察する。

[資料]

薬理学実習書

5/18 (火) 5限~8限 実習IV: 行動薬理と抗けいれん作用/実習V:痛みの生理と 鎮痛薬

Aグループ: (実習IV) 行動薬理と抗けいれん作用

[学習到達目標]

- 1. 自発運動量を測定すること、並びに薬物投与後の一般行動を観察することにより、向精神薬の作用を知る。
- 2.2種類の実験的けいれんの違いとそれに対する抗けいれん薬の作用を知り、その臨床応用について学ぶ。

「準備学習(予習・復習)]

予習: 関連する講義資料および実習書を熟読して実習内容の概略を把握し、疑問を持って臨むこと。

復習:実験結果について考察し、知識を整理すること。

Bグループ: (実習V) 痛みの生理と鎮痛薬

「学習到達目標)

1. 痛みのメカニズムについて理解し、種々の鎮痛作用測定法を用いて鎮痛薬の作用特性を理解する。

[準備学習(予習・復習)]

予習:使用する薬物および方法について、充分に理解を深めてから実習に臨むこと。

復習:実習の結果から何が分かったのか、整理してまとめること。

Cグループ: P-drug演習・レポート作成

[学習到達目標]

- 1. 症例についてP-drug演習を実施し、ロールプレイの討論・発表準備を行う。
- 2. 症例に対するレポート(処方集)を作成する。

[準備学習(予習・復習)]

予習:指定教科書、講義プリントを参照し、P-drugのステップを把握する。

復習:実習内容を理解し、自分の処方集を評価する。

Dグループ: P-drug演習・レポート作成

[学習到達目標]

- 1. 症例についてP-drug演習を実施し、ロールプレイの討論・発表準備を行う。
- 2. 症例に対するレポート(処方集)を作成する。

[準備学習(予習・復習)]

予習:指定教科書、講義プリントを参照し、P-drugのステップを把握する。

復習:実習内容を理解し、自分の処方集を評価する。

[資料]

薬理学実習書

5/19 (水) 5限~8限 実習IV:行動薬理と抗けいれん作用/実習V:痛みの生理と 鎮痛薬

Aグループ:P-drug演習・レポート作成

[学習到達目標]

- 1. 症例についてP-drug演習を実施し、ロールプレイの討論・発表準備を行う。
- 2. 症例に対するレポート(処方集)を作成する。

[準備学習(予習・復習)]

予習:指定教科書、講義プリントを参照し、P-drugのステップを把握する。

復習:実習内容を理解し、自分の処方集を評価する。

Bグループ: P-drug演習・レポート作成

[学習到達目標]

- 1. 症例についてP-drug演習を実施し、ロールプレイの討論・発表準備を行う。
- 2. 症例に対するレポート(処方集)を作成する。

[準備学習(予習・復習)]

予習:指定教科書、講義プリントを参照し、P-drugのステップを把握する。

復習:実習内容を理解し、自分の処方集を評価する。

· Cグループ: (実習IV) 行動薬理と抗けいれん作用

「学習到達日標」

- 1. 自発運動量を測定すること、並びに薬物投与後の一般行動を観察することにより、向精神薬の作用を知る。
- 2.2種類の実験的けいれんの違いとそれに対する抗けいれん薬の作用を知り、その臨床応用について学ぶ。

[準備学習(予習・復習)]

予習:関連する講義資料および実習書を熟読して実習内容の概略を把握し、疑問を持って臨むこと。

復習:実験結果について考察し、知識を整理すること。

· Dグループ: (実習V) 痛みの生理と鎮痛薬

[学習到達目標]

1. 痛みのメカニズムについて理解し、種々の鎮痛作用測定法を用いて鎮痛薬の作用特性を理解する。

[準備学習(予習・復習)]

予習:使用する薬物および方法について、充分に理解を深めてから実習に臨むこと。

復習:実習の結果から何が分かったのか、整理してまとめること。

[資料]

薬理学実習書

5/20(木)5限~8限 実習IV:行動薬理と抗けいれん作用/実習V:痛みの生理と 鎮痛薬

Aグループ: (実習V) 痛みの生理と鎮痛薬

「学習到達目標」

1. 痛みのメカニズムについて理解し、種々の鎮痛作用測定法を用いて鎮痛薬の作用特性を理解する。

[準備学習(予習・復習)]

予習:使用する薬物および方法について、充分に理解を深めてから実習に臨むこと。

復習:実習の結果から何が分かったのか、整理してまとめること。

Bグループ: (実習IV) 行動薬理と抗けいれん作用

[学習到達目標]

- 1. 自発運動量を測定すること、並びに薬物投与後の一般行動を観察することにより、向精神薬の作用を知る。
- 2. 2種類の実験的けいれんの違いとそれに対する抗けいれん薬の作用を知り、その臨床応用について学ぶ。

[準備学習(予習・復習)]

予習:関連する講義資料および実習書を熟読して実習内容の概略を把握し、疑問を持って臨むこと。

復習:実験結果について考察し、知識を整理すること。

Cグループ: P-drug演習・レポート作成

[学習到達目標]

- 1. 症例についてP-drug演習を実施し、ロールプレイの討論・発表準備を行う。
- 2. 症例に対するレポート(処方集)を作成する。

[準備学習(予習・復習)]

予習:指定教科書、講義プリントを参照し、P-drugのステップを把握する。

復習:実習内容を理解し、自分の処方集を評価する。

Dグループ:P-drug演習・レポート作成

[学習到達目標]

- 1. 症例についてP-drug演習を実施し、ロールプレイの討論・発表準備を行う。
- 2. 症例に対するレポート(処方集)を作成する。

[準備学習(予習・復習)]

予習:指定教科書、講義プリントを参照し、P-drugのステップを把握する。

復習:実習内容を理解し、自分の処方集を評価する。

[資料]

薬理学実習書

5/21 (金) 5限~8限 実習IV: 行動薬理と抗けいれん作用/実習V:痛みの生理と 鎮痛薬

Aグループ: P-drug演習・レポート作成

「学習到達日標」

- 1. 症例についてP-drug演習を実施し、ロールプレイの討論・発表準備を行う。
- 2. 症例に対するレポート(処方集)を作成する。

[準備学習(予習・復習)]

予習:指定教科書、講義プリントを参照し、P-drugのステップを把握する。

復習:実習内容を理解し、自分の処方集を評価する。

Bグループ: P-drug演習・レポート作成

[学習到達目標]

- 1. 症例についてP-drug演習を実施し、ロールプレイの討論・発表準備を行う。
- 2. 症例に対するレポート(処方集)を作成する。

[準備学習(予習・復習)]

予習:指定教科書、講義プリントを参照し、P-drugのステップを把握する。

復習:実習内容を理解し、自分の処方集を評価する。

Cグループ: (実習V)痛みの生理と鎮痛薬

[学習到達目標]

1. 痛みのメカニズムについて理解し、種々の鎮痛作用測定法を用いて鎮痛薬の作用特性を理解する。

[準備学習(予習・復習)]

予習:使用する薬物および方法について、充分に理解を深めてから実習に臨むこと。

復習:実習の結果から何が分かったのか、整理してまとめること。

Dグループ: (実習IV) 行動薬理と抗けいれん作用

[学習到達目標]

- 1. 自発運動量を測定すること、並びに薬物投与後の一般行動を観察することにより、向精神薬の作用を知る。
- 2.2種類の実験的けいれんの違いとそれに対する抗けいれん薬の作用を知り、その臨床応用について学ぶ。

[準備学習(予習・復習)]

予習:関連する講義資料および実習書を熟読して実習内容の概略を把握し、疑問を持って臨むこと。

復習:実験結果について考察し、知識を整理すること。

[資料]

薬理学実習書

5/25 (火) 5限~8限 特別講義 薬物治療:ロールプレイによる体験

特別講義

柳田 俊彦 教授(宮崎大学医学部看護学科臨床薬理学)

[学習到達目標]

- 1. 症例についてP-drug演習を実施する。
- 2. 医師、患者に扮してロールプレイを行なうことで、実際の診療と薬物治療を模擬体験する。

[資料]

事前配布

[準備学習(予習・復習)]

事前に症例シートを配布する。症例について、P-drugのステップに従い演習を行う。 患者役、医師役の役割分担をするなど、ロールプレイ体験の入念な準備が必要である。

5/26 (金) 5限~7限 TBL演習

あなたは 学生 アカウント としてログインしています (ログアウト) Home

日本語 (ja)

English (en)

日本語 (ja)

モバイルアプリを取得する

2021 病理学 Ⅱ

<u>ダッシュボード</u> / マイコース / <u>2021年度</u> / <u>2021年度・医学科</u> / <u>1学期</u> / <u>3年</u> / <u>2021 病理学 II</u>

病理学Ⅱ

【統括責任者】

大島 孝一

【何を学ぶか】

病理学1のユニットでは、臨床医学を学ぶために必要な基本的病変と、主要疾患の原因・病態生理・形態的あるいは機能的な臓器変化などに関して学習した。病理学2では、人体を構成する個々の臓器における特定の疾患について詳しく学習する。通常、個々の疾患は、病理学1で学んだ一つの病因あるいはいくつかの病因により成立しているが、全く同じ病因でも臓器の種類により異なった病態生理像や臨床像を呈する。それぞれの疾患やその特徴に関して、論理的かつ秩序だった臨床病理学的知識を習得することを目標とする。

【獲得すべき能力(全体)】

- 1. 人体を構成する個々の臓器における特定の疾患について、病因・発生機序・病理学的および臨床的特徴を理解し、記憶する。
- 2. 患者ならびに疾病に関する問題を病理学的にとらえ解決するため、臨床事項を病理学と関連づけながら考えをまとめる能力と習慣を養う。病理学実習においては剖検例、手術材料あるいは生検材料について臨床データを参考にしながら、自分で考え、またグループで討論しながら病理診断、考察を行う。

【獲得すべき能力(個別)】

○各講義の到達目標の項目を参照

医学教育モデル・コア・カリキュラム 平成28年度改訂版

- F 診療の基本
- F-2 基本的診療知識

病理診断

- F-2-4) ①病理診断、細胞診の適切な検体の取扱い、標本作製及び診断過程が説明できる。
- F-2-4) ②診断に必要な臨床情報の適切な提供法を説明できる。
- F-2-4) ③術中迅速診断の利点、欠点を説明できる。
- F-2-4) ④デジタル画像を用いた病理診断(遠隔診断を含む)の利点、欠点を説明できる。
- F-2-4) ⑤病理解剖の医療における位置付けと法的事項、手続等を説明できる。

【身に着けてほしい能力】

病理学では、歴史的にも形態病理の理解に主眼がおかれるが、病理学自体は、単に臓器や顕微鏡をみて病気を当てる仕事ではなく、「病気とは何か?」という医学の根本的問題を追及し、また関連する情報を臨床の現場に還元する業務を請け負っている。諸君が近い将来、専門家として患者の悩みを解決しうるには、その根源、すなわち病因の理解が不可欠であろう。予習-講義・実習-復習のサイクルの中で、病理学的な物の見方、考え方を身に付け、医師としての強力な礎として頂きたい。また、諸君が6年間で学ぶべき課題は少なくない。その単元ごとに疑問を残さないように全力で取り組みなさい。

1. 講義・実習時間を大切に過ごすこと、2. 良い教科書を精読すること、3. 教員・同僚と良好な人間関係を構築すること、が諸君の目的への近道と思われる。

【評価方法】

筆記試験(期末試験)を重視するが(約60%)、実習試験(病理標本の理解能力を重視した内容:約30%)、講義・実習への出席状況(約10%)を考慮し、総合判定する。

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

【問い合わせ】

- 1. 教育主任 内藤 嘉紀 nyoshiki@med.kurume-u.ac.jp
- 2. 内線 5488
- 3. 病理学講座



4/5 (月) 2限

【単元】

呼吸器 1

【講義担当者】

秋葉 純

【学習目標各論】

- 1. 呼吸器感染症
- 2. 慢性閉塞性肺疾患
- 3. <u>気管支喘息</u>
- 4. <u>気管支拡張症</u>

【準備学習】

標準病理学にて予習・復習各30分

4/6 (火) 1限

【単元】

呼吸器 2

【講義担当者】

秋葉 純

【学習目標各論】

- 1. 拘束性肺障害をきたす肺疾患
- 2. <u>じん肺症</u>

【準備学習】

標準病理学にて予習・復習各30分

4/6 (火) 2限

【単元】

呼吸器 3

【講義担当者】

秋葉 純

【学習目標各論】

- 1. 免疫学的機序による肺疾患
- 2. 肺循環障害

【準備学習】

4/7 (水) 1限

【単元】

呼吸器 4

【講義担当者】

秋葉 純

【学習目標各論】

- 1. 肺腫瘍
- 2. 転移性肺腫瘍
- 3. 胸膜疾患

【準備学習】

標準病理学にて予習・復習各30分

4/7 (水) 2限

【単元】

循環器1

【講義担当者】

加藤 誠也

【学習目標各論】

血管の病理・動脈硬化とその合併症動脈硬化、特に<u>端状硬化症</u>の組織病変を理解し、その成立機序を考える。

- 1. 急性冠症候群と虚血性心臓病、心筋梗塞とその合併症について説明できる。
- 2. 大動脈の瘤と解離について説明できる。
- 3. 原発性血管炎のChapel Hill分類に基づき主な疾患とその概要を述べることができる。

【準備学習】

予習:病理学の教科書を通読

例)標準病理学など

臨床的に学びたい人は内科学の教科書

例)朝倉内科学など

復習:講義、教科書を参照し、到達目標を整理

4/8 (木) 1限

【単元】

循環器2

【講義担当者】

加藤 誠也

【学習目標各論】

心臓疾患(1)

- 1. 主な先天性心疾患の概要を説明できる。
- 2. チアノーゼ、肺高血圧症の発症機序と身体への影響を説明できる。

- 3.後天性弁膜症の例をあげて説明できる。
- 4. 心膜疾患、特に<u>感染性心内膜炎</u>、<u>収縮性心外膜炎</u>、<u>心タンポナーデ</u>について説明できる。
- 5. 心臓腫瘍について説明できる。

【準備学習】

予習:病理学の教科書を通読

例) 標準病理学など

臨床的に学びたい人は内科学の教科書

例)朝倉内科学など

復習:講義、教科書を参照し、到達目標を整理

4/8 (木) 2限

【単元】

循環器3

【講義担当者】

加藤 誠也

【学習目標各論】

心臓疾患(2)

- 1. 心負荷と心臓の形態変化について説明できる。
- 2. 心不全のおもな様式について説明できる。
- 3. 心筋症のプロトタイプ(拡張型、肥大型、拘束型)について説明できる。
- 4. 代表的な心筋症(原発性、2次性)について例をあげて説明できる。
- 5. 心筋炎の原因と病態について説明できる。
- 6. 心移植の適応疾患と我が国における現状について述べることができる。

【準備学習】

予習:病理学の教科書を通読

例) 標準病理学など

臨床的に学びたい人は内科学の教科書

例)朝倉内科学など

復習:講義、教科書を参照し、到達目標を整理

4/9 (金) 1限

【単元】

消化管病理1

【講義担当者】

髙野 桂

- 1. 主な食道疾患について病因・病態を説明できる。
- 2. 先天異常(食道閉鎖、食道瘻孔、ヘルニアなど)について説明できる。
- 3. 食道炎、食道静脈瘤について説明できる。
- 4. 腫瘍 (悪性、良性) 疾患を列挙し説明できる。

5. 食道癌の病因・病態分類(肉眼点組織型)を説明できる。

【準備学習】

具体的な食道疾患を列記し復習し、食道癌の肉眼、組織、成因を復習すること。

4/9 (金) 2限

【単元】

消化管病理2

【講義担当者】

髙野 桂

【学習目標各論】

- 1. 主な胃疾患を列挙し説明できる。
- 2. 胃炎、異潰瘍について病因・病態を説明できる。
- 3. 腫瘍(悪性、良性)を列挙し説明できる。

胃癌の病因・病態(浸潤転移など)・分類(肉眼、組織型、早期・進行期)を説明できる。

【準備学習】

具体的な胃疾患を列記し、胃潰瘍、胃癌の成因、病態を復習すること。

4/12 (月) 1限

【単元】

消化管病理3

【講義担当者】

大島 孝一

【学習目標各論】

- 1. 主な腸疾患を列挙し説明できる。
- 2. 先天異常(<u>ヒルシュスプルング病</u>など)について説明できる。
- 3. 腸炎について病因・病態を説明できる。
 - a) 感染性腸炎
 - b) <u>腸結核</u>
 - c) 炎症性腸疾患($\underline{\textit{O}}$ ローン病、 $\underline{\textit{潰瘍性大腸炎}}$)の病態を説明し、鑑別することができる。
 - d) 虚血性腸炎を説明できる。
- 4. ポリープ、ポリポーシスを列挙し説明できる。
- 5. 大腸腫瘍性性病変の病因・病態(浸潤転移など)・分類(肉眼,組織型)説明できる。

【準備学習】

具体的な大腸疾患を列記し、大腸<u>クローン病</u>、<u>潰瘍性大腸炎</u>、<u>腸結核</u>、大腸癌の成因、病態を復習すること。

4/12 (月) 2限

【単元】

肝臓 1

【講義担当者】

矢野 博久

【学習目標各論】

肝炎

- 1. 肝臓の正常の肉眼・組織・電顕像を理解する。
- 2. ウイルス肝炎 A型・B型・C型肝炎について理解し、その特徴を述べることができる。
- 3. アルコール性肝障害
 - -1. アルコールによる肝障害の機序について学ぶ。
 - -2. <u>脂肪肝</u>、アルコール性肝炎、アルコール性<u>肝硬変</u>
- 4. 非アルコール性<u>脂肪肝</u>炎NASH
 - -1. NASHの病態・病理について学ぶ。
 - -2. NASHの自然歴を述べることができる。
- 5. 門脈圧亢進症をきたす疾患とその病態を述べることができる。

【準備学習】

予習・復習各1時間

予習:肝臓の解剖組織生理、生理を確認

復習:主たる肝疾患の成因、病態、予後を整理

4/13 (火) 1限

【単元】

肝臓2

【講義担当者】

矢野 博久

【学習目標各論】

肝硬変症

- 1. <u>肝硬変</u>の成因と病理形態、病態生理について学ぶ。
- 2. <u>肝硬変と肝細胞癌</u>との関連について理解する。

【準備学習】

予習:肝疾患を整理

復習:<u>肝硬変</u>を理解

4/13 (火) 2限

【単元】

肝臓3

【講義担当者】

矢野 博久

【学習目標各論】

肝臓に発生する腫瘍について説明できる。

- 1. 原発性肝癌
- 2. 胆管細胞癌
- 3. 非上皮性腫瘍
- 4. 転移性腫瘍

【準備学習】

予習・復習各1時間 主たる肝腫瘍を理解

4/14 (水) 1限

【単元】

膵臓

【講義担当者】

内藤 嘉紀

【学習目標各論】

膵臓の疾患について例を挙げて説明できる。

- 1. 外分泌組織としての膵
- 2. 消化管ホルモンとの関係
- 3. <u>膵炎</u>
- 4. 膵癌
- 5. 内分泌組織としての膵内分泌腫瘍

【準備学習】

予習:膵臓の解剖・組織学を確認する。

復習:悪性腫瘍および炎症性疾患、内分泌腫瘍の特徴を復習する。

4/14 (水) 2限

【単元】

胆嚢・胆管

【講義担当者】

内藤 嘉紀

【学習目標各論】

胆嚢・肝外胆管の疾患の病態整理、疾患概念を説明できる。

- 1. 胆膵の発生
- 2. 胆汁の通路・導管としての肝外胆管
- 3. 通路の流通障害-閉塞性黄疸
- 4. <u>胆石症</u>
- 5. 胆道癌
- 6. <u>胆嚢炎</u>・胆嚢癌

【準備学習】

予習:胆嚢・胆管の解剖・組織学を確認しておく。

復習:悪性腫瘍および炎症性疾患の特徴を復習しておく。

4/15 (木) 1限

【単元】

周産期

【講義担当者】

```
真田 咲子
```

【学習目標各論】

<u>胎盤</u>の構造と周産期への影響を理解する。

【準備学習】

復習:1. <u>胎盤</u>と子宮との組織学的な位置関係を整理、理解する。

2. 胎盤の異常が母子に及ぼす影響を理解する。

4/15 (木) 2限

【単元】

細胞診

【講義担当者】

内藤 嘉紀

【学習目標各論】

- ・細胞診の概要を理解する。
- ・細胞診標本作製を理解する。
- ・各臓器における細胞診の特徴を説明できる。

【準備学習】

M2で履修した細胞診講義及び病理学各論講義で学んだ細胞診内容を復習(30分)

4/15 (木) 3限

【単元】

女性生殖器1

【講義担当者】

真田 咲子

【学習目標各論】

子宮に発生する腫瘍について分類・説明できる。

【準備学習】

復習

- 1. 解剖、組織の理解
- 2. 具体的な腫瘍組織型の名称とともにその発生起源を整理する。
- 3. 腫瘍の疫学的、臨床的背景を理解する。

4/15 (木) 4限

【単元】

女性生殖器2

【講義担当者】

真田 咲子

【学習目標各論】

卵巣に発生する腫瘍について分類・説明できる。

【準備学習】

- 1. 上皮系腫瘍、ホルモン産生腫瘍、胚細胞腫瘍の発生起源を理解する。
- 2. 上記概念を整理した上で、癌、境界悪性、良性の概念を理解する。

4/16 (金) 1限

【単元】

内分泌疾患 1

【講義担当者】

近藤 礼一郎

【学習目標各論】

内分泌系の概念を理解し、主な疾患を罹患部位ごとに説明できる。

- 1. 視床下部、脳下垂体疾患
 - 1. 亢進症
 - 2. 機能低下症
 - 3. 下垂体腫瘍

【準備学習】

標準病理学の第18章内分泌を読み、予習・復習を行うこと。(予習:30時間 復習:30分)

4/16 (金) 2限

【単元】

内分泌疾患 2

【講義担当者】

近藤 礼一郎

【学習目標各論】

- 2. 甲状腺疾患
 - 1. 機能亢進症
 - 2. 機能低下症
 - 3. 甲状腺炎
 - 4. 甲状腺癌
- 3. 副甲状腺疾患

副甲状腺機能亢進症

【準備学習】

標準病理学の第18章内分泌を読み、予習・復習を行うこと。(予習:30時間 復習:30分)

4/16 (金) 3限

【単元】

内分泌疾患3

【講義担当者】

近藤 礼一郎

- 4. 副腎疾患
 - 1. 機能亢進症
 - 2. 機能低下症
 - 3. 腫瘍
 - 4. 糖尿病
 - 5. カルチノイド腫瘍

【準備学習】

標準病理学の第18章内分泌を読み、予習・復習を行うこと。 (予習:30時間 復習:30分)

4/16 (金) 4限

【単元】

未定

【講義担当者】

未定

【学習目標各論】

未定

【準備学習】

未定

4/19 (月) 1限

【単元】

乳腺

【講義担当者】

山口倫

【学習目標各論】

- 1. 乳腺症について述べることができる。
- 2. 乳腺の良性・悪性腫瘍について述べることができる。
- 3. 乳癌サブタイプという考えについての概念を説明できる。

【準備学習】

予習:乳腺症、乳腺の良性、悪性、乳癌サブタイプについて調べる。

復習:授業でポイントとするところを中心に復習する。

4/19 (月) 2限

【単元】

血液

【講義担当者】

大島 孝一

- 1. 骨髄における造血疾患を理解する。
- 2. 赤血球産出とその異常(特に貧血)を理解する。

3. 白血病と骨髄異形成症候群を理解し、具体的な疾患を挙げ説明できる。

【準備学習】

具体的な<u>白血病骨髄異形成症候群</u>を列記し、その分類方法、病態、染色体異常を復習すること。

4/19 (月) 3限

【単元】

リンパ節

【講義担当者】

大島 孝一

【学習目標各論】

- 1. リンパ節腫張の起こる疾患を挙げて説明できる。
- 2. 良性疾患、悪性疾患、特に悪性リンパ腫を理解できる。
- 3. 悪性リンパ腫の病因・病態について説明できる。

【準備学習】

具体的にリンパ節腫張の起こる疾患を列記し、特に悪性リンパ腫の分類方法、病態、染色体異常を復習すること。

4/19 (月) 4限

【単元】

男性生殖器3

【講義担当者】

秋葉 純

【学習目標各論】

睾丸・副睾丸・前立腺

- 1.睾丸・副睾丸・炎症について述べることができる。
- 2. 前立腺肥大症について述べることができる。
- 3. 男性生殖器の腫瘍について述べることができる。

【準備学習】

標準病理学にて予習・復習各30分

4/20 (火) 1限

【単元】

糸球体疾患

【講義担当者】

加藤 誠也

- 1. 糸球体疾患よりネフロンの脱落、腎不全(腎死、透析)に至る機序を説明できる。
- 2. 腎生検における光学顕微鏡、蛍光抗体法、電子顕微鏡による観察の意義を理解できる。
- 3. 原発性<u>ネフローゼ症候群</u>を呈する代表的疾患(微小変化型ネフローゼ、巣状糸球体硬化症、膜性腎症、膜性増殖性腎炎腎炎) について述べることができる。
- 4. 急性腎炎と<u>急速進行性糸球体腎炎</u>RPGN (半月体形成性腎炎)、慢性腎炎(特にIgA腎症と紫斑病性腎炎)について述べることができる。

- 5. 遺伝性腎炎 (特に菲薄基底膜病、アルポート症候群) について述べることができる。
- 6. 全身性疾患による糸球体病変 (特に<u>ループス腎炎</u>、<u>糖尿病性腎症</u>、アミロイドーシス、高血圧) について述べることができる。
 - 7. 腎移植後の病理組織学的変化、免疫抑制剤による腎障害について説明できる。

【準備学習】

予習:病理学の教科書を通読

- 例)標準病理学 11章「循環器」
- より臨床的に学びたい人は内科学の教科書
 - 例) 朝倉内科学5章「循環器系の疾患」

復習:講義、教科書を参照し、到達目標を整理

4/20 (火) 2限

【単元】

腎・泌尿器

【講義担当者】

秋葉 純

【学習目標各論】

- 腎・泌尿器系の疾患について例を挙げて説明できる。
 - 1. 発生
 - 2. 奇形
 - 3. 尿毒症 (定義と病態)
 - 4. 急性腎不全 (定義と病態)
 - 5. 水腎症
 - 6. 結石症

尿路系腫瘍の病理

- 1. 腎
- 2. 腎盂
- 3. 尿管
- 4. 膀胱
- 5. 尿道

【準備学習】

標準病理学にて予習・復習各30分

4/20 (火) 3限

【単元】

脳神経1

【講義担当者】

古田 拓也

【学習目標各論】

脳神経の疾患について病理組織学的変化を説明できる。

脱髓疾患

1. 多発性硬化症

2. 急性散在性脳脊髄炎

感染症

- 1. ウイルス(ポリオ、遅発性ウイルス感染症)
- 2. 細菌感染
- 3. 真菌感染(クリプトコッカスほか)
- 4. 原虫(トキソプラズマ)
- 5. 神経Behcet、<mark>サルコイドーシス</mark>
- 6. <u>プリオン病</u>

血管障害

- 1. <u>脳梗塞</u>
- 2. 頭蓋内出血
 - a) <u>脳出血</u>
 - b)<u>くも膜下出血</u>
- 3. 高血圧性脳症
- 4. Binswanger病
- 5. <u>側頭動脈炎</u>

【準備学習】

予習:15分、復習:30分

4/20 (火) 4限

【単元】

脳神経2

【講義担当者】

古田 拓也

【学習目標各論】

腫瘍(組織発生、症状)

- 1. <u>星細胞腫</u>
- 2. <u>膠芽腫</u>
- 3. <u>上衣腫</u>
- 4. <u>髄膜腫</u>
- 5. その他

【準備学習】

予習:15分、復習:30分

4/21 (水) 1限

【単元】

脳神経3

【講義担当者】

宮田 元

【学習目標各論】

神経変性疾患について病理組織学的変化を説明できる。

【準備学習】

予習:15分、復習:30分

4/21 (水) 2限

【単元】

骨軟部

【講義担当者】

三好 寛明

【学習目標各論】

- 1. 関節リウマチの病理について説明できる。
- 2. 骨腫瘍について例を挙げて説明できる。
 - 1. 骨肉腫
 - 2. 軟骨肉腫
 - 3. <u>巨細胞腫</u> など
- 3. 軟部腫瘍について例を挙げて説明できる。
 - 1. 平滑筋腫
 - 2. 脂肪腫
 - 3. 線維肉腫 など

【準備学習】

予習:骨組織、軟部組織の解剖学、組織学を復習しておく。(20分)

復習:授業内容をまとめて復習する。(20分)

4/21 (水) 3限

【単元】

口腔・唾液腺

【講義担当者】

三好 寛明

【学習目標各論】

口腔・頭頚部領域の病理学的重要事項を理解する。

口腔・唾液腺疾患

1. 炎症

2. 腫瘍(<u>多形腺腫</u>、<u>ワルチン腫瘍</u>、種々に悪性腫瘍)

【準備学習】

予習: 唾液腺の組織学を復習しておく。(10分)

復習:授業内容をまとめて復習する。(20分)

試験問題・解答(本試験)

あなたは 学生 アカウント としてログインしています (ログアウト) Home

日本語 (ja)

English (en)

日本語 (ja)

モバイルアプリを取得する

2021 病理学 Ⅱ 実習

<u>ダッシュボード</u> / マイコース / <u>2021年度</u> / <u>2021年度・医学科</u> / <u>実習</u> / <u>3年</u> / <u>3年</u> / <u>2021 病理学 II 実習</u>

病理学Ⅱ実習 【統括責任者】 矢野 博久 【何を学ぶか】 【獲得すべき能力(全体)】 【獲得すべき能力(個別)】 【身に着けてほしい能力】 【評価方法】 【問い合わせ】 質疑応答掲示板 ■ 科目DB 指定・参考図書 英語DB Aa 用語集 科目評価(新) 5/10 (月) 1~8限 【単元】 症例検討① 【講義担当者】 スタッフ全員 【学習目標各論】 グループに分かれて病理解剖された症例の臨床・病理学的検討を行う。 提示された症例の病態生理、臓器の肉眼像・組織像を理解し、説明できる。 【準備学習】

【単元】

症例検討②

【講義担当者】

スタッフ全員

【学習目標各論】

グループに分かれて病理解剖された症例の臨床・病理学的検討を行う。

提示された症例の病態生理、臓器の肉眼像・組織像を理解し、説明できる。

【準備学習】

5/24 (月) 1~8限

【単元】

症例検討③

【講義担当者】

スタッフ全員

【学習目標各論】

グループに分かれて病理解剖された症例の臨床・病理学的検討を行う。

提示された症例の病態生理、臓器の肉眼像・組織像を理解し、説明できる。

【準備学習】

5/31 (月) 1~8限

【単元】

症例検討④

【講義担当者】

スタッフ全員

【学習目標各論】

グループに分かれて病理解剖された症例の臨床・病理学的検討を行う。

提示された症例の病態生理、臓器の肉眼像・組織像を理解し、説明できる。

【準備学習】

6/7 (月) 1~8限

【単元】

症例検討⑤

【講義担当者】

スタッフ全員

【学習目標各論】

グループに分かれて病理解剖された症例の臨床・病理学的検討を行う。

提示された症例の病態生理、臓器の肉眼像・組織像を理解し、説明できる。

【準備学習】

6/14 (月) 1~8限

【単元】

症例検討 ⑥

【講義担当者】

スタッフ全員

【学習目標各論】

グループに分かれて病理解剖された症例の臨床・病理学的検討を行う。

提示された症例の病態生理、臓器の肉眼像・組織像を理解し、説明できる。

【準備学習】

6/21 (月) 1~8限

【単元】

症例検討⑦

【講義担当者】

スタッフ全員

【学習目標各論】

グループに分かれて病理解剖された症例の臨床・病理学的検討を行う。

提示された症例の病態生理、臓器の肉眼像・組織像を理解し、説明できる。

【準備学習】

6/28 (月) 1~8限

【単元】

症例検討®

【講義担当者】

スタッフ全員

【学習目標各論】

グループに分かれて病理解剖された症例の臨床・病理学的検討を行う。

提示された症例の病態生理、臓器の肉眼像・組織像を理解し、説明できる。

【準備学習】

7/5 (月) 1~4限

【単元】

消化器系疾患・婦人科系疾患

【講義担当者】

スタッフ全員

【学習目標各論】

頻度の高い消化器系疾患・婦人科系疾患について症例検討方式で実習を行う

【準備学習】

7/5 (月) 5~8限

【単元】

リンパ節疾患・血液疾患

【講義担当者】

スタッフ全員

【学習目標各論】

頻度の高いリンパ節疾患・血液疾患について症例検討方式で実習を行う

【準備学習】

7/12 (月) 1~4限

【単元】

復習

【講義担当者】

スタッフ全員

【学習目標各論】

病理実習の各課題について標本を再提示し、各自の復習、自己学習に供する。

【準備学習】

7/12 (月) 5~8限

【単元】

実習テスト

【講義担当者】

スタッフ全員

【学習目標各論】

実習で学んだ症例、病態ごとの理解度を確認する。

【準備学習】

あなたは 学生 アカウント としてログインしています (ログアウト) Home

日本語 (ja)

English (en)

日本語 (ja)

モバイルアプリを取得する

2021 臨床検査医学

<u>ダッシュボード</u> / マイコース / 2021年度 / 2021年度・医学科 / 1学期 / 3年 / 2021 臨床検査医学

臨床検査医学

【統括責任者】

中島 収

【何を学ぶか】

・検査の方法と臨床推論における適応、意義、検査結果の解釈を説明できる。

【獲得すべき能力(全体)】

Moodleには様々な機能があり、これらの機能を理解し応用すれば、これまでのパッシブな講義から、アクティブな講義へと変えることができる。

【獲得すべき能力(個別)】

- ①臨床検査の目的と意義を説明でき、必要最小限の検査項目を選択できる。
- ②臨床検査の正しい検体採取方法と検体保存方法を説明できる。
- ③臨床検査の特性(<u>感度、特異度</u>、偽陽性、<u>偽陰性、検査前確率</u>(事前確率)・<u>検査後確率</u>(事後確率)、尤度比、receiver operating characteristic <ROC>曲線)と判定基準(<u>基準値・基準範囲</u>、カットオフ値、パニック値)を説明できる。
- ④臨床検査の生理的変動、測定誤差、精度管理、ヒューマンエラーを説明できる。
- ⑤小児、高齢者、妊産婦の検査値特性を説明し、結果を解釈できる。
- ⑥血算、凝固・線溶検査、尿・糞便検査、生化学検査の目的と適応を説明し、結果を解釈できる。
- ⑦免疫血清学検査の目的と適応を説明し、結果を解釈できる。
- ⑧生体機能検査の目的と適応を説明し、結果を解釈できる。
- ⑨細菌学検査(細菌の塗抹、培養、同定、薬剤感受性試験)の目的と適応を説明し、結果を解釈できる。
- ⑩動脈血ガス分析の目的と適応を説明し、結果を解釈できる。
- ⑪CPCやRCPCについて理解し、説明できる。

【身に着けてほしい能力】

積極的に電子シラバスの活用やITを取り入れ、能動的な教育活動を行って欲しい。

【評価方法】

筆記試験(90%)、参加姿勢(10%)の割合で評価を行う。

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

【問い合わせ】

- 1. osamu31@med.kurume-u.ac.jp
- 2.0942-31-7400 (臨床検査部 直通)

冒質疑応答掲示板

料目DB

指定・参考図書

英語DB

Aa 用語集

科目評価(新)

5/18 (火) 1限

【単元】

臨床検査のオリエンテーション

臨床検査の基準値

【講義担当者】

中島 収

【学習目標各論】

尿検査, 糞便検査, 血液検査, 止血・血栓検査, 生化学検査, 血清・免疫学的検査, 輸血検査,細菌検査, 生理機 能検査の現場を理解する。

- 1.臨床検査の基準値,カットオフ値の意味を説明できる。
- 2.臨床検査の特性(感度,特異度, 偽陽性, 偽陰性, 検査前確率・予測値, 尤度比)を説明できる。
- 3.正しい検体採取法について説明できる。

【準備学習】

予習:臨床検査にはどのようなものが含まれるか、基準値、基準範囲、臨床検査の特性について説明できる様に調べておく。

復習:基準範囲、病態識別値、臨床検査の特性、ROC曲線、検体採取法について説明できるように復習する。

5/18 (火) 2限

【単元】

尿検査・糞便検査

【講義担当者】

中島 収

【学習目標各論】

- 1.尿検査の目的, 適応, 異常所見を説明し, 結果を解釈できる。
- 2.糞便検査の目的, 適応, 異常所見を説明し, 結果を解釈できる。

【準備学習】

予習:尿検査・糞便検査にはどのような項目が含まれるか調べておく。

復習:尿検査・糞便検査について説明できるよう復習する。

5/19 (水) 1限

【単元】

一般検査・止血血栓検査

【講義担当者】

中島 収

【学習目標各論】

- 1.血液一般検査の目的,適応, 異常所見を説明し, 結果を解釈できる。
- 2.止血・血栓検査の目的, 適応, 異常所見を説明し, 結果を解釈できる。

【準備学習】

予習:血液一般検査について調べておく。

復習:血液成分、血球計数、止血、出血性素因、止血・血栓検査、抗凝固剤について説明できるよう復習する。

5/19 (水) 2限

【単元】

一般検査・止血血栓検査

【講義担当者】

中島 収

【学習目標各論】

1.血液一般検査の目的,適応, 異常所見を説明し, 結果を解釈できる。

2.止血・血栓検査の目的, 適応, 異常所見を説明し, 結果を解釈できる。

【準備学習】

予習:血液一般検査について調べておく。

復習:血液成分、血球計数、止血、出血性素因、止血・血栓検査、抗凝固剤について説明できるよう復習する。

5/20 (木) 1限

【単元】

血液生化学検査

【講義担当者】

中島 収

【学習目標各論】

血液生化学検査項目を列挙し、目的、適応、異常所見を説明し、結果を解釈できる。

【準備学習】

予習:血液生化学検査にはどのような項目が含まれるか調べておく。

復習:糖、タンパク質、脂質、残余窒素の検査項目について説明できるよう復習する。

5/20 (木) 2限

【単元】

血液生化学検査

【講義担当者】

中島 収

【学習目標各論】

血液生化学検査項目を列挙し,目的,適応,異常所見を説明し,結果を解釈できる。

【準備学習】

予習:血液生化学検査にはどのような項目が含まれるか調べておく。

復習:糖、タンパク質、脂質、残余窒素の検査項目について説明できるよう復習する。

5/21(金)1限

【単元】

血清・免疫学的検査

【講義担当者】

中島 収

【学習目標各論】

血清・免疫学的検査項目を列挙し、目的、適応、異常所見を説明し、結果を解釈できる。

【準備学習】

予習:血清・免疫学検査項目にはどのような項目が含まれるか調べておく。

復習:免疫グロブリン、補体、炎症性マーカー、感染症検査、自己免疫疾患検査について説明できるよう復習する。

5/21(金) 2限

【単元】

血清・免疫学的検査

【講義担当者】

中島 収

【学習目標各論】

血清・免疫学的検査項目を列挙し、目的、適応、異常所見を説明し、結果を解釈できる。

【準備学習】

予習:血清・免疫学検査項目にはどのような項目が含まれるか調べておく。

復習:免疫グロブリン、補体、炎症性マーカー、感染症検査、自己免疫疾患検査について説明できるよう復習する。

5/25 (火) 1限

【単元】

細菌検査

【講義担当者】

中島 収

【学習目標各論】

一般細菌の塗沫, 培養検査の目的, 適応, 異常所見を説明し, 結果を解釈できる。

【準備学習】

予習:細菌検査の検体採取法について調べておく。

復習:細菌検査の検体採取法、品質管理、正常細菌叢について説明できるよう復習する。

5/25 (火) 2限

【単元】

呼吸機能検査・ガス分析

【講義担当者】

中島 収

【学習目標各論】

- 1. 呼吸機能検査の目的, 適応, 異常所見を説明し, 結果を解釈できる。
- 2.動脈血ガス分析の目的,適応, 異常所見を説明し, 結果を解釈できる。

【準備学習】

予習:呼吸機能検査、ガス分析について調べておく。

復習:スパイロメトリー、FRC、DLCO、血液ガス分析について説明できるように復習する。

5/26 (水) 2限

【単元】

病理検査と病理診断

【講義担当者】

中島 収

1.一般病理検査の検体について説明できる。

2.病理診断やCPC、RCPCについて説明できる。

【準備学習】

予習:病理検査にどのような項目が含まれるか調べておく。CPC、RCPCとは何か調べておく。

復習:病理検査、CPC、RCPCについて説明できるように復習する。

試験問題·解答(本試験)

あなたは 学生 アカウント としてログインしています (ログアウト) Home

日本語 (ja)

English (en)

日本語 (ja)

モバイルアプリを取得する

2021 行動科学Ⅲ

<u>ダッシュボード</u> / マイコース / <u>2021年度</u> / <u>2021年度・医学科</u> / <u>1学期</u> / <u>3年</u> / <u>2021 行動科学Ⅲ</u>

行動科学Ⅲ

【統括責任者】

安達 洋祐(医学教育研究センター)

【何を学ぶか】

社会や地域のニーズを知り、実践的で人間性のある医師になるための資質を磨く

コアカリの一般目標では、「A 医師として求められる基本的な資質・能力」のうち、「A-1 プロフェッショナリズム 1) 医の倫理と生命倫理 2) 患者中心の視点 3) 医師としての責務と裁量権」、「A-3 診療技能と患者ケア 1) 全人的実践的能力」、「A-4 コミュニケーション能力 1) コミュニケーション 2) 患者と医師の関係」、「A-5 <u>チーム医療</u>の実践 1) 患者中心の<u>チーム医療</u>」、「A-8 科学的探究 1) <u>医学研究</u>への志向の涵養」、「A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 1) 生涯学習への準備」、「B 社会と医学・医療」のうち、「B-3 医学研究と倫理 1) 倫理規範と実践倫理」、「B-4 医療に関連のある社会科学領域 1) 医師に求められる社会性」に相当する。

【獲得すべき能力(全体)】

医療倫理学や医療社会学

医療現場や医療問題に対する医療倫理・臨床倫理の考え方を学ぶ

【獲得すべき能力(個別)】

コアカリの到達目標では、「A-1プロフェッショナリズム」の「人の命に深く関わり健康を守るという医師の職責を十分に自覚し、患者中心の医療を実践しながら、医師としての道を究めていく」、「A-1-1) 医の倫理と生命倫理」の「医療と医学研究における倫理の重要性を学ぶ」と「①医学・医療の歴史的な流れとその意味を概説できる。②<u>臨床倫理</u>や生と死に関わる倫理的問題を概説できる。③ヒポクラテスの誓い・ジュネーブ宣言・医師の職業倫理指針・医療憲章など、医療の倫理に関する規範を概説できる」、「A-1-2) 患者中心の視点」の「患者と家族の秘密を守り、医師の義務や医療倫理を遵守するとともに、患者の安全を最優先し、常に患者の立場に立つ」と「①リスボン宣言などに示された患者の基本的権利を説明できる。②患者の自己決定権の意義を説明できる。③選択肢が多様な場合でも、適切な説明を行い、患者の価値観を理解し、患者の自己決定を支援する。④インフォームド・コンセントとインフォームド・アセントの意義と必要性を説明できる」に相当する。

【身に着けてほしい能力】

医学と医療の全体像を把握し、関連領域の役割や現状を理解し、臨床医や研究者になったときに必要な課題発見や問題解決に関する基本的能力を養ってほしい。また、診療や研究で実践的に活躍するには人間性・協調性・倫理観が重要であり、時代や社会のニーズに対応するには柔軟性・積極性・向上心が大切であることを知り、各自の資質や能力を伸ばしてほしい。

【評価方法】

医学科の細則に従って、筆記試験(選択問題・穴埋め問題・記述問題・論述問題などを含む)を行う。

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

試験の結果は平均点や分布を掲示し、個々の問題の正解を提示する。

【問い合わせ】

医学教育研究センター(教育1号館6階) 安達洋祐・井上幸子(内線3068)



科目DB

指定・参考図書



4/5 (月) 3限

【単元】

いのちの倫理

【講義担当者】

伊佐 智子 (倫理学)

【学習目標各論】

【準備学習】

4/5 (月) 4限

【単元】

自然災害といのち

【講義担当者】

伊佐 智子 (倫理学)

【学習目標各論】

【準備学習】

4/6 (火) 3限

【単元】

医療事故と医療訴訟①

【講義担当者】

稲葉 一人(法医学)

【学習目標各論】

【準備学習】

4/6 (火) 4限

【単元】

医療事故と医療訴訟②

```
【準備学習】
4/7 (水) 3限
  【単元】
  患者中心の視点とチーム医療①
  【講義担当者】
 稲葉 一人 (法医学)
  【学習目標各論】
  【準備学習】
4/7 (水) 4限
  【単元】
  患者中心の視点と<u>チーム医療</u>②
  【講義担当者】
 稲葉 一人 (法医学)
  【学習目標各論】
  【準備学習】
4/8 (木) 3限
  【単元】
  生命倫理と医療倫理
  【講義担当者】
  稲葉 一人(法医学)
  【学習目標各論】
  【準備学習】
```

【講義担当者】

4/8 (木) 4限

稲葉 一人(法医学) 【学習目標各論】

```
【単元】
  患者の権利と個人情報保護
  【講義担当者】
  稲葉 一人(法医学)
  【学習目標各論】
  【準備学習】
4/9 (金) 3限
  【単元】
  妊娠中絶の倫理
  【講義担当者】
  伊佐 智子(倫理学)
  【学習目標各論】
  【準備学習】
4/9 (金) 4限
  【単元】
  生殖医療の倫理
  【講義担当者】
  伊佐 智子 (倫理学)
  【学習目標各論】
  【準備学習】
4/12 (月) 3限
  【単元】
  遺伝相談と<u>生命倫理</u>
  【講義担当者】
  渡邊 順子 (小児科)
  【学習目標各論】
  【準備学習】
```

4/12 (月) 4限

【単元】

胎児医療と<u>臨床倫理</u>

【講義担当者】

前野 泰樹(小児科)

【学習目標各論】

【準備学習】

4/13 (火) 3限

【単元】

脳死と倫理

【講義担当者】

伊佐 智子 (倫理学)

【学習目標各論】

【準備学習】

4/13 (火) 4限

【単元】

臓器移植と倫理

【講義担当者】

伊佐 智子(倫理学)

【学習目標各論】

【準備学習】

4/14 (水) 3限

【単元】

無意識の偏ったものの見方

【講義担当者】

守屋 普久子 (キャリアプラニング)

```
【学習目標各論】
  【準備学習】
4/14 (水) 4限
  【単元】
 LGBTへの正しい理解と対応
  【講義担当者】
 小野 杏理(キャリアプラニング)
  【学習目標各論】
  【準備学習】
4/19 (月) 5限
  【単元】
  漢方医の診療
  【講義担当者】
 田中 聡子(先進漢方治療センター)
 【学習目標各論】
  【準備学習】
4/19 (月) 6限
  【単元】
  漢方と倫理
  【講義担当者】
 田中 聡子(先進漢方治療センター)
  【学習目標各論】
  【準備学習】
4/20 (火) 5限
```

【単元】

がん告知の倫理

(講義担当者) 伊佐 智子 (倫理学) [学習目標名論] 4/20 (火) 6限 [単元] 安楽死・尊厳死の倫理 [講義担当者] 伊佐 智子 (倫理学) [学習目標名論] [準備学習]

あなたは 学生 アカウント としてログインしています (ログアウト) Home

日本語 (ja) English (en) 日本語 (ja)

モバイルアプリを取得する

2021 臨床栄養学

<u>ダッシュボード</u> / マイコース / <u>2021年度</u> / <u>2021年度・医学科</u> / <u>1学期</u> / <u>3年</u> / <u>2021 臨床栄養学</u>

臨床栄養学

【統括責任者】

田中 芳明

【何を学ぶか】

食事・<u>栄養</u>療法と輸液療法の基本を学ぶ。

病態別栄養不良と栄養評価、栄養の選択について学ぶ。

【獲得すべき能力(全体)】

診療に必要な栄養療法の基本知識を習得する。

【獲得すべき能力(個別)】

医学教育モデル・コア・カリキュラム 平成28年度改訂版

F 診療の基本

F-2 基本的診療知識

食事・栄養療法と輸液療法

F-2-11) ①食行動、食事摂取基準、食事バランス、日本食品標準成分表、補助食品、食物繊維・プロバイオティクス・プレバイオティクスを概説できる。

F-2-11) ②<u>栄養</u>アセスメント、<u>栄養</u>ケア・マネジメント、<u>栄養</u>サポートチーム(<u>nutrition</u> support team <NST>)、疾患別の<u>栄養</u>療法を説明できる。

F-2-11) ③各種補液製剤 (ビタミン、微量元素を含む) の特徴と病態に合わせた適応、投与時の注意事項を説明できる。

F-2-11) ④経静脈<u>栄養</u>と経管・経陽栄養の適応、方法と合併症、長期投与時の注意事項を説明できる。

F-2-11) ⑤乳幼児と小児の輸液療法を説明できる。

【身に着けてほしい能力】

診療に必要な<u>栄養</u>療法の基本知識を習得する。

【評価方法】

筆記試験にて行う。

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

【問い合わせ】

- 1. hashidume_naoki@med.kurume-u.ac.jp (小児外科 橋詰直樹のメールアドレス)
- 2.0942-31-7631 (内線 5232)
- **宣疑応答掲示板**
- ➡ 科目DB
- 指定・参考図書
- 英語DB
- Aa 用語集
- 科目評価(新)

6/3 (木) 3限

【単元】

解剖/消化吸収

【講義担当者】

坂本 早季

【学習目標各論】

臨床栄養の総論を講義する。

【準備学習】

事前に関連する項目を参考図書で精読すること。講義後は配付資料を用いて講義内容を整理すること。

6/3 (木) 4限

【単元】

解剖/消化吸収

【講義担当者】

坂本 早季

【学習目標各論】

臨床栄養の総論を講義する。

【準備学習】

事前に関連する項目を参考図書で精読すること。講義後は配付資料を用いて講義内容を整理すること。

6/3 (木) 7限

【単元】

<u>栄養</u>不良と生理機能、<u>栄養</u>評価、日本人の食事摂取基準

【講義担当者】

石井 信二

【学習目標各論】

- 1. 栄養不良による合併症を理解する。
- 2. 日本人の食事摂取基準について理解する。

【準備学習】

事前に関連する項目を参考図書で精読すること。講義後は配付資料を用いて講義内容を整理すること。

6/4 (金) 3限

【単元】

体液と電解質の基礎

【講義担当者】

田中芳明

【学習目標各論】

- 1. 体液分画の水分分布、電解質組成を理解する
- 2. 浸透圧について理解する

【準備学習】

事前に関連する項目を参考図書で精読すること。講義後は配付資料を用いて講義内容を整理すること。

6/4 (金) 4限

【単元】

絶食と侵襲に対する代謝反応

【講義担当者】

田中芳明

【学習目標各論】

絶食と侵襲に対する代謝反応を理解する

【準備学習】

事前に関連する項目を参考図書で精読すること。講義後は配付資料を用いて講義内容を整理すること。

6/4 (金) 7限

【単元】

生化学

【講義担当者】

深堀 優

【学習目標各論】

<u>栄養</u>の生化学(同化と異化・<u>糖質/タンパク質/脂質</u>の代謝・微量元素)について理解する。

【準備学習】

事前に関連する項目を参考図書で精読すること。講義後は配付資料を用いて講義内容を整理すること。

6/8 (火) 4限

【単元】

消化器 (消化管の臨床解剖と消化吸収)

【講義担当者】

竹田津英稔

【学習目標各論】

1. 消化管の臨床解剖と消化吸収を理解する。

[資料]

指定教科書:日本静脈<u>経腸栄養</u>学会 静脈<u>経腸栄養</u>テキストブック

[準備学習]

事前に関連する項目を参考図書で精読すること。講義後は資料を用いて講義内容を整理すること。

6/8 (火) 7限

【単元】

<u>消化</u>器(<u>消化</u>管吸収障害と蛋白漏出胃腸症)

【講義担当者】

竹田津英稔

1. 消化管吸収障害と蛋白漏出胃腸症を理解する。

[資料]

指定教科書:日本静脈<u>経腸栄養</u>学会 静脈<u>経腸栄養</u>テキストブック

[準備学習]

事前に関連する項目を参考図書で精読すること。講義後は資料を用いて講義内容を整理すること。

6/9 (水) 3限

【単元】

<u>栄養</u>療法の選択一静脈<u>栄養</u>法・<u>経腸栄養</u>法

【講義担当者】

浅桐 公男

【学習目標各論】

静脈・経腸栄養法の特性について理解する。

【準備学習】

事前に関連する項目を参考図書で精読すること。講義後は配付資料を用いて講義内容を整理すること。

6/9 (水) 4限

【単元】

栄養素投与量の決定

【講義担当者】

浅桐 公男

【学習目標各論】

1. 栄養素の至適投与量について理解する。

【準備学習】

事前に関連する項目を参考図書で精読すること。講義後は配付資料を用いて講義内容を整理すること。

6/10 (木) 3限

【単元】

消耗性疾患、周術期 (系統講義)

【講義担当者】

七種 伸行

【学習目標各論】

- 1. 消耗性疾患(特に重症感染症)の<u>栄養</u>管理を理解する。
- 2. 周術期の<u>栄養</u>管理を理解する。

[資料]

指定教科書:日本静脈<u>経腸栄養</u>学会 静脈<u>経腸栄養</u>テキストブック

[準備学習]

事前に関連する項目を参考図書で精読すること。講義後は資料を用いて講義内容を整理すること。

6/10 (木) 4限

【単元】

消耗性疾患、周術期 (症例検討)

【講義担当者】

七種 伸行

【学習目標各論】

- 1. 消耗性疾患(特に重症感染症)の栄養管理を理解する。
- 2. 周術期の栄養管理を理解する。

[資料]

指定教科書:日本静脈<u>経腸栄養</u>学会 静脈<u>経腸栄養</u>テキストブック

[準備学習]

事前に関連する項目を参考図書で精読すること。講義後は資料を用いて講義内容を整理すること。

6/10 (木) 7限

【単元】

肺・呼吸器(系統講義)

【講義担当者】

東舘 成希

【学習目標各論】

1. 肺・呼吸器疾患の病態を理解し、適切な栄養管理を学ぶ。

[資料]

指定教科書:日本静脈<u>経腸栄養</u>学会 静脈<u>経腸栄養</u>テキストブック

[準備学習]

事前に関連する項目を参考図書で精読すること。講義後は資料を用いて講義内容を整理すること。

6/11 (金) 3限

【単元】

生活習慣病 (系統講義)

【講義担当者】

岩田 慎平

【学習目標各論】

1. 肥満症, <u>メタボリックシンドローム</u>, 2型糖尿病の病態を理解し,説明できる

[資料]

指定教科書:日本静脈<u>経腸栄養</u>学会 静脈<u>経腸栄養</u>テキストブック

[準備学習]

事前に関連する項目を参考図書で精読すること。講義後は資料を用いて講義内容を整理すること。

6/11(金) 4限

【単元】

生活習慣病 (症例検討)

【講義担当者】

岩田 慎平

【学習目標各論】

1. 肥満症, 2型糖尿病の栄養療法を理解し, 説明できる

[資料]

指定教科書:日本静脈<u>経腸栄養</u>学会 静脈<u>経腸栄養</u>テキストブック

[準備学習]

事前に関連する項目を参考図書で精読すること。講義後は資料を用いて講義内容を整理すること。

6/11 (金) 7限

【単元】

肺・呼吸器(症例検討)

【講義担当者】

東舘 成希

【学習目標各論】

1. 肺・呼吸器疾患の症例を考察し、適切な光養管理を計画する。

[資料]

指定教科書:日本静脈<u>経腸栄養</u>学会 静脈<u>経腸栄養</u>テキストブック

[準備学習]

事前に関連する項目を参考図書で精読すること。講義後は資料を用いて講義内容を整理すること。

6/15 (火) 3限

【単元】

腎不全患者に対する栄養療法(系統講義)

【講義担当者】

矢野 淳子

1. 腎不全の病態について理解する

[資料]

当日配布

[準備学習]

事前に腎不全の病態について理解しておくこと。

講義後は配付資料を用いて講義内容を整理すること。

6/15 (火) 4限

【単元】

腎不全患者に対する栄養療法(症例検討)

【講義担当者】

矢野 淳子

【学習目標各論】

1. <u>栄養</u>管理を理解する

[資料]

当日配布

[準備学習]

事前に関連する項目を参考図書で精読すること。講義後は配布する資料で授業内容を整理すること。

6/15 (火) 7限

【単元】

褥瘡 (系統講義)

【講義担当者】

石井 信二

【学習目標各論】

1. 褥瘡の<u>栄養</u>管理を理解する。

[資料]

指定教科書:日本静脈<u>経腸栄養</u>学会 静脈<u>経腸栄養</u>テキストブック

[準備学習]

事前に関連する項目を参考図書で精読すること。講義後は資料を用いて講義内容を整理すること。

6/16 (水) 3限

【単元】

小児(系統講義)

【講義担当者】

浅桐 公男

- 1. 小児の体液管理について理解する。
- 2. 小児に対する栄養療法の特性について理解する。

【準備学習】

事前に関連する項目を参考図書で精読すること。講義後は配付資料を用いて講義内容を整理すること。

6/16 (水) 4限

【単元】

小児 (症例検討)

【講義担当者】

浅桐 公男

【学習目標各論】

- 1. 小児急性胃腸炎・脱水症の治療について理解する。
- 2. 特殊な栄養管理を要する小児疾患について理解する。

【準備学習】

事前に関連する項目を参考図書で精読すること。講義後は配付資料を用いて講義内容を整理すること。

6/16 (水) 7限

【単元】

褥瘡 (症例検討)

【講義担当者】

石井 信二

【学習目標各論】

1. 褥瘡の<u>栄養</u>管理を理解する。

[資料]

指定教科書:日本静脈<u>経腸栄養</u>学会 静脈<u>経腸栄養</u>テキストブック

[準備学習]

事前に関連する項目を参考図書で精読すること。講義後は資料を用いて講義内容を整理すること。

6/17 (木) 1限

【単元】

救急 (系統講義)

【講義担当者】

七種 伸行

【学習目標各論】

1. 救急時の<u>栄養</u>管理を理解する。

[資料]

指定教科書:日本静脈<u>経腸栄養</u>学会 静脈<u>経腸栄養</u>テキストブック

[準備学習]

事前に関連する項目を参考図書で精読すること。講義後は資料を用いて講義内容を整理すること。

6/17 (木) 2限

【単元】

救急 (症例検討)

【講義担当者】

七種 伸行

【学習目標各論】

1. 救急時の栄養管理を理解する。

[資料]

指定教科書:日本静脈<u>経腸栄養</u>学会 静脈<u>経腸栄養</u>テキストブック

[準備学習]

事前に関連する項目を参考図書で精読すること。講義後は資料を用いて講義内容を整理すること。

6/17 (木) 3限

【単元】

肝胆膵

【講義担当者】

川口 巧

【学習目標各論】

<u>肝硬変</u>・脂肪肝についての<u>栄養</u>療法を理解する

【準備学習】

予習:指定教科書で疑問点を明確にする。復習:指定教科書と配付資料で疑問点の理解を深める。

6/17 (木) 4限

【単元】

肝胆膵

【講義担当者】

川口 巧

【学習目標各論】

<u>肝硬変</u>・脂肪肝についての<u>栄養</u>療法を理解する

【準備学習】

予習:指定教科書で疑問点を明確にする。復習:指定教科書と配付資料で疑問点の理解を深める。

6/18 (金) 1限

【単元】

がん、緩和

【講義担当者】

石井 信二

【学習目標各論】

- 1. がん患者の低栄養を理解する。
- 2. がん悪液質について理解する。

【準備学習】

事前に関連する項目を参考図書で精読すること。講義後は配付資料を用いて講義内容を整理すること。

6/18 (金) 2限

【単元】

がん、緩和

【講義担当者】

石井 信二

【学習目標各論】

- 1. がん患者の低栄養を理解する。
- 2. がん悪液質について理解する。

【準備学習】

事前に関連する項目を参考図書で精読すること。講義後は配付資料を用いて講義内容を整理すること。

6/18 (金) 3限

【単元】

摂食<u>嚥下</u>障害(系統講義)

【講義担当者】

栗田 卓

【学習目標各論】

1. 摂食・嚥下障害の評価と対応を理解する。

[資料]

指定教科書:日本静脈<u>経腸栄養</u>学会 静脈<u>経腸栄養</u>テキストブック

[準備学習]

事前に関連する項目を参考図書で精読すること。講義後は資料を用いて講義内容を整理すること。

6/18 (金) 4限

【単元】

摂食<u>嚥下</u>障害(症例検討)

【講義担当者】

栗田 卓

【学習目標各論】

1. <u>摂食・嚥下障害</u>の評価と対応を理解する。

[資料]

指定教科書:日本静脈<u>経腸栄養</u>学会 静脈<u>経腸栄養</u>テキストブック

[準備学習]

事前に関連する項目を参考図書で精読すること。講義後は資料を用いて講義内容を整理すること。

試験問題·解答(本試験)

6/25 (木) 13時-14時30分

英単語和訳 30問

英単語和訳はmoodleに記載している単語内から出されます。

臨床・一般問題 60問

あなたは 学生 アカウント としてログインしています (ログアウト) Home

日本語 (ja)

English (en)

日本語 (ja)

モバイルアプリを取得する

2021 医療安全

<u>ダッシュボード</u> / マイコース / <u>2021年度</u> / <u>2021年度・医学科</u> / <u>2学期</u> / <u>3年</u> / <u>2021 医療安全</u>

医療安全

【統括責任者】

田中 芳明

【何を学ぶか】

医療安全管理対策。

【獲得すべき能力(全体)】

患者及び医療者にとって、良質で安全な医療体制を理解する。

【獲得すべき能力(個別)】

医学教育モデル・コア・カリキュラム 平成28年度改訂版(医療安全) 参照

【身に着けてほしい能力】

患者及び医療者にとって、良質で安全な医療体制を理解する。

【評価方法】

筆記試験にて行う。

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

【問い合わせ】

- 1. evo_5@med.kurume-u.ac.jp (小児外科 石井信二のメールアドレス)
- 2.0942-31-7631 (内線 5232)
- 3. 小児外科医局(病院北館5F)

恒 質疑応答掲示板

- <u>料目DB</u>
- 指定・参考図書
- 英語DB
- Aa 用語集
- 科目評価(新)
- 医学教育モデル・コア・カリキュラム 平成28年度改訂版(医療安全)

2/10 (木) 1限

【単元】

医療人としての倫理、安全管理のための指針、 インフォームドコンセント

【講義担当者】

横山晋二

【学習目標各論】

医療人として倫理について考え、<u>医療安全管理</u>のための指針について理解する

<u>インフォームドコンセント</u>の必要性とその方法について理解する

【準備学習】

リスボン宣言について学習しておく

<u>インフォームドコンセント</u>について概要を学習しておく

2/10 (木) 2限

【単元】

エラーの管理、<u>インシデント</u>、アクシデント

【講義担当者】

横山晋二

【学習目標各論】

<u>医療法</u>を基に、 $\underline{Aンシデント}$ 、アクシデントの概念と $\underline{Aンシデント}$ 報告の概要を学ぶ。また、同時に<u>患者安全</u>に主軸を置いた<u>チーム</u> <u>医療</u>の重要性を学ぶ。

【準備学習】

関連する領域の<u>医療法</u>、<u>インシデント</u>報告について事前に学習する。

2/10 (木) 3限

【単元】

医療安全推進の基本的な考え方、事故の起きにくいシステム、組織で取り組む医療安全

【講義担当者】

冨田康裕

【学習目標各論】

安全対策の取り組みについて理解する

【準備学習】

参考資料

日本医療機能評価機構 医療安全情報

日本看護協会:医療安全推進のための標準テキスト

WHO<u>患者安全</u>カリキュラムガイド多職種版 2011

2/10 (木) 4限

【単元】

KYTについて

【講義担当者】

早川晴美

【学習目標各論】

KYT (危険予知トレーニング) 演習について理解する

【準備学習】

JISHA中災防: 危険予知訓練のすすめ方

http://www.jisha.or.jp/zerosai/kyt/file04.html 閲覧しておく

2/14 (月) 2限

【単元】

事故発生時の対応

【講義担当者】

川野佐由里

【学習目標各論】

現場における事故発生時の対応について学ぶ

【準備学習】

「医療安全推進のための標準テキスト」日本看護協会 第4章 医療事故発生時の対応

https://www.nurse.or.jp/nursing/practice/anzen/pdf/text.pdf

2/14 (月) 3限

【単元】

医師の法的責任、医療事故調査制度、医療紛争への対応

【講義担当者】

田中芳明

【学習目標各論】

医師の法的責任、<u>医療事故</u>調査制度、医療紛争について理解する

【準備学習】

関連する医師法、医療法などについて事前に学習しておく

試験問題・解答(本試験)

あなたは 学生 アカウント としてログインしています (ログアウト) Home

日本語 (ja)

English (en)

日本語 (ja)

モバイルアプリを取得する

2021 漢方医学

<u>ダッシュボード</u> / マイコース / <u>2021年度</u> / <u>2021年度・医学科</u> / <u>2学期</u> / <u>3年</u> / <u>2021 漢方医学</u>

漢方医学

【統括責任者】

惠紙 英昭

【何を学ぶか】

漢方医学の大局的理解と病態から病者にアプローチする漢方独特の医療を代表的な病態から理解する。

診療に必要な薬物治療の基本(薬理作用、有害事象、投与時の注意事項)を学ぶ。

【獲得すべき能力(全体)】

- 1, 漢方医学の特徴や、主な和漢薬(漢方薬)の適応、薬理作用を概説できる。
- 2, 漢方薬を構成する生薬の薬能・薬性を概説できる。

【獲得すべき能力(個別)】

漢方薬物学

- 1, エキス剤を構成している個々の薬物の薬能を知り、その配合の意味を理解する。
- 2, エキス剤の適応病態を理解する。

漢方治療学

- 1, まず西洋医学的病名(病態)診断を行う。
- 2, 次に漢方的病態把握を行う。
- 3, 各疾患ごとの病態に対する漢方薬の適応を理解する。

医学教育モデル・コア・カリキュラム 平成28年度改訂版

- F 診療の基本
- F-2 基本的診療知識

薬物治療の基本原理

⑬漢方医学の特徴や、主な和漢薬(漢方薬)の適応、薬理作用を概説できる。

【身に着けてほしい能力】

西洋医学的診断をするために症状を充分に聴取して西洋医学的病態を把握し、

西洋医学的病態把握にない漢方医学的診断を行い、それに対して生薬の薬能・薬性を当てはめて治療する。

【評価方法】

1年:筆記試験・小レポート・出席状況を総合して評価する

3年:筆記試験・出席状況を総合して評価する

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

【問い合わせ】

久留米大学医療センター 先進漢方治療センター



➡ 科目DB

指定・参考図書

Aa 用語集



2/9 (水) 5限

【単元】

小児疾患の漢方治療

【講義担当者】

田中聡子

【学習目標各論】

- 1. 小児の漢方医学的病態の特徴
- 2. 小児の四診について
- 3. 小児の漢方治療の原則
- 4. 小児における漢方製剤処方量
- 5. 小児における漢方製剤服用回数
- 6. 小児における漢方製剤服用の工夫
- 7. 証をあまり考慮しなくても小児に奏功する処方
- 8. 漢方が適応となりやすい小児疾患
- 9. 漢方が適応となりにくい小児疾患
- 10. 子母同服(母子同服)について
- 11. 小児の漢方治療の実例

【準備学習】

2年生時の行動科学(漢方医学①②)の講義プリント内容を復習する。 参考図書を通読する。

参考図書:「基本がわかる 漢方医学講義」 日本漢方医学教育協議会/編 羊土社

2/9 (水) 6限

【単元】

呼吸器疾患の漢方治療

【講義担当者】

八木 実

【学習目標各論】

- 1. 呼吸器疾患の漢方医学的病態を理解する。
- 2. 呼吸器疾患に用いられる主な方剤群を知る。
- 3. 方剤群における構成生薬を知る。
- 4. 方剤の主要な構成生薬の薬能を知る。
- 5. 感冒の漢方治療の原則を知る。
- 6. インフルエンザに対する漢方治療を学ぶ。
- 7. COPDに対する漢方治療を学ぶ。

【準備学習】

- 1. 絵でみる和漢診療学 寺沢捷年著 医学書院
- 2. 医学生のための漢方医学【基礎篇】 安井廣迪著 東洋学術出版社
- 3. 漢方123処方 臨床解説 師・山本 巌の訓え 福冨稔明著 山方勇次編 メディカルユーコン社

2/9 (水) 7限

【単元】

外科疾患の漢方治療

【講義担当者】

八木 実

【学習目標各論】

- 1. 消化器外科疾患の漢方医学的病態を理解する。
- 2. 消化器外科疾患と気血水の関係を理解する。
- 3. 消化器外科疾患で頻用される方剤を知る。
- 4. 方剤の主要な構成生薬の薬能を知る。
- 5. 癌における漢方治療の位置づけを理解する。
- 6. 癌治療における漢方の適応と限界を知る。
- 7. 癌治療にあたり認識すべき代表的な漢方方剤の副作用を知る。
- 8. 整形外科疾患の漢方医学的病態を理解する。
- 9. 整形外科疾患に対する漢方治療のポイントを知る。
- 10. 整形外科疾患で頻用される方剤を知る。

【準備学習】

- 1. 絵でみる和漢診療学 寺沢捷年著 医学書院
- 2. 医学生のための漢方医学【基礎篇】 安井廣迪著 東洋学術出版社
- 3. 漢方123処方 臨床解説 師・山本 巌の訓え 福冨稔明著 山方勇次編 メディカルユーコン社

2/10 (木) 5限

【単元】

症状(兆候)からの漢方医学1

【講義担当者】

栗山 一道

【学習目標各論】

何故、症状(兆候)からの医学か?

西洋医学との対比の中での漢方医学の位置

医学から医療へ

【準備学習】

2年次・今年度前半の基礎編プリントと講義スライドの復習

2/10 (木) 6限

【単元】

症状(兆候)からの漢方医学2

【講義担当者】

栗山 一道

【学習目標各論】

日本漢方における寒熱の意味および補法と補剤の意味

「冷症」と「ほてり」および「倦怠感」と「食欲不振」の漢方的理解と治療法

【準備学習】

2年次・今年度前半の基礎編プリントと講義スライドの復習

2/10 (木) 7限

【単元】

産婦人科・女性に対する漢方治療

【講義担当者】

駒井 幹

【学習目標各論】

産婦人科疾患の漢方治療の概略を理解する。

産婦人科領域の漢方医学的病態を理解する。

産婦人科領域に用いられる主な方剤を知る。

産婦人科領域に用いる漢方薬を構成する生薬の薬能・薬性を学ぶ。

【準備学習】

3年生前半で学んだ漢方医学基礎編の基本的知識を再確認し漢方特有の用語に慣れること。その上で、講義プリントや参考図書を読むこと。

著書:病名漢方治療の実際 坂東正造 著 メディカルユーコン

2/14 (月) 4限

【単元】

消化器疾患の漢方治療

【講義担当者】

坂田 雅浩

【学習目標各論】

- 1. 消化器疾患の漢方医学的病態を理解する。
- 2. 消化器疾患に用いられる主な方剤群を知る。
- 3. 方剤群における構成生薬を知る。
- 4. 方剤の主要な構成生薬の薬能を知る。
- 5. 機能性ディスペプシアの漢方治療の原則を知る。
- 6. 胃食道逆流症の漢方治療の原則を知る。
- 7. 便秘の漢方治療の原則を知る。
- 8. 下痢に対する漢方治療の原則を知る。
- 9. 腹痛に対する漢方治療の原則を知る。
- 10. 嘔吐に対する漢方治療の原則を知る。

【準備学習】

- 1. 絵でみる和漢診療学 寺沢捷年著 医学書院
- 2. 医学生のための漢方医学【基礎篇】 安井廣迪著 東洋学術出版社
- 3. 漢方123処方 臨床解説 師・山本 巌の訓え 福冨稔明著 山方勇次編 メディカルユーコン社

2/14 (月) 5限

【単元】

皮膚科・泌尿器科領域の漢方治療

【講義担当者】

坂田 雅浩

【学習目標各論】

皮膚科疾患の漢方治療の概略を理解する。

皮膚科領域に用いる漢方薬を構成する生薬の薬能・薬性を理解する。

自分にあった漢方薬を試飲する。

【準備学習】

3年生で学んだ漢方医学基礎編の基本的知識を再確認し漢方特有の用語に慣れること。その上で、講義プリントや参考図書を読むこと。

著書:病名漢方治療の実際 坂東正造著 メディカルユーコン

2/14 (月) 6限

漢方治療の基本・精神科領域漢方治療

【講義担当者】

惠紙 英昭

【学習目標各論】

漢方医学と西洋医学の身体観の違いを学ぶ。

漢方医学診断学の基本概念を学ぶ。

漢方方剤群における構成生薬を知る。

漢方方剤の主要な構成生薬の薬能・薬性を知る。

精神科疾患の漢方治療を理解する。

精神疾患の漢方医学的病態を理解する。

精神科疾患に用いられる主な方剤群を知る。

【準備学習】

1年生・2年生・3年生前半で学んだ漢方医学基礎編の基本的知識を再確認し漢方特有の用語に慣れること。その上で、講義プリントや参考図書を読むこと。

著書:病名漢方治療の実際 坂東正造著 メディカルユーコン

2/14 (月) 7限

【単元】

緩和ケア領域の漢方治療

【講義担当者】

惠紙 英昭

【学習目標各論】

漢方方剤群における構成生薬を知る。

漢方方剤の主要な構成生薬の薬能・薬性を知る。

緩和ケア領域に用いる漢方治療を理解する。

緩和ケア領域の漢方医学的病態を理解する。

緩和ケア領域に用いられる主な方剤群を知る。

【準備学習】

1年生・2年生・3年生前半で学んだ漢方医学基礎編の基本的知識を再確認し漢方特有の用語に慣れること。その上で、講義プリントや参考図書を読むこと。

著書:がん漢方 北島政樹監修 今津嘉宏編集 南山堂

漢方123処方 臨床解説 師・山本 巌の訓え 福冨稔明著 山方勇次編 メディカルユーコン社

試験問題·解答(本試験)

あなたは 学生 アカウント としてログインしています (ログアウト) Home

日本語 (ja) English (en) 日本語 (ja)

モバイルアプリを取得する

2021 循環器内科

<u>ダッシュボード</u> / マイコース / <u>2021年度</u> / <u>2021年度・医学科</u> / <u>1学期</u> / <u>3年</u> / <u>2021 循環器内科</u>

循環器内科

【統括責任者】

福本 義弘

【何を学ぶか】

循環器(心血管)系の構造と機能を理解し、各科日常診療の基本となる一般的な循環器疾患の予防、病因、病態生理、症候、診断と 初期対応を中心とした治療を学ぶ。

【獲得すべき能力(全体)】

疾患による心臓・血管の構造、機能の変化を理解し、身体所見、検査所見から病態を把握し、適切な治療を選択できる。

【獲得すべき能力(個別)】

医学教育モデル・コア・カリキュラム 平成28年度改訂版(循環器内科) 参照

【身に着けてほしい能力】

心疾患を有する患者さんの心理状態に寄り添い、全人的な循環器診療を行う能力。

【評価方法】

講義への出席状況、受講態度、試験などにより総合的に判断する。

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

再試験

【問い合わせ】

心臓・血管内科医局(内線3746)

教育主任 本多 亮博

算疑応答掲示板

■ 科目DB

指定・参考図書

英語DB

Aa 用語集

科目評価(新)

■ 医学教育モデル・コア・カリキュラム 平成28年度改訂版(循環器内科)

7/9 (金) 1限

【単元】

心機能および循環調節

【講義担当者】

福本 義弘

【学習目標各論】

- 1) 心機能曲線と心拍出量の機序
- 2) 血圧調節の機序
- 3) 主な臓器の血流調節機序

- 4) 運動時の循環調節機序
- 5) 心不全時の循環調節

【準備学習】

7/9 (金) 2限

【単元】

心不全1

【講義担当者】

福本 義弘

【学習目標各論】

- 1) 心不全の定義と原疾患
- 2) 心不全の病態生理および重症度分類
- 3) 左心不全と右心不全の診断と治療

【準備学習】

7/13 (火) 1限

【単元】

負荷<u>心電図</u>・心筋シンチ

【講義担当者】

田原 宣広

【準備学習】

講義用シラバスを配布する

7/13 (火) 2限

【単元】

循環器観血的検査・治療について

【講義担当者】

佐々木 健一郎

【学習目標各論】

- 1. 心臓力テーテル検査・治療の方法と手技について説明できる。
- 2. 心臓力テーテル検査・治療の対象疾患について説明できる。
- 3. 心臓力テーテル検査結果の解釈と考察ができる。

【準備学習】

- 1. 心臓の解剖 (心腔構造、弁構造、冠動脈、刺激伝導系など)
- 2. 心臓弁膜症や虚血性心臓病の病態

7/13 (火) 3限

【単元】

不整脈 1

【講義担当者】

大江 征嗣

【準備学習】

講義用シラバスを配布する

7/13 (火) 4限

【単元】

不整脈2

【講義担当者】

大江 征嗣

【準備学習】

講義用シラバスを配布する

7/14 (水) 1限

【単元】

心電図

【講義担当者】

光武 良亮

【準備学習】

講義用シラバスを配布する

7/14 (水) 2限

【単元】

冠動脈疾患・<u>狭心症</u>

【講義担当者】

光武 良亮

【準備学習】

講義用シラバスを配布する

7/16 (金) 1限

【単元】

循環器の診察・主要微候

【講義担当者】

甲斐 久史

【学習目標各論】

- 1. 代表的な循環器疾患の主要徴候と特徴を理解する
- 2. 循環器疾患の診察の仕方を理解する
- 3. 循環器疾患の代表的な理学所見について知識を深める

【準備学習】

- 1. 代表的な循環器疾患の主要徴候と特徴を理解する
- 1) 循環器疾患の主な症状
- ・胸痛
- ・動悸
- ・呼吸困難・息切れ
- ・失神
- 2) 循環器疾患の診察法
- 3) 循環器疾患の代表的な理学的所見
- ・視診
- 触診
- ・打診
- ・聴診

7/16 (金) 2限

【単元】

失神

【講義担当者】

馬渡 一寿

【学習目標各論】

- 1. 失神の病態を説明できる。
- 2. 失神をおこす疾患を挙げることができる。
- 3. 失神の診断ができる。
- 4. 失神の治療法を説明できる。

【準備学習】

失神の定義とは?

起立性低血圧と反射性(神経調節性)失神の違いとは?

心原性失神の特徴とは?

失神の診断・鑑別に最も大事なことは?

7/19 (月) 1限

【単元】

高血圧1

【講義担当者】

```
松岡 秀洋
【準備学習】
講義用シラバスを配布する
```

7/19 (月) 2限

【単元】

高血圧2

【講義担当者】

松岡 秀洋

【準備学習】

講義用シラバスを配布する

7/19 (月) 3限

【単元】

心エコー図

【講義担当者】

安川 秀雄

【準備学習】

講義用シラバスを配布する

7/19 (月) 4限

【単元】

心筋疾患・心筋症・心筋炎

【講義担当者】

安川 秀雄

【準備学習】

講義用シラバスを配布する

7/19 (月) 5限

【単元】

二次性循環器疾患

【講義担当者】

新山 寛

【準備学習】

講義用資料を配布する

7/20 (火) 1限

【単元】

弁膜症1

【講義担当者】

横山 晋二

【学習目標各論】

- 1. 弁膜症の成因、病態生理について理解する
- 2. 弁膜症の理学所見、検査所見、診断および治療を概説できる
- 3. <u>感染性心内膜炎</u>の病因と症候を理解し、診断および治療を概説できる

【準備学習】

- 1. 心周期と心臓弁膜の解剖
- 2. 弁膜症の病態生理について
- 3. <u>感染性心内膜炎</u>の原因・病因と臨床症状について

7/20 (火) 2限

【単元】

弁膜症2

【講義担当者】

横山 晋二

【学習目標各論】

- 1. 弁膜症の成因、病態生理について理解する
- 2. 弁膜症の理学所見、検査所見、診断および治療を概説できる
- 3. <u>感染性心内膜炎</u>の病因と症候を理解し、診断および治療を概説できる

【準備学習】

- 1. 心周期と心臓弁膜の解剖
- 2. 弁膜症の病態生理について
- 3. <u>感染性心内膜炎</u>の原因・病因と臨床症状について

7/21 (水) 1限

【単元】

冠動脈疾患・心筋梗塞

【講義担当者】

光武 良亮

【準備学習】

講義用シラバスを配布する

【単元】

心不全2

【講義担当者】

福本 義弘

【学習目標各論】

- 1) 心不全の定義と原疾患
- 2) 心不全の病態生理および重症度分類
- 3) 左心不全と右心不全の診断と治療

【準備学習】

7/26 (月) 2限

【単元】

血栓と循環器疾患

【講義担当者】

福本 義弘

【学習目標各論】

- 1) 血栓形成および動脈血栓と静脈血栓の違い
- 2)動脈血栓(急性冠症候群)
- 3) 深部静脈血栓症・肺塞栓症

【準備学習】

7/26 (月) 3限

【単元】

ショックおよび循環器疾患

【講義担当者】

深水 亜子

【準備学習】

講義用シラバスを配布する

7/26 (月) 4限

【単元】

生活習慣病・動脈硬化の概念

【講義担当者】

榎本 美佳

【学習目標各論】

- 1. 動脈硬化とは
- 2. 動脈の構造を思い出そう
- 3. 動脈硬化の進展・メカニズム・発症について知ろう
- 4. 動脈硬化を進めてしまうものって何?
- 5. 動脈硬化を調べる方法はどういうものがあるだろうか
- 6. 生活習慣病の診断と治療・管理

【準備学習】

動脈の構造

動脈硬化とは?

どのように動脈硬化は進むのか?

動脈硬化は炎症!?

動脈硬化を進める危険因子をあげてみよう

動脈硬化を評価する検査はどのようなものがあるか

メタボリック症候群の診断基準

生活習慣病の治療と管理

7/27 (火) 1限

【単元】

肺高血圧

【講義担当者】

田原 宣広

【準備学習】 講義用シラバスを配布する

7/27 (火) 2限

【単元】

心膜疾患

【講義担当者】

永田 剛

【学習目標各論】

急性心膜炎の原因、症状、検査所見、治療法について説明できる。

心タンポナーデの原因、病態、症状、所見、治療法について説明できる。

収縮性心膜炎の原因、病態、症状、所見、治療法について説明できる。

【準備学習】

キーワードについての学習

心膜炎:心膜摩擦音、胸痛に先行する感冒症状

心タンポナーデ: Beckの3徴、奇脈、心嚢ドレナージ

収縮性心膜炎: dip and plateau、心膜石灰化、心膜ノック音

試験問題 · 解答 (本試験)

あなたは 学生 アカウント としてログインしています (ログアウト) Home

日本語 (ja)

English (en)

日本語 (ja)

モバイルアプリを取得する

2021 呼吸器内科

<u>ダッシュボード</u> / マイコース / <u>2021年度</u> / <u>2021年度・医学科</u> / <u>2学期</u> / <u>3年</u> / <u>2021 呼吸器内科</u>

呼吸器内科

【統括責任者】

星野 友昭

【何を学ぶか】

呼吸器系の構造と機能を理解し、主な呼吸器疾患の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。

【獲得すべき能力(全体)】

解剖学、免疫学、症候学など広い範囲で、呼吸器疾患を理解する能力

【獲得すべき能力(個別)】

医学教育モデル・コア・カリキュラム 平成28年度改訂版(呼吸器内科) 参照

【身に着けてほしい能力】

将来的な臨床現場での実践に生きる知識の取得。

【評価方法】

試験 約80点、講義 約20点とし総合的に判断する。

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

【問い合わせ】

東 公一 azuma@med.kurume-u.ac.jp

恒 質疑応答掲示板

料目DB

指定・参考図書

英語DB

Aa 用語集

科目評価(新)

■ 医学教育モデル・コア・カリキュラム 平成28年度改訂版(呼吸器内科)

10/11 (月) 1限

【単元】

呼吸器の構造と病理1

【講義担当者】

富永 正樹

【学習目標各論】

- ・呼吸器疾患を理解する上で、必要最低限の解剖・組織を理解する。(肺と縦隔の基本的解剖が理解でき、肺門部の構造、気道、区域解剖、末梢構造が理解できる。肺血管系・リンパ管系の機能・解剖を理解する。肺の小葉構造を理解する。)
- ・肺感染症の病理

(細菌性<u>肺炎</u>:気管支<u>肺炎</u>と大葉性<u>肺炎</u>の違いが説明できる。異型<u>肺炎</u>の違いが認識できる。誤嚥性<u>肺炎</u>の特徴について説明でき る。

日和見感染症:サイトメガロウイルス感染、PCP、肺真菌症、抗酸菌感染症について、それぞれの特徴を説明できる。)

【準備学習】

肺の解剖と組織について復習しておく。

肺に感染症を起こす原因について調べておく。

10/11 (月) 2限

【単元】

呼吸器の構造と病理2

【講義担当者】

富永 正樹

【学習目標各論】

- 1. <u>サルコイドーシス</u>、好酸球性肉芽種性血管炎、ランゲルハンス細胞性肉芽腫症、多発血管炎性肉芽腫症、<u>過敏性肺炎</u>について、その特徴と病理所見が言える。)
- 2. 肺の循環障害について理解する。(肺血栓・塞栓症の病態について理解・説明できる。)
- 3. <u>間質性肺疾患</u>の病理・病態を理解する。(<u>間質性肺炎</u>の種類・病態について説明できる。)
- 4. 職業性肺疾患(塵肺の種類・原因・病理について理解する。)

【準備学習】

肺肉芽腫性病変に分類や特徴を予習する。

間質性肺炎の分類を調べ、特徴を予習する。

肺循環障害にどのようなものがあるか病態を予習する。

10/13 (水) 1限

【単元】

呼吸器の構造と病理3

【講義担当者】

富永 正樹

【学習目標各論】

原発性肺がんについて、それぞれのがんの種類と特徴が言える。

胸膜疾患について、良性腫瘍・悪性腫瘍含め説明することができる。

縦隔腫瘍について、その発生部位と特徴など説明することができる。

【急性肺障害】急性肺障害について説明できる。

【準備学習】 肺がんの分類とそれぞれの特徴について予習する。 肺障害の分類について予習する。 10/13 (水) 2限 【単元】 呼吸器の日和見感染症 【講義担当者】 富永 正樹 【学習目標各論】 日和見感染症とはなにかを説明できる。 呼吸器の日和見感染症を挙げられる。 HIV感染症の特徴を説明できる。 【準備学習】 サイトメガロ<u>肺炎</u>、ニューモシスチス<u>肺炎</u>、HIV感染症について予習してくる 10/14 (木) 1限 【単元】 閉塞性肺疾患1 COPD 【講義担当者】 川山 智隆 【学習目標各論】 閉塞性換気障害を来す疾患 慢性閉塞性肺疾患 (COPD)の疫学、定義、診断、病態 びまん性汎細気管支炎の特徴 閉塞性細気管支炎の特徴 【準備学習】 喫煙関連疾患、移植後肺合併症について予習しておく

急性肺障害の原因、病態、病理を理解する。

10/14 (木) 2限

【単元】

閉塞性肺疾患 2 喘息

【講義担当者】

川山 智隆

【学習目標各論】

アトピー、アナフィラキシーおよびアレルギー反応の区別ができる。

気管支喘息の病態生理、診断および治療を説明できる。

アスピリン喘息(ロイコトリエン不耐症)、アレルギー性気管支肺アスペルギルス症およびアレルギー性肉芽腫性血管炎の特徴を説明できる。

【準備学習】

古典型アレルギー反応、気道過敏性試験、可逆性気道狭窄について予習しておく

10/14 (木) 7限

【単元】

呼吸不全・呼吸調節障害

【講義担当者】

横山 俊伸

【学習目標各論】

呼吸中枢を介する呼吸調節の機序を説明できる。

<u>呼吸不全</u>の定義、分類、病態生理と主な原因、<u>呼吸不全</u>への対処を説明できる。

低酸素(血)症と高二酸化炭素(血)症の原因、分類と診断を説明し、治療を概説できる。

過換気症候群を概説できる。

<u>睡眠時無呼吸症候群</u>を概説できる。

【準備学習】

A-aDO2が開大する呼吸調節障害機序について、それぞれ具体的疾患をあげて説明できるように復習する。

10/15 (金) 1限

【単元】

呼吸器の生理と機能

```
【学習目標各論】
  気道、肺および間質の解剖および機能が理解できる。
  スパイロメトリーで肺活量や1秒量で拘束性あるいは閉塞性換気障害を区別できる。
  機能的残気量、動的・静的過膨張、クロージングボリウム、拡散能、抵抗およびコンプライアンスが説明できる。
  呼吸不全および換気不全が区別できる。
  【準備学習】
  呼吸機能、気道の解剖、酸・塩基平衝、酸素解離曲線について予習しておく
10/18 (月) 1限
  【単元】
  アレルギー性肺疾患
  【講義担当者】
 枝國 信貴
  【学習目標各論】
  アトピー、アナフィラキシーおよびアレルギー反応の区別ができる
  慢性<u>好酸球性肺炎</u>と急性<u>好酸球性肺炎</u>の診断、特徴および治療を区別できる
  過敏性肺炎の原因、診断および治療を説明できる
  【準備学習】
  古典型アレルギー反応、Th1/Th2、インターロイキンについて予習しておく
10/18 (月) 2限
  【単元】
  肺腫瘍
  【講義担当者】
```

胸部の腫瘍性疾患を挙げられる

山田 一彦

【学習目標各論】

【講義担当者】

北里 裕彦

胸部腫瘍性疾患の検査方法、化学療法を説明できる 【準備学習】 胸部腫瘍性疾患の種類 原発性肺癌の検査、治療法 10/19 (火) 1限 【単元】 間質性肺炎 1 【講義担当者】 岡元 昌樹 【学習目標各論】 拘束性肺障害を来す疾患を挙げることができる。 特発性<u>間質性肺炎</u>の組織学的分類を説明することが出来る。 特発性<u>間質性肺炎</u>の診断に必要な検査を説明することが出来る。 特発性<u>間質性肺炎</u>の治療を説明することが出来る。 【準備学習】 間質性肺炎の原因 間質性肺炎の診断基準 間質性肺炎の治療 10/19 (火) 2限 【単元】 全身疾患の肺病変 【講義担当者】 岡元 昌樹 【学習目標各論】

膠原病に合併しやすい肺病変とその検査、治療法を挙げられる。

【準備学習】

膠原病に合併する肺疾患

10/20 (水) 1限

【単元】

気管支疾患

【講義担当者】

川山 智隆

【学習目標各論】

気管支の解剖が理解できる。

気管支拡張症および無気肺の原因、画像および診断を説明できる。

喀血の対応が説明できる。

【準備学習】

慢性呼吸器感染症、先天性異常、発育異常について予習しておく

10/20 (水) 2限

【単元】

間質性肺炎 2

【講義担当者】

津田 徹

【学習目標各論】

肉芽腫疾患の<u>サルコイドーシス</u>について説明できる。

放射線肺臓炎について説明できる。特に診断について。

じん肺:<u>珪肺と石綿肺</u>について説明できる。

粉じん職場の労働衛生管理について説明できる。

【準備学習】

間質性肺炎の分類について予習をしておく

10/21 (木) 7限

【単元】

```
【講義担当者】
  東北大学大学院医学系研究科
  菅村 和夫
10/22 (金) 1限
  【単元】
  診断と検査の基本
  【講義担当者】
  星野 友昭
  【学習目標各論】
  喀痰検査の意味を説明できる。
  【準備学習】
  <u>肺癌</u>、喘息、COPDの検査を勉強する
10/22 (金) 2限
  【単元】
  免疫とアレルギー
  【講義担当者】
  星野 友昭
  【学習目標各論】
  肺のアレルギー疾患の機序を理解できる。
  【準備学習】
  1~4型アレルギー、喘息のアレルギーの機序、アナフィラキシーショックについて勉強する
10/22 (金) 5限
  【単元】
  特別講義
  【講義担当者】
  公益財団法人結核予防会 (本部) 理事長
  工藤 翔二
```

特別講義

```
10/22 (金) 6限
[単元]
特別講義
[講義担当者]
公益財団法人結核予防会(本部)理事長
工藤 翔二
```

10/25 (月) 5限

【単元】

呼吸器感染症

【講義担当者】

末安 禎子

【学習目標各論】

呼吸器感染症、特に<u>肺炎</u>の臨床像を理解できる。<u>肺炎</u>の起炎微生物の特徴を理解できる。

抗酸菌感染の病原菌と臨床的特徴を理解できる。

【準備学習】

細菌性肺炎・抗酸菌感染症・びまん性汎細気管支炎を勉強する。

10/25 (月) 6限

【単元】

特別講義

【講義担当者】

近畿大学医学部内科学腫瘍内科部門

中川 和彦

10/25 (月) 7限

【単元】

```
【講義担当者】
 近畿大学医学部内科学腫瘍内科部門
  中川 和彦
10/26 (火) 5限
  【単元】
  診断検査の基本
  【講義担当者】
 一木 昌郎
  【学習目標各論】
  呼吸器疾患を診るにあたり基本原則である問診、視診、触診、打診、聴診の意義と必要性を理解する。
  【準備学習】
  予習:呼吸器の自覚症状・他覚所見について整理しておく。
  復習:呼吸器の自・他覚所見を組み合わせでも説明できるように復習する。
10/26 (火) 6限
  【単元】
  特別講義
  【講義担当者】
 東北大学免疫学分野
  石井 直人
10/27 (水) 7限
  【単元】
  肺循環
  【講義担当者】
```

特別講義

古賀 丈晴

【学習目標各論】

肺高血圧症の病態・原因について概説できる。

肺血栓塞栓症の疫学、病態、診断、治療を説明できる。

急性呼吸促迫症候群について概説できる。

肺動静脈奇形について概説できる。

【準備学習】

肺高血圧症の病態、臨床像肺血栓塞栓症の臨床像、病態、治療

急性呼吸促迫症候群、肺動脈性肺高血圧症(原発性肺高血圧症)、肺動静脈奇形について概説できるようになっておく

※講義を通して上記の内容を整理・確認することで理解を深める

試験問題・解答(本試験)

あなたは 学生 アカウント としてログインしています (ログアウト) Home

日本語 (ja) English (en)

日本語 (ja)

モバイルアプリを取得する

2021 消化器内科

<u>ダッシュボード</u> / マイコース / 2021年度 / 2021年度・医学科 / 1学期 / 3年 / 2021 消化器内科

消化器内科

【統括責任者】

鳥村 拓司

【何を学ぶか】

消化器系の正常構造と機能を理解し、主な消化器系疾患の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。

【獲得すべき能力(全体)】

- 1. 消化器疾患を持つ患者の症状と身体所見を理解する。
- 2. 消化器疾患の病態と検査所見(画像検査所見を含む)を理解する。
- 3. 消化器疾患に対する治療を理解する。

【獲得すべき能力(個別)】

診断と検査の基本

- ①代表的な肝炎ウイルス検査の検査項目を列挙し、その意義を説明できる。
- ②消化器関連の代表的な腫瘍マーカー(α-fetoprotein <AFP>、carcinoembryonic antigen <CEA>、carbohydrate antigen <CA> 19-9、protein induced by vitamin K absence or antagonists <PIVKA>-II)の意義を説明できる。
- ③消化器系疾患の画像検査を列挙し、その適応と異常所見を説明し、結果を解釈できる。
- ④消化器内視鏡検査から得られる情報を説明できる。
- ⑤生検と細胞診の意義と適応を説明できる。

症候

- (1) 肝腫大
- ①肝腫大をきたす疾患を列挙し、その病態生理を説明できる。
- ②肝腫大のある患者における医療面接、診察と診断の要点を説明できる。
- (2)その他の症候
- ①黄疸 ②腹痛 ③悪心・嘔吐 ④食思(欲)不振 ⑤便秘・下痢・血便
- ⑥吐血・下血 ⑦腹部膨隆(腹水を含む)・膨満・腫瘤

疾患

- (1)食道疾患
- ①食道・胃静脈瘤の病態生理、内視鏡分類と治療を説明できる。
- ②胃食道逆流症(gastroesophageal reflux disease <GERD>)と逆流性食道炎の病態生理、症候と診断を説明できる。
- ③Mallory-Weiss 症候群を概説できる。

(2)胃・十二指腸疾患

- ①胃潰瘍、十二指腸潰瘍 (消化性潰瘍) の病因、症候、進行度分類、診断と治療を説明できる。
- ②Helicobacter pylori 感染症の診断と治療を説明できる。
- ③胃ポリープの病理と肉眼分類を説明できる。
- ④急性胃粘膜病変の概念、診断と治療を説明できる。
- ⑤急性胃腸炎、慢性胃炎を概説できる。
- ⑥胃切除後症候群の病態生理を説明できる。
- ⑦機能性消化管障害(機能性ディスペプシア(functional dyspepsia <FD>))を説明できる。
- ⑧肥厚性幽門狭窄症を概説できる。

(3) 小腸・大腸疾患

- ①急性虫垂炎の症候、診断と治療を説明できる。
- ②腸閉塞とイレウスの病因、症候、診断と治療を説明できる。
- ③炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎・Crohn病)の病態生理、症候、診断と治療を説明できる。
- ④痔核と痔瘻の病態生理、症候と診断を説明できる。
- ⑤機能性消化管障害(過敏性腸症候群)を概説できる。
- ⑥腸管憩室症(大腸憩室炎と大腸憩室出血)を概説できる。
- ⑦薬物性腸炎を概説できる。

- ⑧消化管ポリポーシスを概説できる。
- ⑨大腸の主な先天性疾患(鎖肛、Hirschsprung病)を概説できる。
- ⑩腸重積症を概説できる。
- ①便秘症、乳児下痢症を説明できる。
- 迎感染性腸炎を概説できる。
- ⑬虚血性大腸炎を概説できる。
- ④急性出血性直腸潰瘍を概説できる。
- ⑤上腸間膜動脈閉塞症を概説できる。
- ⑯消化管神経内分泌腫瘍(neuroendocrine tumor <NET>)を概説できる。
- ⑪消化管間質腫瘍(gastrointestinal stromal tumor <GIST>)を概説できる。

(4) 胆道疾患

- ①胆石症の病因、症候、診断と治療を説明できる。
- ②胆嚢炎と胆管炎の病因、病態生理、症候、診断、合併症と治療を説明できる。
- ③胆嚢ポリープを概説できる。
- ④先天性胆道拡張症と膵・胆管合流異常症を概説できる。

(5) 肝疾患

- ①A型・B型・C型・D型・E型肝炎の疫学、症候、診断、治療、経過と予後を説明できる。
- ②急性肝炎、慢性肝炎の定義を説明できる。
- ③急性肝不全の概念、診断を説明できる。
- ④肝硬変の病因、病理、症候、診断と治療を説明できる。
- ⑤肝硬変の合併症(門脈圧亢進症、肝性脳症、肝癌)を概説できる。
- ⑥アルコール性肝障害を概説できる。
- ⑦薬物性肝障害を概説できる。
- ⑧肝膿瘍の症候、診断と治療を説明できる。
- ⑨原発性胆汁性胆管炎(原発性胆汁性肝硬変)と原発性硬化性胆管炎の症候、診断、治療、経過と予後を説明できる。
- ⑩自己免疫性肝炎を概説できる。
- ⑪脂肪性肝疾患を概説できる。

(6)膵臓疾患

- ①急性膵炎(アルコール性、胆石性、特発性)の病態生理、症候、診断と治療を説明できる。
- ②慢性膵炎(アルコール性、特発性)の病態生理、症候、診断、合併症と治療を説明できる。
- ③自己免疫性膵炎を概説できる。

(7) 腹膜・腹壁・横隔膜疾患

- ①腹膜炎の病因、症候、診断と治療を説明できる。
- ②ヘルニアの概念、病態(滑脱、嵌頓、絞扼)と好発部位を説明できる。
- ③鼠径部ヘルニアの病因、病態、診断と治療を説明できる。

(8) 腫瘍性疾患

- ①食道癌の病理所見、肉眼分類と進行度分類を説明できる。
- ②食道癌の症候、診断、治療と予後を説明できる。
- ③胃癌の疫学、病理所見、症候、肉眼分類と進行度分類を説明できる。
- ④胃癌の診断法を列挙し、所見とその意義を説明できる。
- ⑤胃癌の進行度に応じた治療を概説できる。
- ⑥大腸癌の病理所見、診断、肉眼分類と進行度分類を説明できる。
- ⑦大腸癌の症候、診断、治療を説明できる。
- ⑧胆嚢・胆管癌・乳頭部癌の病理所見、症候、診断と治療を説明できる。
- ⑨原発性肝癌、転移性肝癌の病因、病理所見、症候、診断と治療を説明できる。
- ⑩膵癌の病理所見、症候、診断と治療を説明できる。
- ⑪嚢胞性膵腫瘍の分類と病理所見を説明できる。
- ⑫腹膜中皮腫、消化管間質腫瘍<GIST>、消化管カルチノイドを概説できる。

【身に着けてほしい能力】

クリニカルクラークシップにおいて診療(診断・治療・教育)計画に参画できるための基礎知識

【評価方法】

想起型、解釈型、問題解決型の問題をバランスよく盛り込んだ試験問題による評価を行う。

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

試験の採点終了後、解答をMoodleにアップする。

内科学講座消化器内科部門 内線 3714

主任教授 鳥村拓司 tori@med.kurume-u.ac.jp

教育主任 竹田津英稔 takedatsu_hidetoshi@med.kurume-u.ac.jp

算疑応答掲示板

料目DB

指定・参考図書

英語DB

Aa 用語集

科目評価(新)

6/25 (金) 1限

【単元】 門脈圧亢進症と食道,胃静脈瘤

【講義担当者】 江森 啓悟

【学習目標各論】

【準備学習】

6/25 (金) 2限

【単元】 下部消化管の腫瘍性病変

【講義担当者】 永田 務

【学習目標各論】

【準備学習】

6/25 (金) 5限

【単元】 腸の炎症性疾患の原因,診断,治療

【講義担当者】 吉岡 慎一郎

【学習目標各論】

【準備学習】

6/25 (金) 6限

【単元】 潰瘍性大腸炎・クローン病

【講義担当者】 吉岡 慎一郎

```
【学習目標各論】
```

【準備学習】

6/29 (火) 1限

【単元】 食道の良性疾患

【講義担当者】 於保 和彦

【学習目標各論】

【準備学習】

6/29 (火) 2限

【単元】 胃・十二指腸の良性疾患

【講義担当者】 於保 和彦

【学習目標各論】

【準備学習】

6/29 (火) 5限

【単元】 食道・胃の悪性疾患(内視鏡治療)

【講義担当者】 向笠 道太

【学習目標各論】

【準備学習】

6/29 (火) 6限

【単元】 消化管疾患の画像診断

【講義担当者】 向笠 道太

【学習目標各論】

【準備学習】

6/30 (水) 1限

【単元】 下部消化管の良性疾患

【講義担当者】 桑木 光太郎

【学習目標各論】

【準備学習】

6/30 (水) 2限

【単元】 ウイルス性肝炎(急性肝炎)、急性肝不全

【講義担当者】 桑原 礼一郎

【学習目標各論】

【準備学習】

6/30 (水) 3限

【単元】 ウイルス性肝炎(慢性肝炎)

【講義担当者】 桑原 礼一郎

【学習目標各論】

【準備学習】

6/30 (水) 4限

【単元】 肝腫瘍

【講義担当者】 鳥村 拓司

【学習目標各論】

【準備学習】

7/1 (木) 1限

【単元】 肝臓の構造と機能,ビリルビン代謝

【講義担当者】 古賀 浩徳

```
【学習目標各論】
```

【準備学習】

7/1 (木) 2限

【単元】 アルコール性肝障害・非アルコール性脂肪性 薬物性肝障害 肝疾患・代謝性肝疾患

【講義担当者】 川口 巧

【学習目標各論】

【準備学習】

7/1 (木) 5限

【単元】 肝疾患の画像診断

【講義担当者】 黒松 亮子

【学習目標各論】

【準備学習】

7/1 (木) 6限

【単元】 肝硬変

【講義担当者】 井出 達也

【学習目標各論】

【準備学習】

7/1 (木) 7限

【単元】 自己免疫性肝疾患

【講義担当者】 有永 照子

【学習目標各論】

【準備学習】

7/2 (金) 3限

【単元】 膵臓疾患

【講義担当者】 岡部 義信

【学習目標各論】

【準備学習】

7/2 (金) 4限

【単元】 胆道疾患

【講義担当者】 岡部 義信

【学習目標各論】

【準備学習】

7/2 (金) 5限

【単元】 胆膵疾患の画像診断

【講義担当者】 牛島 知之

【学習目標各論】

【準備学習】

試験問題 · 解答 (本試験)

あなたは 学生 アカウント としてログインしています (ログアウト) Home

日本語 (ja)

English (en)

日本語 (ja)

モバイルアプリを取得する

2021 腎臓内科

<u>ダッシュボード</u> / マイコース / <u>2021年度</u> / <u>2021年度・医学科</u> / <u>2学期</u> / <u>3年</u> / <u>2021 腎臓内科</u>

腎臓内科

【統括責任者】

深水 圭

【何を学ぶか】

腎・尿路系の構造と機能を理解し、主な腎・尿路系疾患の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。

【獲得すべき能力(全体)】

CBTや医師国家試験において必要な腎臓内科学の知識を獲得する。

【獲得すべき能力(個別)】

医学教育モデル・コア・カリキュラム 平成28年度改訂版(腎臓内科) 参照

【身に着けてほしい能力】

クリニカルクラークシップで腎臓内科のチームの1人として患者の診療にあたることができる医学生としての知識、態度を身に着ける。

【評価方法】

小テスト(記述式)と本試験(マルチプルチョイス)による評価を行う。

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

小テスト、本試験については試験問題、解答を配布する。

【問い合わせ】

- 1. ryo0513@med.kurume-u.ac.jp
- 2.0942-31-7002 (内線 5346)
- 3. 腎臓内科医局
- **恒** <u>質疑応答掲示板</u>
- 料目DB
- 指定・参考図書
- 英語DB
- Aa 用語集
- 科目評価(新)
- 医学教育モデル・コア・カリキュラム 平成28年度改訂版(腎臓内科)

10/4 (月) 1限

【単元】

腎臓の構造と機能

【講義担当者】

深水 圭

```
腎臓の解剖、生理について理解する
  【準備学習】
  事前にシラバスを配布します。
10/4 (月) 2限
  【単元】
  腎臓の検査
  【講義担当者】
  甲斐田 裕介
  【学習目標各論】
  腎疾患を評価するための血液検査、尿検査について理解する。
  【準備学習】
  事前にシラバスを配布する。
10/4 (月) 3限
  【単元】
  慢性腎臓病
  【講義担当者】
  柴田 了
  【学習目標各論】
  慢性腎臓病(CKD)の定義、概念について理解する。
  【準備学習】
  事前にシラバスを配布する。
10/4 (月) 4限
  【単元】
  原発性糸球体疾患①
  【講義担当者】
```

【学習目標各論】

矢野 淳子

```
【学習目標各論】
  腎病理のみかた、IgA腎症、紫斑病性腎炎について理解する。
  【準備学習】
  事前にシラバスを配布する。
10/4 (月) 5限
  【単元】
  原発性糸球体疾患②
  【講義担当者】
  黒川 佑佳
  【学習目標各論】
  半月体形成性腎炎、急性糸球体腎炎について理解する。
  【準備学習】
  事前にシラバスを配布する。
10/4 (月) 6限
  【単元】
 ネフローゼ症候群
  【講義担当者】
  浦江 憲吾
  【学習目標各論】
 ネフローゼ症候群について理解する。
  【準備学習】
  事前にシラバスを配布します。
10/5 (火) 1限
  【単元】
 小テスト
  【講義担当者】
```

柴田 了

```
【学習目標各論】
  10月4日の講義内容を理解する。
  【準備学習】
  10月4日の講義内容の復習
10/5 (火) 2限
  【単元】
  糖尿病性腎症
  【講義担当者】
  深水 圭
  【学習目標各論】
  糖尿病性腎症について理解する。
  【準備学習】
  事前にシラバスを配布します。
10/5 (火) 3限
  【単元】
  遺伝性疾患と腎
  【講義担当者】
  深水 圭
  【学習目標各論】
  多発嚢胞腎、Alport症候群、Fabry病などの遺伝性腎疾患について理解する。
  【準備学習】
  事前にシラバスを配布します。
10/5 (火) 4限
  【単元】
  腎血管障害
  【講義担当者】
  松本 有里子
```

```
【学習目標各論】
  腎硬化症、悪性腎硬化症、腎動脈狭窄症などについて理解する。
  【準備学習】
  事前にシラバスを配布します。
10/5 (火) 5限
  【単元】
  尿細管間質性腎炎
  【講義担当者】
  柴田 了
  【学習目標各論】
  尿細管間質性腎炎について理解する。
  【準備学習】
  事前にシラバスを配布します。
10/5 (火) 6限
  【単元】
  尿毒症・腎不全
  【講義担当者】
 玻座真 琢磨
  【学習目標各論】
  尿毒症、腎不全について理解する。
  【準備学習】
  事前にシラバスを配布します。
10/6 (水) 1限
  【単元】
 小テスト
```

```
【学習目標各論】
  10月5日の講義内容の復習
  【準備学習】
  10月5日の講義内容
10/6 (水) 2限
  【単元】
  急性腎障害
 【講義担当者】
 森山 智文
  【学習目標各論】
  急性腎障害について理解する。
  【準備学習】
  事前にシラバスを配布します。
10/6 (水) 3限
  【単元】
 水・電解質異常①
  【講義担当者】
  甲斐田 裕介
  【学習目標各論】
 水・電解質について理解する。
  【準備学習】
  事前にシラバスを配布します。
10/6 (水) 4限
  【単元】
 水・電解質②
```

柴田 了

```
甲斐田 裕介
  【学習目標各論】
 水・電解質について理解する。
  【準備学習】
  事前にシラバスを配布します。
10/6 (水) 5限
  【単元】
  全身性疾患と腎障害
 【講義担当者】
  児玉 豪
  【学習目標各論】
 ループス腎炎、アミロイドーシスなど全身性疾患に伴う腎疾患について理解する。
  【準備学習】
  事前にシラバスを配布します。
10/6 (水) 6限
  【単元】
  腎代替療法
  【講義担当者】
  伊藤 佐久耶
  【学習目標各論】
  腎代替療法について理解する。
  【準備学習】
  事前にシラバスを配布します。
10/7 (木) 1限
  【単元】
 小テスト
```

```
【学習目標各論】
  10月6日の講義の復習
  【準備学習】
  10月6日の講義内容の復習
10/7 (木) 2限
  【単元】
  講義の復習
 【講義担当者】
  柴田 了
  【学習目標各論】
  講義全体の復習
  【準備学習】
  講義全体の復習
10/7 (木) 3限
  【単元】
  講義全体の復習
  【講義担当者】
  柴田 了
  【学習目標各論】
  講義全体の復習
  【準備学習】
  講義全体の復習
```

柴田 了

10/8 (金) 1限

本試験

```
10/8 (金) 2限
 本試験
10/8 (金) 3限
 【単元】
 グループワーク1
 【講義担当者】
 深水 圭
  【学習目標各論】
  腎疾患を総合的に理解する。
  【準備学習】
 特に必要ありません。
10/8 (金) 4限
  【単元】
 グループワーク2
 【講義担当者】
 深水 圭
  【学習目標各論】
  腎疾患を総合的に理解する。
  【準備学習】
  特に必要ありません。
```

10/8 (金) 5限

グループワーク3

【単元】

【講義担当者】
深水 圭
【学習目標各論】
腎疾患を総合的に理解する。
【準備学習】
特に必要ありません。
0/8 (金) 6限
【単元】
グループワーク4
【講義担当者】
深水 圭
【学習目標各論】
腎疾患を総合的に理解する。
【準備学習】
特に必要ありません。
式験問題・解答(本試験)

あなたは 学生 アカウント としてログインしています (ログアウト) Home

日本語 (ja) English (en) 日本語 (ja)

モバイルアプリを取得する

2021 神経内科

<u>ダッシュボード</u> / マイコース / <u>2021年度</u> / <u>2021年度・医学科</u> / <u>2学期</u> / <u>3年</u> / <u>2021 神経内科</u>

神経内科

【統括責任者】

谷脇 考恭

【何を学ぶか】

主な神経系疾患の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。

【全体として獲得すべき能力】

神経系疾患に関する知識・考え方の習得

【個別に獲得すべき能力】

(1) 診断と検査の基本

- 1. 脳・脊髄CT・MRI検査で得られる情報を説明できる。
- 2. 神経系の電気生理学的検査 (脳波、筋電図、末梢神経伝導速度)で得られる情報を説明できる。
- 3. 神経・筋生検で得られる情報を説明できる。

(2) 運動障害と不随意運動

- 1. 小脳性・前庭性・感覚性運動障害を区別して説明できる。
- 2. 振戦を概説できる。
- 3. その他の不随意運動 (ミオクローヌス、舞踏運動、ジストニア)を概説できる。

(3) 歩行障害

1. 歩行障害を病態に基づいて分類できる。

(4) 言語障害

- 1. 失語症と構音障害の違いを説明できる。
- 2. 言語障害を病態に基づいて分類できる。

(5) 運動麻痺・筋力低下

- 1. 運動麻痺・筋力低下の原因と病態を説明できる。
- 2. 運動麻痺・筋力低下を訴える患者の診断の要点を説明できる。

(6) けいれん

- 1. けいれんの種類と原因を列挙できる。
- 2. けいれん患者の診断の要点を概説できる。
- 3. けいれん発作時の初期治療を概説できる。

(7) 頭痛

- 1. 頭痛の原因と病態を説明できる。
- 2. 頭痛を訴える患者の診断の要点を説明できる。

(8) 脳血管障害

1. 虚血性脳血管障害(脳梗塞)の病態、症候と診断を概説できる。

(9) 認知症と変性疾患

- 1. <u>認知症</u>の病因を列挙できる。
- 2. 認知症をきたす主な病態 (Alzheimer (アルツハイマー) 型認知症、脳血管性認知症) の症候と診断を説明できる。
- 3. Parkinson (パーキンソン) 病の病態、症候と診断を説明できる。
- 4. 筋萎縮性側索硬化症を概説できる。
- 5. 脊髄小脳変性症を概説できる。

(10) 感染性・炎症性・<u>脱髄</u>性疾患

- 1. 脳炎・髄膜炎の病因、症候と診断を説明できる。
- 2. 多発性硬化症の病態、症候と診断を説明できる。
- 3. 脳膿瘍を概説できる。

(11) 末梢神経疾患

- 1. ニューロパチーの病因(栄養障害、中毒、遺伝性)と病態を分類できる。
- 2. Guillain-Barre (ギラン・バレー) 症候群の症候、診断を説明できる。

- 3. Bell (ベル) 麻庫の症候、診断と治療を説明できる。
- 4. 主な神経痛 (三叉・肋間・坐骨神経痛)を概説できる。

(12) 筋疾患

- 1. 重症筋無力症の病態、症候と診断を説明できる。
- 2. 進行性筋ジストロフィーの病因、分類、症候と診断を説明できる。
- 3. 周期性四肢麻庫を概説できる。
- 4. ミトコンドリア脳筋症を概説できる。

【久留米大学の学生として身に着けてほしい能力】

患者さんを目の前にしたときに、『この症状は神経疾患である・ない』という判別をできるようになってほしい

【評価方法】

授業態度・筆記試験

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

【問い合わせ先】

谷脇考恭: ttaniwa@med.kurume-u.ac.jp

立石貴久: tateishi_takahisa@med.kurume-u.ac.jp



科目DB

指定・参考図書

英語DB

Aa 用語集

科目評価(新)

11/25 (木) 3限

【単元】

序論:神経内科とは

【講義担当者】

谷脇 考恭

【学習目標各論】

- 1. 神経内科と親しくなる
- 2. 神経内科医の基本的考え方を知る

【準備学習】

指定教科書の該当部位に目を通す。

予習よりも復習に力をいれてください。

11/25 (木) 4限

【単元】

歩行障害・失語・構音障害

【講義担当者】

谷脇 考恭

【学習目標各論】

<u>歩行障害</u>を病態に基づいて分類できる

失語と<u>構音障害</u>の違いが説明できる

【準備学習】

指定教科書の該当部位に目を通す。

予習よりも復習に力をいれてください。

11/26 (金) 3限

【単元】

脳波・誘発電位・神経伝導速度検査

【講義担当者】

入江 研一

【学習目標各論】

<u>脳波</u>で得られる情報を説明できる

各種誘発電位で得られる情報を説明できる

神経伝導速度検査で得られる情報を説明できる

どんなときに<u>脳波</u>・誘発電位・神経伝導速度検査が必要なのかを理解する

【準備学習】

指定教科書の該当部位に目を通す。

予習よりも復習に力をいれてください。

11/26 (金) 4限

【単元】

筋電図・筋生検・神経生検

【講義担当者】

入江 研一

【学習目標各論】

筋電図で得られる情報を説明できる

筋生検で得られる情報を説明できる

神経生検で得られる情報を説明できる

筋電図・筋生検・神経生検がどのようなときに必要かを理解する

【準備学習】

指定教科書の該当部位に目を通す。

予習よりも復習に力をいれてください。

11/29 (月) 3限

【単元】

筋力・筋トーヌス・深部腱反射

```
【講義担当者】
立石 貴久
【学習目標各論】
筋力の所見を評価できる
筋トーヌスの所見を評価できる
変部腱反射の所見を評価できる
、深部腱反射の所見を評価できる
【準備学習】
指定教科書の該当部位に目を通す。
予習よりも復習に力をいれてください。
```

11/29 (月) 4限

【単元】

失調症・<u>不随意運動</u>

【講義担当者】

立石 貴久

【学習目標各論】

失調症を病態に基づいて分類できる

各種<u>不随意運動</u>を説明できる

【準備学習】

指定教科書の該当部位に目を通す。

予習よりも復習に力をいれてください。

11/30 (火) 3限

【単元】

脳血管障害1

【講義担当者】

入江 研一

【学習目標各論】

1. 脳血管障害の原因・病型分類・治療法について説明できる

【準備学習】

指定教科書の該当部位に目を通す。

予習よりも復習に力をいれてください。

11/30 (火) 4限

【単元】

脳血管障害2

【講義担当者】

入江 研一

【学習目標各論】

1. 脳血管障害の原因・病型分類・治療法について説明できる

【準備学習】

指定教科書の該当部位に目を通す。

予習よりも復習に力をいれてください。

12/1 (水) 3限

【単元】

末梢神経疾患1 (障害神経分布による分類・CMT・FAP)

【講義担当者】

立石 貴久

【学習目標各論】

- 1. 末梢神経障害分布による分類ができる
- 2. Charcot-Marie-Tooth病の病態・症候・診断について説明できる
- 3. 家族性アミロイドポリニューロパチーの病態・症候・診断・治療について説明できる

【準備学習】

指定教科書の該当部位に目を通す。

予習よりも復習に力をいれてください。

12/1 (水) 4限

【単元】

末梢神経疾患 2 (GBS・CIDP・MMN)

【講義担当者】

立石 貴久

【学習目標各論】

- 1. ギラン・バレー症候群の病態・診断・治療法について説明できる
- 2. 慢性炎症性脱髄性多発根神経炎の病態・診断・治療法について説明できる
- 3. 多巣性運動性ニューロパチーの病態・診断・治療法について説明できる

【準備学習】

指定教科書の該当部位に目を通す。

予習よりも復習に力をいれてください。

12/2 (木) 3限

【単元】

```
変性疾患1 (パーキンソン病)
【講義担当者】
谷脇 考恭
【学習目標各論】
```

パーキンソン病の病態・症候・診断を説明できる

【準備学習】

指定教科書の該当部位に目を通す。

予習よりも復習に力をいれてください。

12/2 (木) 4限

【単元】

変性疾患2 (パーキンソン症候群)

【講義担当者】

谷脇 考恭

【学習目標各論】

パーキンソン症候群の病態・症候と診断を説明できる

【準備学習】

指定教科書の該当部位に目を通す。

予習よりも復習に力をいれてください。

12/2 (木) 7限

【単元】

発作性疾患 1 (てんかん)

【講義担当者】

立石 貴久

【学習目標各論】

<u>てんかん</u>の症状・<u>脳波</u>所見・治療法について説明できる

<u>てんかん</u>重積状態について説明できる

【準備学習】

指定教科書の該当部位に目を通す。

予習よりも復習に力をいれてください。

12/6 (月) 3限

【単元】

変性疾患3(ALS関連・KAS・SMA)

立石 貴久

【学習目標各論】

1. ALS、SMA、KAS (SBMA)など運動神経病の症状・診断・治療法について説明できる

【準備学習】

指定教科書の該当部位に目を通す。

予習よりも復習に力をいれてください。

12/6 (月) 4限

【単元】

変性疾患4(SCA・MSA)

【講義担当者】

立石 貴久

【学習目標各論】

- 1. 脊髄小脳変性症の病態について説明できる
- 2. 多系統<u>萎縮</u>症の病態について説明できる

【準備学習】

指定教科書の該当部位に目を通す。

予習よりも復習に力をいれてください。

12/7 (火) 3限

【単元】

発作性疾患 2 (頭痛)

【講義担当者】

立石 貴久

【学習目標各論】

危険な $\underline{\mathbf{g}}$ 痛とそうでない $\underline{\mathbf{g}}$ の区別ができる

三叉神経痛を概説できる

【準備学習】

指定教科書の該当部位に目を通す。

予習よりも復習に力をいれてください。

12/7 (火) 4限

【単元】

中枢性<u>脱髄</u>疾患(MS・NMO・ADEM)

【講義担当者】

入江 研一

【学習目標各論】

- 1. 多発性硬化症の病態・症候・診断・治療法について説明できる
- 2. 視神経脊髄炎の病態・症候・診断・治療法について説明できる
- 3. 急性散在性脳脊髄炎の病態・症候・診断・治療法について説明できる

【準備学習】

指定教科書の該当部位に目を通す。

予習よりも復習に力をいれてください。

12/7 (火) 7限

【単元】

MG・筋無力症候群・周期性四肢<u>麻痺</u>

【講義担当者】

谷脇 考恭

【学習目標各論】

- 1. 重症筋無力症の病態・症候・診断・治療法について説明できる
- 2. 筋無力症候群の病態・症候・診断について説明できる
- 3. 周期性四肢麻痺を概説できる

【準備学習】

指定教科書の該当部位に目を通す。

予習よりも復習に力をいれてください。

12/8 (水) 3限

【単元】

代謝性疾患(Wilson·Fabry·Pompe)

【講義担当者】

入江 研一

【学習目標各論】

1. Wilson病・Niemann-Pick病・Fabry病・Pompe病の病態・症候・診断・治療法について説明できる

【準備学習】

指定教科書の該当部位に目を通す。

予習よりも復習に力をいれてください。

12/8 (水) 4限

【単元】

中毒性神経疾患(金属中毒・有機物質中毒・CO中毒・Wernicke脳症など)

入江 研一

【学習目標各論】

- 1. 鉛中毒・マンガン中毒など金属中毒の症状について概説できる
- 2. トルエン中毒・有機リン中毒など有機物質中毒の症状について概説できる
- 3. 一酸化炭素中毒・Wernicke脳症の原因・症状・治療法について概説できる

【準備学習】

指定教科書の該当部位に目を通す。

予習よりも復習に力をいれてください。

12/9 (木) 3限

【単元】

筋疾患 1 (筋ジストロフィー・Myotonic dystrophy・ミオパチー・ミトコンドリア病)

【講義担当者】

谷脇 考恭

【学習目標各論】

- 1. 筋ジストロフィー・ミオパチーの症状・分類について概説できる
- 2. 筋強直性ジストロフィーの症状・診断・合併症について説明できる
- 3. ミトコンドリア病の症状・診断・合併症について説明できる

【準備学習】

指定教科書の該当部位に目を通す。

予習よりも復習に力をいれてください。

12/9 (木) 4限

【単元】

筋疾患 2 (炎症性筋疾患)

【講義担当者】

谷脇 考恭

【学習目標各論】

- 1. 封入体筋炎の症候・病態・診断・治療法について説明できる
- 2. 多発筋炎の症候・病態・診断・治療法について説明できる

【準備学習】

指定教科書の該当部位に目を通す。

予習よりも復習に力をいれてください。

12/10 (金) 3限

【単元】

```
感染症1 (髄膜炎・脳炎)
```

【講義担当者】

綾部 光芳

【学習目標各論】

1. <u>髄膜炎</u>・脳炎の分類・症状・髄液所見・治療法について説明できる

【準備学習】

指定教科書の該当部位に目を通す。

予習よりも復習に力をいれてください。

12/10 (金) 4限

【単元】

感染症 2 (HTLV-I・梅毒・プリオン・トキソプラズマ・破傷風)

【講義担当者】

綾部 光芳

【学習目標各論】

1. HAM、神経梅毒、CJD、トキソプラズマ感染、破傷風の症候・診断・治療法について説明できる

【準備学習】

指定教科書の該当部位に目を通す。

予習よりも復習に力をいれてください。

12/10 (金) 6限

【単元】

変性疾患 5(認知症関連)

【講義担当者】

野田 和人

【学習目標各論】

認知症の原因を列挙できる

認知症をきたす疾患の症候と診断を説明できる

【準備学習】

指定教科書の該当部位に目を通す。

予習よりも復習に力をいれてください。

12/10 (金) 7限

【単元】

脊髄疾患(<u>脊髄炎</u>・脊髄空洞症)

野田 和人

【学習目標各論】

<u>脊髄炎</u>の原因・治療法について説明できる

脊髄空洞症の症候・診断について説明できる

【準備学習】

指定教科書の該当部位に目を通す。

予習よりも復習に力をいれてください。

試験問題·解答(本試験)

あなたは 学生 アカウント としてログインしています (ログアウト) Home

日本語 (ja)

English (en)

日本語 (ja)

モバイルアプリを取得する

2021 内分泌代謝内科

<u>ダッシュボード</u> / マイコース / <u>2021年度</u> / <u>2021年度・医学科</u> / <u>2学期</u> / <u>3年</u> / <u>2021 内分泌代謝内科</u>

内分泌代謝内科

【統括責任者】

野村 政壽

【何を学ぶか】

内分泌・代謝系の構成と機能を理解し、主な内分泌・代謝疾患の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。

【獲得すべき能力(全体)】

生体の成長とホメオスターシスを制御するホルモンの作用を理解し、その分泌調節のメカニズムを説明できる。先天的、後天的な原因により生じる内分泌代謝疾患の病態生理を理解し、その身体所見と検査所見に基づく診断のプロセスについて述べることができる。

【獲得すべき能力(個別)】

医学教育モデル・コア・カリキュラム 平成28年度改訂版(内分泌代謝内科) 参照

【身に着けてほしい能力】

第2学年までに学んだ基礎医学の知識をもとに、自主的な学習を通じて疾患の発症機序と病態生理にアプローチできる。

【評価方法】

筆記試験(選択問題、論述問題)

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

必要に応じて補講や再試験を行う。

【問い合わせ】

内分泌代謝内科医局 (内線 3758) 担当:教育主任

- **恒** 質疑応答掲示板
- 科目DB
- 指定・参考図書
- 英語DB
- Aa 用語集
- 科目評価(新)
- 医学教育モデル・コア・カリキュラム 平成28年度改訂版(内分泌代謝内科)

11/24 (水) 5限

【単元】

内分泌代謝学入門

野村政壽

【学習目標各論】

- 1. ホルモンとは何か?・・・・定義
- 2. 各臓器から分泌されるホルモン
- 3. ホルモンの種類・分類・・・・化学構造による分類
- 4. ホルモンの存在様式
- 5. 生合成・分泌・情報伝達経路
 - 1)生合成 2)プロホルモン 3)細胞内輸送と分泌
 - 4) 標的への情報伝達経路
- 6. 作用機序の違い
 - 1) ペプチドホルモン、アミン 2) ステロイドホルモン
 - 3) <u>甲状腺</u>ホルモン
- 7. 膜受容体について
- 8. 細胞内受容体について
- 9. 受容体の異常と受容体以後の情報伝達の異常
- 10. 分泌調節機構

【準備学習】

内科学書の該当箇所を予習しておいて下さい。

11/24 (水) 6限

【単元】

下垂体機能亢進症(先端巨大症)

【講義担当者】

岩田慎平

【学習目標各論】

- 1. <u>先端巨大症</u>の病態を説明できる。
- 2. <u>先端巨大症</u>の合併症を説明できる。
- 3. 先端巨大症の治療を説明できる。

【準備学習】

予習資料を電子シラバスにアップロードする。

11/25 (木) 5限

【単元】

下垂体機能亢進症(Cushing病・プロラクチノーマ)

【講義担当者】

岩田慎平

【学習目標各論】

- 1. Cushing(クッシング)病の病態と診断を説明できる。
- 2. Cushing病の治療を説明できる。
- 3. 高プロラクチン血症の病態と診断を概説できる。
- 4. 高プロラクチン血症の治療を説明できる。

【準備学習】

予習資料を電子シラバスにアップロードする。

11/25 (木) 6限

【単元】

下垂体機能低下症・性腺疾患

【講義担当者】

岩田慎平

【学習目標各論】

- 1. 汎下垂体機能低下症の原因と病態を説明できる。
- 2. 汎下垂体機能低下症の治療を説明できる。
- 3. ACTH単独欠損症について説明できる。
- 4. 成人成長ホルモン分泌不全症について説明できる。
- 5. 性腺機能異常をきたす疾患の病態を説明できる。

【準備学習】

予習資料を電子シラバスにアップロードする。

11/26 (金) 5限

【単元】

下垂体後葉疾患

【講義担当者】

吉信聡子

【学習目標各論】

- 1. 後葉ホルモンを挙げその作用につき概説できる。
- 2. 水、ナトリウム代謝に関わる内分泌ホルモンとその調節機構を理解する。
- 3. 尿崩症の病態、画像、治療につき概説できる。
- 4. ADH不適合分泌症候群〈SIADH〉の原因、診断、治療につき理解する。

【準備学習】

【単元】

<u>甲状腺機能亢進症</u>(Basedow病)

【講義担当者】

安田淳一

【学習目標各論】

- 1. 甲状腺機能亢進症の原因と分類について説明できる。
- 2. Basedow病の病態と治療について説明できる。
- 3. Basedow眼症の原因、病態の評価、治療について説明できる。

【準備学習】

予習資料を電子シラバスにアップロードする。

11/29 (月) 5限

【単元】

甲状腺機能亢進症 (甲状腺中毒症・破壊性甲状腺炎)

【講義担当者】

安田淳一

【学習目標各論】

- 1. 亜急性<u>甲状腺</u>炎・無痛性<u>甲状腺</u>炎の病態、治療について説明できる。
- 2. 甲状腺グリーゼの病態、治療について説明できる。
- 3. Plummer病について説明できる。

【準備学習】

予習資料を電子シラバスにアップロードする。

11/29 (月) 6限

【単元】

甲状腺機能低下症・甲状腺腫瘍

【講義担当者】

安田淳一

【学習目標各論】

- 1. 甲状腺機能低下症の原因と分類につき述べることができる。
- 2. <u>甲状腺機能低下症</u>の病態、診断、治療につき説明できる。
- 3. 甲状腺腫瘍の種類と診断について説明できる。

【準備学習】

【単元】

副甲状腺の機能と異常

【講義担当者】

蓮澤奈央

【学習目標各論】

- 1. <u>副甲状腺</u>とカルシウム代謝異常について概説できる。
- 2. 原発性副甲状腺疾患の診断と治療について概説できる。
- 3. 偽性副甲状腺機能低下症の診断と治療について概説できる。

【準備学習】

予習資料を電子シラバスにアップロードする。

11/30 (火) 6限

【単元】

カルシウム・骨代謝

【講義担当者】

蓮澤奈央

【学習目標各論】

- 1. 悪性腫瘍に伴う高カルシウム血症について説明できる。
- 2. 低カルシウム血症来す疾患を挙げることができる。
- 3. 低リン血症について概説できる。

【準備学習】

予習資料を電子シラバスにアップロードする。

12/1 (水) 5限

【単元】

副腎性Cushing症候群

【講義担当者】

蘆田健二

【学習目標各論】

- 1. 副腎性Cushing症候群の病態について説明できる。
- 2. 副腎性Cushing症候群の診断と治療について説明できる。
- 3. 両側副腎過形成について説明できる。
- 4. Addison病(副腎グリーゼ)について説明できる。

【準備学習】

12/1 (水) 6限

【単元】

原発性<u>アルドステロン</u>症

【講義担当者】

蘆田健二

【学習目標各論】

- 1. 原発性アルドステロン症の病態について説明できる。
- 2. 原発性アルドステロン症の診断と治療について説明できる。
- 3. 原発性<u>アルドステロン</u>症の鑑別疾患(腎血管性高血圧症、Liddle症候群、Bartter症候群、Gitelman症候群)について説明できる。

【準備学習】

予習資料を電子シラバスにアップロードする。

12/2 (木) 5限

【単元】

褐色細胞腫

【講義担当者】

松尾裕子

【学習目標各論】

- 1. 褐色細胞腫の病態について説明できる
- 2. 褐色細胞腫の診断と治療について説明できる。

【準備学習】

予習資料を電子シラバスにアップロードする。

12/2 (木) 6限

【単元】

多腺性内分泌疾患(MEN、APS、NET)

【講義担当者】

松尾裕子

【学習目標各論】

- 1. 多腺性内分泌疾患を分類し、その特徴を説明できる。
- 2. 自己免疫性多内分泌腺症候群を分類し、その特徴を説明できる。
- 3. 膵・消化管神経内分泌腫瘍を分類し、その特徴を説明できる。

【準備学習】

【単元】

糖尿病とは?その診断と病態

【講義担当者】

吉信聡子

【学習目標各論】

糖尿病の原因、病態生理、分類、症候と診断を説明できる。

【準備学習】

予習資料を電子シラバスにアップロードする。

12/3 (金) 6限

【単元】

糖尿病の合併症

【講義担当者】

吉信聡子

【学習目標各論】

- 1. 糖尿病の急性合併症を説明できる。
- 2. <u>糖尿病</u>の慢性合併症を列挙し、概説できる。

【準備学習】

予習資料を電子シラバスにアップロードする。

12/6 (月) 5限

【単元】

糖尿病の治療(食事・運動療法)

【講義担当者】

永山綾子

【学習目標各論】

- 1. 糖尿病の療養指導(食事指導、運動療法)を概説できる。
- 2. ライフステージにあわせた<u>糖尿病</u>の管理について説明できる。

【準備学習】

予習資料を電子シラバスにアップロードする。

12/6 (月) 6限

【単元】

糖尿病の治療(薬物療法)

【学習目標各論】

- 1. 経口血糖降下薬について説明できる。
- 2. <u>インスリン</u>について説明できる。

【準備学習】

予習資料を電子シラバスにアップロードする。

12/7 (火) 5限

【単元】

妊娠<u>糖尿病</u>、低血糖症

【講義担当者】

永山綾子

【学習目標各論】

- 1. 妊娠糖尿病の概要を説明できる。
- 2. 低血糖症の原因、症候、予防と治療を概説できる。
- 3. インスリノーマ、インスリン自己免疫性症候群について述べることができる。

【準備学習】

予習資料を電子シラバスにアップロードする。

12/7 (火) 6限

【単元】

肥満、メタボリックシンドローム、消化器ホルモン

【講義担当者】

蓮澤奈央

【学習目標各論】

- 1. 肥満の原因を列挙し肥満症の診断、病態、合併症について説明できる。
- 2. <u>メタボリックシンドローム</u>の診断について説明できる。
- 3. 生活習慣改善のための食事療法、運動療法につき概要が説明できる。
- 4. 食欲や代謝に関わる消化管ホルモンの概要が説明できる。

【準備学習】

予習資料を電子シラバスにアップロードする。

12/8 (水) 5限

【単元】

脂質代謝

【講義担当者】

本村誠一

【学習目標各論】

- 1. 脂質、<u>リポ蛋白</u>の種類を挙げることができる。
- 2. 腸管吸収、肝における合成、分解につき説明できる。
- 3. 食品中の脂質をあげることができる。
- 4. 脂質代謝異常の原因、分類、病態、治療につき説明できる。

【準備学習】

予習資料を電子シラバスにアップロードする。

12/8 (水) 6限

【単元】

蛋白質・核酸代謝とアミロイドーシス

【講義担当者】

本村誠一

【学習目標各論】

- 1. 血清蛋白質の異常とアミロイドーシスを概説できる。
- 2. 高蛋白血症・痛風の原因と病態を説明できる。

【準備学習】

予習資料を電子シラバスにアップロードする。

12/9 (木) 5限

【単元】

やせ、栄養障害 (ビタミン、電解質)

【講義担当者】

松尾裕子

【学習目標各論】

- 1. やせの原因、病態、検査について説明できる。
- 2. サルコペニアの概念、診断について説明できる。
- 3. ビタミンの作用、欠乏症、過敏症の症候を説明できる。
- 4. 微量元素の作用、欠乏症、過敏症の症候を説明できる。

【準備学習】

12/9 (木) 6限

【単元】

内分泌代謝疾患の画像診断

【講義担当者】

蘆田健二

【学習目標各論】

1. 内分泌代謝疾患に必要な画像検査について理解し、所見を述べることができる。

【準備学習】

予習資料を電子シラバスにアップロードする。

12/10 (金) 5限

【単元】

内分泌代謝学総括

【講義担当者】

野村政壽

【学習目標各論】

消化管ホルモン・腸内細菌と代謝調節機構

【準備学習】

内科学書の該当箇所を予習しておいて下さい。

前半各論の講義を行い、後半で国家試験問題を概説します。

試験問題·解答(本試験)

あなたは 学生 アカウント としてログインしています (ログアウト)

日本語 (ja)

English (en)

日本語 (ja)

モバイルアプリを取得する

2021 血液内科

<u>ダッシュボード</u> / マイコース / <u>2021年度</u> / <u>2021年度・医学科</u> / <u>1学期</u> / <u>3年</u> / <u>2021 血液内科</u>

血液内科

【統括責任者】

長藤 宏司

【何を学ぶか】

血液学

【獲得すべき能力(全体)】

血液・造血器・リンパ系の構造と機能を理解し、主な疾患の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。

【獲得すべき能力(個別)】

構造と機能

- ①骨髄の構造を説明できる。
- ②造血幹細胞から各血球への分化と成熟の過程を説明できる。
- ③主な造血因子(エリスロポエチン、顆粒球コロニー刺激因子(granulocyte-colony stimulating factor <G-CSF>)、トロンボポエチン)を説明できる。
- ④脾臓、胸腺、リンパ節、扁桃と Peyer 板の構造と機能を説明できる。
- ⑤血漿タンパク質の種類と機能を説明できる。
- ⑥赤血球とヘモグロビンの構造と機能を説明できる。
- ⑦白血球の種類と機能を説明できる。
- ⑧血小板の機能と止血や凝固・線溶の機序を説明できる。

診断と検査の基本

- ①末梢血の血球数の基準値とその変化の意義を説明できる。
- ②骨髄検査(骨髄穿刺、骨髄生検)を説明できる。
- ③血漿タンパク質の基準値とその変化の意義を説明できる。

症候

- ①発熱
- ②全身倦怠感
- ③黄疸
- **④貧血**
- ⑤出血傾向
- ⑥リンパ節腫脹
- ⑦腹部膨隆(腹水を含む)・腫瘤

疾患

(1) 貧血

- ①貧血を分類し、鑑別に有用な検査を列挙できる。
- ②鉄欠乏性貧血、二次性貧血の病因、病態、診断と治療を説明できる。
- ③<u>再生不良性貧血</u>・夜間発作性血色素尿症(<u>paroxysmal nocturnal hemoglobinuria</u> < <u>PNH</u>>)の病因、病態、診断、治療と予後を説明できる。
- ④溶血性貧血の病因、病態、診断と治療を説明できる。
- ⑤ 巨赤芽球性貧血の病因、病態、診断と治療を説明できる。

(2) 出血傾向・紫斑病その他

- ①出血傾向の病因、病態、症候と診断を説明できる。
- ②免疫性血小板減少性紫斑病(immune thrombocytopenic purpura <<u>ITP</u>>)の病態、症候、診断と治療を説明できる。
- ③血友病の病態、症候、診断、治療と遺伝形式を説明できる。
- ④播種性血管内凝固(disseminated intravascular coagulation < DIC >)の基礎疾患、病態、診断と治療を説明できる。
- ⑤溶血性尿毒症症候群(hemolytic-uremic syndrome < HUS>)の基礎疾患、病態、診断と治療を説明できる。
- ⑥IgA 血管炎(Schönlein-Henoch 紫斑病)を概説できる。
- ②<u>血栓性血小板減少性紫斑病</u>(thrombotic thrombocytopenic purpura <<u>TTP</u>>)を概説できる。

(3) 脾臓疾患

①脾腫をきたす疾患を列挙し、鑑別の要点を説明できる。

(4)腫瘍性疾患

- ①急性白血病の病態、症候、病理所見、治療と予後を説明できる。
- ②急性<u>白血病</u>の French-American-British < FAB>分類、WHO 分類を概説できる。
- ③慢性骨髄性白血病の病態、症候、病理所見、治療と予後を説明できる。

- ④ <u>骨髄異形成症候群</u>(myelodysplastic syndromes < <u>MDS</u>>)の臨床像と病理所見を説明できる。
- ⑤成人 T 細胞白血病の病因、疫学、臨床所見、病理所見を説明できる。
- ⑥小児白血病と成人白血病の違いを説明できる。
- ②真性赤血球増加症・本態性血小板血症、骨髄線維症の病因、病態、診断と治療を説明できる。
- ⑧悪性リンパ腫の分類を概説し、病態、症候、病理所見、治療と予後を説明できる。
- ⑨多発性骨髄腫の病態、症候、診断、治療と予後を説明できる。

【身に着けてほしい能力】

- 1. 論理的に考える(簡潔、明確に)。
- 2. 疑問を覚えたら徹底してその解決を試みる。
- 3. 積極的に知識を広め、病態生理に即した診断並びに治療を考える。
- 4. 医師と患者との人間関係を信頼性のあるものにするために患者の立場を理解する。

【評価方法】

講義への出席率ならびに試験

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

【問い合わせ】

内科学(血液・腫瘍内科部門)講座医局 内線3545

<u>賃疑応答掲示板</u>

料目DB

指定・参考図書

英語DB

Aa 用語集

科目評価(新)

6/3 (木) 1限

【単元】

血液検査

【講義担当者】

毛利 文彦

【学習目標各論】

- 1. 造血幹細胞から各血球への分化と成熟の過程を説明できる。
- 2. 白血球の機能と種類を説明できる。

【準備学習】

朝倉内科学 14-2 造血のしくみ 14-5 臨床検査

6/3 (木) 2限

【単元】

貧血1

【講義担当者】

森重 聡

【学習目標各論】

- 1. 赤血球とヘモグロビンの構造と機能を説明出来る。
- 2. 貧血を分類し、鑑別に有用な検査を列挙できる。
- 3. 鉄欠乏性貧血の、病因、病態、診断と治療を説明できる。

【準備学習】

貧血の分類、鑑別法を挙げ、代表的な疾患を具体的に挙げて復習する。 鉄の代謝、臨床的特徴、鑑別法を挙げて復習する。

6/4 (金) 1限

【単元】

貧血2

【講義担当者】

長藤 宏司

【学習目標各論】

1. 溶血性貧血の病因、病態、診断と治療を説明できる。

【準備学習】

溶血性貧血の病型分類と診断方法、治療法を具体的に挙げて復習する。

6/4 (金) 2限

【単元】

小児血液学1 【講義担当者】

大園 秀一

【学習目標各論】

- 1. 貧血のメカニズムと、検査の異常について説明できる。
- 2. 病態の理解に基づき、小児の貧血が説明できる。
- 3. 小児特有の貧血性疾患の診断と治療法について正しい選択ができる。

【準備学習】

標準小児科学 第19章「血液・造血器疾患」 のうち該当箇所を予習すること

6/8 (火) 1限

【単元】

骨髄病理

【講義担当者】

大島 孝一

- 1. 骨髄の構造を説明できる。
- 2. 白血病の病因、病態、診断と治療を説明できる。
- 3. 急性<u>白血病</u>のFAB分類とWHO分類を概説できる。

【準備学習】

染色体異常、慢性骨髄性白血病、急性骨髄性白血病の亜分類について具体的に挙げて復習する。

6/8 (火) 2限

【単元】

リンパ節病理 【講義担当者】

大島 孝一 【学習目標各論】

- 1.脾臓、胸腺、リンパ節、扁桃とパイエル板の構造と機能を説明できる
- 2.悪性リンパ腫の分類を概説し、病態、症候、診断、治療と予後を説明できる

【準備学習】

染色体異常、 $\underline{\underline{mtU}}$ (B細胞性、T細胞性、ホジキン)の亜分類、炎症病変について 具体的に挙げて復習をする

6/9 (水) 1限

【単元】

悪性リンパ腫・血球貪食症候群

【講義担当者】

大崎 浩一

【学習目標各論】

1. 悪性リンパ腫の分類を概説し、病態、症候、診断、治療と予後を説明できる。

【準備学習】

朝倉内科学 14-10 11)Hodgkinリンパ腫 12)非Hodgkinリンパ腫 18)<u>血球貪食症候群</u>

血小板減少症

【講義担当者】

岡村 孝

【学習目標各論】

- 1. 血小板の機能と止血や凝固・線溶の機序を説明できる。
- 2. 出血傾向の病因、病態、症候と診断を説明できる。
- 3. 特発性血小板減少性紫斑病の病態、症候、診断と治療を説明できる。
- 4. 血栓性血小板減少性紫斑病を概説できる。

【準備学習】

生理的止血機序を理解

血小板減少の鑑別

6/11 (金) 1限

【単元】

血液凝固線溶異常症・血栓症

【講義担当者】

岡村 孝

【学習目標各論】

- 1. 血友病の病態、症候、診断、治療と遺伝形式を説明できる。
- 2. 播種性血管内凝固の基礎疾患、病態、診断と治療を説明できる。

【準備学習】

凝固検査(PT, APTT,FDP)の理解

6/15 (火) 1限

【単元】

貧血3

【講義担当者】

長藤 宏司

【学習目標各論】

- 1. 再生不良性貧血の病因、病態、診断と治療を説明できる。
- 2. <u>巨赤芽球性貧血</u>の病因、病態、診断と治療を説明できる。

【準備学習】

再生不良性貧血の診断方法、治療法を具体的に挙げて復習する。

6/15 (火) 2限

【単元】

<u>白血病</u>1

【講義担当者】

長藤 宏司

【学習目標各論】

- 1. 急性白血病の病因、病態、診断と治療を説明できる。
- 2. 急性<u>白血病</u>のFAB分類を概説できる

【準備学習】

朝倉内科学 14-7 造血器腫瘍の発症機構と治療14-10 5)急性骨髄性白血病 9)急性リンパ性白血病

6/16 (水) 1限

【単元】

多発生<u>骨髄腫</u>

【講義担当者】

大崎 浩一

【学習目標各論】

1.<u>多発性骨髄腫</u>の病態、症候、診断、治療と予後を説明できる。 単クローン性免疫グロブリン血症を概説できる。

【準備学習】

朝倉内科学 14-10 19)血漿蛋白異常をきたす疾患

6/16 (水) 2限

【単元】

小児血液学 2

【講義担当者】

中川 慎一郎

【学習目標各論】

1. 小児<u>白血病</u>と成人<u>白血病</u>の違いを説明できる。

【準備学習】

標準小児科学第8版、第19章血液・造血器疾患

6/17 (木) 7限

【単元】

<u>白血病</u>2

【講義担当者】

長藤 宏司

【学習目標各論】

- 1. 慢性骨髄性白血病の病因、病態、診断と治療を説明できる。
- 2. 骨髄異形成症候群の臨床像を説明できる。
- 3. 真性赤血球増多症の病因、病態、診断と治療を説明できる。

【準備学習】

朝倉内科学 14-10 6)慢性骨髄性白血病 14-9 4) <u>骨髄異形成症候群</u> 14-9 10)<u>真性赤血球増加症</u> 14-10 4)<u>原発性骨髄線</u> 維症 14-11 2)<u>本態性血小板血症</u>

6/18 (金) 6限

【単元】

<u>白血病</u>3

【講義担当者】

長藤 宏司

【学習目標各論】

1. <u>慢性リンパ性白血病</u> ·成人T細胞<u>白血病</u>の病因、疫学、臨床所見を説明できる。

【準備学習】

朝倉内科学 14-10 10) <u>慢性リンパ性白血病</u>

13) 成人T細胞<u>白血病</u>・リンパ腫

6/18 (金) 7限

【単元】

<u>造血幹細胞移植</u>療法

【講義担当者】

長藤 宏司

【学習目標各論】

- 1. <u>造血幹細胞移植</u>を概説できる。
- 2. 自己造血幹細胞移植と同種造血幹細胞移植の違いを説明できる。

【準備学習】

朝倉内科学 14-8 造血幹細胞移植術

あなたは 学生 アカウント としてログインしています (ログアウト) Home

日本語 (ja)

English (en)

日本語 (ja)

モバイルアプリを取得する

2021 感染症学

<u>ダッシュボード</u> / マイコース / <u>2021年度</u> / <u>2021年度・医学科</u> / <u>1学期</u> / <u>3年</u> / <u>2021 感染症学</u>

感染症学

【統括責任者】

渡邊 浩

【何を学ぶか】

主要な<u>感染</u>症の疫学、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。診断と治療に必要な病原微生物、<u>感染</u>臓器と治療薬の関係性を理解する。

【獲得すべき能力(全体)】

<u>感染</u>症の現状は古典的な伝染病、<u>結核</u>症の時代から大きく推移、変貌している。その原因として宿主の変化、原因微生物の変化、<u>感染</u>症をとり巻く環境の変化、診断技術、治療法の進歩などがある。これらの要因を多角的に理解した上で、病原体、病態生理、症候等を系統的に把握し、<u>感染</u>症の診断、治療、<u>感染</u>防止が実践できる能力を養う。

【獲得すべき能力(個別)】

医学教育モデル・コア・カリキュラム 平成28年度改訂版(感染症学) 参照

【身に着けてほしい能力】

<u>感染</u>症に全く無関係な診療科目は1つもない。病原体の本質を理解した上で、<u>感染</u>症について踏み込んだ洞察および考察ができる能力を身につけて欲しい。

【評価方法】

試験 約80点、講義 約20点とし総合的に判断する。

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

【問い合わせ】

<u>感染</u>制御学講座を尋ねるか、hwata@med.kurume-u.ac.jp (渡邊) ヘメールする。

- **算疑応答掲示板**
- <u>科目DB</u>
- 指定・参考図書
- 英語DB
- Aa 用語集
- 科目評価(新)
- 医学教育モデル・コア・カリキュラム 平成28年度改訂版(感染症学)

4/5 (月) 5限

【単元】

<u>感染</u>症総論 1 (<u>病原性</u>・<u>感染</u>経路)

【講義担当者】

渡邊 浩

【学習目標各論】

様々な感染症の感染経路・治療・予防について説明できる。

【準備学習】

指定教科書・参考書から該当の項目を探し、予習しておくこと。

4/5 (月) 6限

【単元】

感染症総論2(診断と治療)

【講義担当者】

渡邊 浩

【学習目標各論】

<u>感染</u>症について病原体の分類、細菌学的診断と血清学的診断、化学療法、遺伝子診断法を説明できる。

【準備学習】

指定教科書・参考書から該当の項目を探し、予習しておくこと。

4/5 (月) 7限

【単元】

神経<u>感染</u>症

【講義担当者】

立石 貴久

【学習目標各論】

プリオン感染症(クロイツフェルト・ヤコブ病、狂牛病)を概説できる。またHTLV-1 <u>感染</u>症の症候・診断と治療を説明できる。

【準備学習】

指定教科書・参考書から該当の項目を探し、予習しておくこと。

4/6 (火) 5限

【単元】

<u>性感染症</u> 1

【講義担当者】

豊澤 徳行

【学習目標各論】

性行為感染症(STI)を概説でき、また淋菌性尿道炎・非淋菌性尿道炎の原因・疫学、臨床症状・診断と治療を説明できる。

【準備学習】

指定教科書・参考書から該当の項目を探し、予習しておくこと。

【単元】

性感染症 2

【講義担当者】

大蔵 尚文

【学習目標各論】

婦人科<u>感染</u>症の特徴、性行為<u>感染</u>症(<u>STI</u>)の最近の動向、<u>感染</u>症新法におけるSTIの位置付け、STIと届け出義務、STIの病原体と症状・診断・治療について説明できる。

【準備学習】

指定教科書・参考書から該当の項目を探し、予習しておくこと。

4/6 (火) 7限

【単元】

呼吸器<u>感染</u>症

【講義担当者】

渡邊 浩

【学習目標各論】

マイコプラズマ・リケッチア・クラミジア感染症を説明できる。またインフルエンザ菌と肺炎球菌<u>感染</u>症を説明できる。

【準備学習】

指定教科書・参考書から該当の項目を探し、予習しておくこと。

4/7 (水) 5限

【単元】

小児<u>細菌感染</u>症 1

【講義担当者】

後藤 憲志

【学習目標各論】

小児<u>細菌性髄膜炎</u>、小児尿路<u>感染</u>症について症候・診断・治療と合併症を説明できる。

【準備学習】

指定教科書・参考書から該当の項目を探し、予習しておくこと。

4/7 (水) 6限

【単元】

小児細菌感染症2

【講義担当者】

後藤 憲志

小児呼吸器<u>感染</u>症(肺炎、<u>百日咳</u>、溶連菌<u>感染</u>症)について症候・診断・治療と合併症を説明できる。

【準備学習】

指定教科書・参考書から該当の項目を探し、予習しておくこと。

4/8 (木) 5限

【単元】

院内感染

【講義担当者】

渡邊 浩

【学習目標各論】

院内感染で問題となる病原体について理解し、その予防対策・治療について説明できる。

【準備学習】

指定教科書・参考書から該当の項目を探し、予習しておくこと。

4/8 (木) 6限

【単元】

新興・再興感染症

【講義担当者】

渡邊 浩

【学習目標各論】

SARS, インフルエンザ (H1N1) 2009など近年人類が経験した<u>感染</u>症全般について説明できる。

【準備学習】

指定教科書・参考書から該当の項目を探し、予習しておくこと。

4/9 (金) 5限

【単元】

<u>結核</u>

【講義担当者】

上村 知子

【学習目標各論】

<u>結核</u>の原因・症候・診断・治療と予防を説明できる。

【準備学習】

指定教科書・参考書から該当の項目を探し、予習しておくこと。

4/9 (金) 7限

【単元】

海外旅行に関連した感染症

【講義担当者】

渡邊 浩

【学習目標各論】

海外旅行に関連し、罹患する可能性のある<u>感染</u>症を列挙できる。また、海外渡航地別に推奨される<u>ワクチン</u>などの予防対策について説明できる。

【準備学習】

指定教科書・参考書から該当の項目を探し、予習しておくこと。

4/12 (月) 5限

【単元】

医療従事者 (職業) 関連感染症

【講義担当者】

渡邊 浩

【学習目標各論】

医療従事者が院内で<u>感染</u>しうる<u>感染</u>症を列挙し、それぞれの<u>感染</u>経路や職業<u>感染</u>対策として行なうべき対策を説明できる。

【準備学習】

指定教科書・参考書から該当の項目を探し、予習しておくこと。

4/12 (月) 6限

【単元】

<u>結核</u>の<u>感染</u>対策

【講義担当者】

渡邊 浩

【学習目標各論】

臨床において呼吸器<u>感染</u>症の治療で使用される<u>抗生物質</u>, 抗<u>ウイルス</u>剤について, 作用機序, 副作用, 投与方法を説明できる。

【準備学習】

指定教科書・参考書から該当の項目を探し、予習しておくこと。

4/12 (月) 7限

【単元】

免疫低下者における感染症

【講義担当者】

松岡 昌信

HIV感染症の感染経路・自然経過・症候・診断・治療と感染対策について、また免疫低下者に感染を引き起こす病原体とそれぞれの疾 患の臨床像・感染経路・診断と治療について説明できる。

【準備学習】

指定教科書・参考書から該当の項目を探し、予習しておくこと。

4/13 (火) 5限

【単元】

寄生虫症

【講義担当者】

原樹

【学習目標各論】

原虫疾患、線虫症、吸虫症、条虫症、外部寄生虫感染症の原因、症状、診断、治療を説明できる。

【準備学習】

指定教科書・参考書から該当の項目を探し、予習しておくこと。



☑ 原虫疾患・寄生虫疾患の課題

アメーバ赤痢の【症状】、【診断】、【治療】について簡単にまとめてレポートしてください。 仲間のレポートをコピーしないこと。

今週中(19日)の提出を期待しています。

4/13 (火) 6限

【単元】

真菌と日和見感染症

【講義担当者】

長藤 宏司

【学習目標各論】

<u>日和見感染症</u>、特にニューモシスチス肺炎、カンジダ、アスペルギルス、クリプトコッカスの診断と治療について説明できる。また 発熱性好中球減少症の概念と対応を説明できる。

【準備学習】

指定教科書・参考書から該当の項目を探し、予習しておくこと。

4/14 (水) 5限

【単元】

感染症総論 3 (法律)

【講義担当者】

後藤 憲志

【学習目標各論】

感染症法、学校保健安全法、予防接種法、検疫法の概要を理解し、それぞれの相違点を説明できる。

【準備学習】

指定教科書・参考書から該当の項目を探し、予習しておくこと。

4/14 (水) 6限

【単元】

<u>感染</u>症総論 4(抗<u>ウイルス</u>薬)

【講義担当者】

後藤 憲志

【学習目標各論】

抗ウイルス薬の種類を列挙できる。またそれぞれの抗ウイルス薬の作用機序について説明できる。

【準備学習】

指定教科書・参考書から該当の項目を探し、予習しておくこと。

4/15 (木) 5限

【単元】

小児ウイルス感染症 1

【講義担当者】

大津 寧

【学習目標各論】

DNAウイルス (ヘルペス、アデノウイルスなど) <u>感染</u>症の症候・診断・治療と合併症を説明できる。またTORCH症候群を説明できる。

【準備学習】

指定教科書・参考書から該当の項目を探し、予習しておくこと。

4/15 (木) 6限

【単元】

小児<u>ウイルス感染</u>症 2

【講義担当者】

大津 寧

【学習目標各論】

RNA<u>ウイルス</u>(麻疹、<u>風疹</u>、ムンプス、エンテロ<u>ウイルス</u>など)<u>感染</u>症の症候・診断・治療と合併症を説明できる。

【準備学習】

指定教科書・参考書から該当の項目を探し、予習しておくこと。

4/15 (木) 7限

【単元】

腸管感染症の治療

【講義担当者】

渡邊 浩

【学習目標各論】

臨床において腸管<u>感染</u>症の治療で使用される<u>抗生物質</u>, 抗<u>ウイルス</u>剤の作用機序, 副作用, 投与方法について説明できる。

【準備学習】

指定教科書・参考書から該当の項目を探し、予習しておくこと。

4/16 (金) 7限

【単元】

インフルエンザ

【講義担当者】

渡邊 浩

【学習目標各論】

インフルエンザの症候・診断と治療を説明できる。

【準備学習】

指定教科書・参考書から該当の項目を探し、予習しておくこと。

4/21 (水) 5限

【単元】

ダニ媒介性疾患と<u>クラミジア</u>

【講義担当者】

渡邊 浩

【学習目標各論】

慢性難治性細菌感染症にはバイオフィルムが関わっている場合が多く存在することを理解し、バイオフィルムの概念、形成過程について説明できる。

【準備学習】

指定教科書・参考書から該当の項目を探し、予習しておくこと。

試験問題・解答(本試験)

あなたは 学生 アカウント としてログインしています (ログアウト) Home

日本語 (ja)

English (en)

日本語 (ja)

2021 膠原病内科(免疫アレルギー)

<u>ダッシュボード</u> / マイコース / <u>2021年度</u> / <u>2021年度・医学科</u> / <u>1学期</u> / <u>3年</u> / <u>2021 膠原病内科(免疫アレルギー)</u>

膠原病内科(免疫アレルギー)

【統括責任者】

井田 弘明

【何を学ぶか】

自己免疫疾患・アレルギー性疾患・免疫不全疾患の病態生理を理解し、症候、診断と治療を学ぶ。

【獲得すべき能力(全体)】

膠原病疾患の疾患概念を把握することによって、疾患名を聞いて全体像が浮かぶようになる。

【獲得すべき能力(個別)】

医学教育モデル・コア・カリキュラム 平成28年度改訂版 (膠原病内科(免疫アレルギー)) 参照

【身に着けてほしい能力】

リウマチ性疾患は、共通した臨床症状および検査所見があり、一方で疾患特異性のある自己抗体が存在する。各疾患における特異性のある臨床症状、検査所見を理解し、確実に鑑別できるように学習する。Spot diagnosis(一見して診断)ができる特異性のある臨床所見、講義の際に供覧する画像からの診断、など確実な知識を習得して欲しい。

【評価方法】

- 1. 臨床総合試験で判定 (100%)する。
- 2. 出席については、講義ごとに出席を確認する。判定の際、参考にする。

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

【問い合わせ】

井田 弘明 内科学 (呼吸器・神経・膠原病内科) ida@med.kurume-u.ac.jp

- **算疑応答掲示板**
- 科目DB
- 指定・参考図書
- **英語DB**
- Aa 用語集
- 科目評価(新)
- 医学教育モデル・コア・カリキュラム 平成28年度改訂版 (膠原病内科(免疫アレルギー))

6/2 (水) 5限

【単元】免疫アレルギーの基礎

【講義担当者】溝口 充志

自己と非自己の区別のための免疫寛容機序を理解する。

【準備学習】

2年時に学んだ免疫学、特に自己と非自己の認識機序と免疫寛容機序を理解しておく。

6/2 (水) 6限

【単元】免疫アレルギーの基礎

【講義担当者】溝口 充志

【学習目標各論】

アレルギー発症機序を理解する。

【準備学習】

2年時に学んだ免疫学、特にアレルギーの機序を理解しておく。

6/2 (水) 7限

【単元】膠原病総論 1

【講義担当者】井田 弘明

【学習目標各論】

膠原病とはどのような病気であるか理解する。臨床症状(発熱、発疹・皮膚色素沈着、胸やけ・げっぷ、口渇、嚥下困難、脾腫、リンパ節腫脹、Raynaud症状、胸水、呼吸困難、喀血・血痰、四肢痛、関節痛、腰痛・背痛)を理解する。

【準備学習】

朝倉内科学第11版 総論: III p.1205-1230、症候学: I p.66-141

6/3 (木) 5限

【単元】膠原病総論 2

【講義担当者】井田 弘明

【学習目標各論】

膠原病疾患の理学的所見と検査法(自己抗体、画像検査)を理解する。

【準備学習】

朝倉内科学第11版 III p1218-1219

6/3 (木) 6限

【単元】膠原病総論 3

【講義担当者】山崎 聡士

【学習目標各論】

リウマチ・膠原病疾患の治療薬の概要を把握し、同領域の各論の理解に役立てる。

【準備学習】

朝倉内科学第11版 p155-157, p160-162, p1220-1225

各論の授業で解説される治療に関する基本知識を解説します。抗炎症薬、免疫抑制剤、生物学的製剤、分子標的低分子化合物の4つの薬剤グループに分けて解説します。

6/4 (金) 5限

【単元】RA 1

【講義担当者】井田 弘明

【学習目標各論】

関節リウマチの症状・検査・治療法について理解する。

【準備学習】

朝倉内科学第11版 III p1231-1236

6/4 (金) 6限

【**単元**】RA 2

【講義担当者】井田 弘明

【学習目標各論】

関節リウマチの関節外症状、悪性関節リウマチ、Caplan症候群、Felty症候群について理解する。

【準備学習】

朝倉内科学第11版 III p1236-1239

6/8 (火) 5限

【単元】SLE 1

【講義担当者】海江田 信二郎

【学習目標各論】

全身性エリテマトーデスと抗リン脂質抗体症候群の特徴を知り、診断基準や活動性の評価について理解する。

【準備学習】

朝倉内科学第11版

6/8 (火) 6限

【単元】SLE 2

【講義担当者】海江田 信二郎

【学習目標各論】

全身性エリテマトーデスと抗リン脂質抗体症候群に伴う臓器障害の特徴を知り、その治療法を理解する。

【準備学習】

朝倉内科学第11版

6/9 (水) 5限

【単元】炎症性筋疾患

【講義担当者】海江田 信二郎

【学習目標各論】

- 1. 特発性炎症性筋疾患の病型分類について理解する。
- 2. 筋炎特異的自己抗体を知る。
- 3. 皮膚筋炎に特徴的な皮膚症状を理解する。

【準備学習】

朝倉内科学第11版

6/9 (水) 6限

【単元】全身性強皮症

【講義担当者】海江田 信二郎

【学習目標各論】

全身性強皮症の臨床症状および病型分類を理解する。

自己抗体による病態の差異を理解する。

臓器合併症による重症度の違いや新規治療法を理解する。

【準備学習】

朝倉内科学第11版

6/10 (木) 5限

【単元】膠原病関連腎疾患

【講義担当者】若杉 大輔

【学習目標各論】

膠原病・血管炎による腎障害について理解する。

【準備学習】

朝倉内科学第11版

- 13-6 全身疾患と腎障害
 - 2) 膠原病・血管炎の腎障害 (p1436~1444)
 - (1) 全身性エリテマトーデス (4) 関節リウマチ (5) 全身性強皮症 (6) Sjögren症候群 (7) IgG4関連腎臓病
 - 7) 抗糸球体基底膜抗体病(Goodpasture症候群)(p1451~1452)
- 12-8 血管炎症候群 (p1268~1270)
 - (5) 顕微鏡的多発血管炎(6) 多発血管炎性肉芽腫症(7) 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症

6/10 (木) 6限

【単元】膠原病関連肺疾患

【講義担当者】岡元 昌樹

【学習目標各論】

膠原病に合併しやすい肺病変とその検査、治療法を挙げられる。

【準備学習】

間質性肺炎、胸膜炎、肺胞出血の病態、検査、治療について予習する。

6/11(金)5限

【単元】関節リウマチ類縁疾患 1

【講義担当者】中島 宗敏

【学習目標各論】

脊椎関節炎の概念について理解し,脊椎関節炎に含まれる疾患(強直性脊椎炎,乾癬性関節炎など)の症状・検査・治療法について理解する。

【準備学習】

朝倉内科学第11版 p1239 - 1243

【単元】関節リウマチ類縁疾患 2

【講義担当者】中島 宗敏

【学習目標各論】

リウマチ性多発筋痛症、RS3PE症候群,巨細胞性動脈炎,成人スティル病の症状・検査・治療法について理解する。

【準備学習】

朝倉内科学第11版 p1243 - 1245

p1266 - 1268

6/15 (火) 5限

【単元】MCTD・シェーグレン症候群

【講義担当者】井田 弘明

【学習目標各論】

MCTDの臨床症状、検査所見、治療法を理解する。

シェーグレン症候群の臨床症状、検査所見、治療法を理解する。

【準備学習】

朝倉内科学第11版 p 1262-1264

朝倉内科学第11版 p1246-1250

6/15 (火) 6限

【単元】臨床免疫学

【講義担当者】山崎 聡士

【学習目標各論】

免疫学がどのように現在の医学に貢献しているか?、ワクチン、リウマチ膠原病の病態解明とその治療、がん免疫に関して総論的な理解を目標とする。

【準備学習】

朝倉内科学第11版 III p1205-1213, p222-224

6/16 (水) 5限

【単元】血管炎症候群 1

【講義担当者】海江田 信二郎

- 1. 血管炎の分類について理解する。
- 2. 血管炎に伴う全身症状や臓器障害を理解する。

【準備学習】

朝倉内科学第11版

6/16 (水) 6限

【単元】血管炎症候群 2

【講義担当者】海江田 信二郎

【学習目標各論】

各血管炎に対する治療戦略について理解する。

【準備学習】

朝倉内科学第11版

6/17 (木) 5限

【単元】その他の膠原病 1

【講義担当者】井田 弘明

【学習目標各論】

再発性多発性軟骨炎、線維筋痛症、結晶誘発性関節炎の概念、臨床症状、検査所見、治療法を理解する。

【進備学習】

朝倉内科学第11版 再発性多発性軟骨炎; p1277-1278、線維筋痛症; p1281-1285、結晶誘発性関節炎; p1285-1287

6/17 (木) 6限

【単元】その他の膠原病 2

【講義担当者】井田 弘明

【学習目標各論】

感染性関節炎、IgG4関連疾患、自己炎症症候群の概念、臨床症状、検査所見、治療法を理解する。

【準備学習】

朝倉内科学第11版 感染性関節炎; p1287-1288、IgG4関連疾患; p1293-1295、自己炎症症候群; p1296-1299

6/18 (金) 5限

【**単元**】予備日

【講義担当者】		
【学習目標各論】		
【準備学習】		
試験問題・解答(本試験)		

あなたは 学生 アカウント としてログインしています (ログアウト) Home

日本語 (ja) English (en) 日本語 (ja)

モバイルアプリを取得する

2021 小児科

<u>ダッシュボード</u> / マイコース / <u>2021年度</u> / <u>2021年度・医学科</u> / <u>2学期</u> / <u>3年</u> / <u>2021 小児科</u>

小児科

【統括責任者】

山下 裕史朗

【何を学ぶか】

- ・人の行動と心理を理解するための基礎的な知識と考え方を学ぶ。
- ・胎児・新生児・乳幼児・小児期から思春期にかけての生理的成長・発達とその異常の特徴及び精神・社会的な問題を理解する。

【獲得すべき能力(全体)】

小児科のクリニカルクラークシップを行うにあたって必要な小児診療の特性、および小児に特有な疾患についての知識を獲得する。

【獲得すべき能力(個別)】

医学教育モデル・コア・カリキュラム 平成28年度改訂版 (小児科)参照

【身に着けてほしい能力】

小児科病棟において疾患を持つ患者さんおよびそのご家族に直接接するときに、医学生として相応しい知識および技能を身につける。精神的な負担を理解して接することができる。

【評価方法】

試験、および講義出席により評価を行う。

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

【問い合わせ】

小児科医局

恒 <u>質疑応答掲示板</u>

₩ 科目DB

指定・参考図書

英語DB

Aa 用語集

科目評価(新)

医学教育モデル・コア・カリキュラム 平成28年度改訂版 (小児科)

10/25 (月) 1限

【単元】

小児科総論:小児の発達

【講義担当者】

山下 裕史朗

原始反射の診断的意義と消失時期が説明できる。

姿勢反射: Landau反射とパラシュート反射について説明できる。

Key month/ageの精神運動発達が言える。

主な発達評価法を述べることができる。

【準備学習】

標準小児科学 第8版p15-23を読む。

10/25 (月) 2限

【単元】

小児科総論:小児の栄養

【講義担当者】

西小森 隆太

【学習目標各論】

日本人の栄養所要量が言える。

栄養不良・過多について論述できる。

ビタミン欠乏症・過剰症が言える。

人工栄養と母乳栄養の違いが言える。

微量元素欠乏の症状が言える。

【準備学習】

標準小児科学 第8版

第3章 小児の栄養 p 24-37

第4章 小児保健 p38-46

第9章 先天代謝異常 p194-195

10/26 (火) 1限

【単元】

小児科総論:小児科の魅力

【講義担当者】

山下 裕史朗

【学習目標各論】

小児科の魅力について気づく。

トータルケアとは何かを説明できる。

POSシステムの概要を述べることができる。

愛着障害について理解出来る。

【準備学習】

10/26 (火) 2限

【単元】

小児神経筋疾患、運動麻痺

【講義担当者】

山下 裕史朗

【学習目標各論】

- ①運動麻痺・筋力低下を来す病変部位を説明できる
- ②病気の原因について理解できる
- ③筋力低下を来す病気の病態を説明できる
- ④鑑別診断のためのフローチャートを作成できる
- ⑤治療法に関し説明できる

【準備学習】

標準小児科学第8版

第22章 神経疾患 p620-668

第23章 神経筋疾患 p 671-689

10/27 (水) 1限

【単元】

小児内分泌 1 甲状腺疾患

【講義担当者】

八ツ賀 秀一

【学習目標各論】

小児の甲状腺疾患は、先天性甲状腺機能低下症がもっとも多く、医学的にも社会的にも重要な疾患である。

- 1) 先天性甲状腺機能低下症の疫学、症状、診断、治療、予後がわかること、そしてなぜ国家試験で問われるのかを勉強する。
- 2) 遺伝性先天性甲状腺機能低下症のメカニズムがわかる。

本講義は、協同学習(Active Learning)を用いて学習を行う。3-4 人の小グループを作り、1 時限目の20 分間を各自割り当てられた課題を調べる。次の5 分間は小グループでディスカッションする。2 時限目は、選ばれた小グループが4-5 分で課題を発表する。小児の甲状腺疾患と副腎疾患は1-2時限通して学習を行う。

【準備学習】

標準小児科学 第8版 第11章参照。課題は下記の通り。

- 1. 先天性甲状腺機能低下症の疫学、分類、症状、診断、治療、予後
- 2. 先天性甲状腺機能低下症が国家試験でなぜ問われることが多いのか?
- 3. 遺伝子異常による先天性甲状腺機能低下症について
- 4. 甲状腺疾患(橋本病・バセドウ病)で小児特有の症状や特徴
- 5. 副腎過形成症とステロイド合成経路
- 6. 21水酸化酵素欠損症の疫学、分類、症状、診断、治療、予後
- 7. 21水酸化酵素欠損症女児の乳児期、小児期、成人期の問題点
- 8. 性分化疾患の定義、出生時の対応
- 9. 性分化疾患の原因と症状、治療

10/27 (水) 2限

【単元】

小児内分泌 2 副腎疾患

【講義担当者】

八ツ賀 秀一

【学習目標各論】

【準備学習】

10/27 (水) 5限

【単元】

新生児:総論 出生の生理的変化

【講義担当者】

前野 泰樹

【学習目標各論】

新生児の定義、出生後の生理的変化、診察方法および異常徴候について理解する。

【準備学習】

標準小児科学 第8版 第7章の該当する部分を予習する。

10/27 (水) 6限

【単元】

小児救急

【講義担当者】

長井 孝二郎

【学習目標各論】

筑後地区の小児救急医療体制について理解する。

Pediatric assessment triangleによる小児のトリアージを理解する。

【準備学習】

標準小児科学第8版、第6章 救急疾患・指定教科書

久留米市ホームページ:「小児救急診療」で検索し閲覧

10/28 (木) 1限

【単元】

小児消化器疾患:総論

【講義担当者】

水落 建輝

【学習目標各論】

小児の年齢別に多い腸疾患を鑑別できる。

小児の年齢別に多い肝疾患を鑑別できる。

小児の腹痛、嘔吐、下痢、血便の特徴を理解する。

新生児乳児黄疸の特徴を理解する。

【準備学習】

到達目標の内容を以下の参考図書で予習する。

「小児栄養消化器肝臓病学」

「標準小児科学第8版」

10/28 (木) 2限

【単元】

小児消化器疾患:肝胆道疾患

【講義担当者】

水落 建輝

【学習目標各論】

B型肝炎母子感染の実態と感染予防が説明出来る。

胆道閉鎖症の診断方法(早期診断)と鑑別診断が説明出来る。

胆道拡張症の診断と治療が説明出来る。

【準備学習】

予習:

- (1) 新生児・乳児期にひどい肝機能障害を起こす疾患は何か?また頻度の高い疾患は?母子感染により肝機能障害をおこす疾患は?
- (2) 新生児・乳児期の胆汁うっ滞症内早期に診断・治療が必要な疾患は?
- (3) 胆道拡張症の診断と治療

復習:

- (1) どのような妊婦(のウイルス状態)からB型肝炎母子感染が起こるのか?そして、その予防法はどうすれば良いか。
- (2) <u>µµ道閉鎖症</u>の早期発見の1つに母子手帳に添付されている便色法がある事を認識する。生後30日以内に診断する事が望ましく、葛西の手術を30日以内にすると予後が良い事を知る。
- (3) 小児期の反復性腹痛の1つに胆道拡張症があり、診断に超音波検査が有用で、この病気はほっておくと癌化することを知る。

11/8 (月) 1限

【単元】

新生児:各論1 ハイリスク新生児、分娩蘇生

【講義担当者】

木下正啓

【学習目標各論】

ハイリスクの要因からその病態について想起できる。

新生児の蘇生法と新生児仮死が理解できる。

分娩損傷について理解する。

【準備学習】

標準小児科学 第8版のハイリスク児の病態と管理、出生に伴う異常 (P98~)

11/8 (月) 2限

【単元】

新生児:各論2 呼吸器、神経疾患

【講義担当者】

木下正啓

【学習目標各論】

新生児特有の呼吸器疾患と神経疾患や予後について理解する。

【準備学習】

標準小児科学 第8版の呼吸器疾患(P108?)。呼吸<u>窮迫症候群、新生児一過性多呼吸</u>、<u>胎便吸引症候群</u>、空気漏出症候群、無呼吸発作、<u>慢性肺疾患</u>、肺出血。脳出血、<u>脳室周囲白質軟化症</u>、<u>脳性麻痺</u>。

11/8 (月) 5限

【単元】

小児の呼吸器疾患

【講義担当者】

西小森隆太

【学習目標各論】

小児の正常の呼吸様式を理解する。

呼吸困難になる、小児特有の解剖学的・病態的な特徴を理解し、説明できるようになる。

呼吸異常音である喘鳴の発症機序と病態が説明できるようになる。

【準備学習】

予習:標準小児科学第8版16章呼吸器を読む。

復習:到達目標を達成できているか確認する。

11/8 (月) 6限

【単元】

小児腎疾患:小児腎炎、<u>ネフローゼ症候群</u>

【講義担当者】

田中征治

【学習目標各論】

小児腎炎症候群の特徴を成人と比較し違いを述べることができる。

腎炎の特徴を述べることができる。

小児<u>ネフローゼ症候群</u>の診断基準、病態を述べることができる。

【準備学習】

標準小児科学 第8版 p591-610

11/8 (月) 7限

【単元】

小児の電解質異常

【講義担当者】

田中 征治

【学習目標各論】

- 1. 脱水症の病態について述べることができる。
- 2. 電解質異常と酸塩基平衡について述べることができる。
- 3. 水・電解質異常による症状や検査所見について述べることができる。

【準備学習】

標準小児科学第8版p192-208

11/9 (火) 1限

【単元】

小児神経総論:主な症状と病態

【講義担当者】

山下 裕史朗

【学習目標各論】

精神運動発達遅滞:非進行性、進行性の代表的な疾患が言える。

大頭症と小頭症の主な原因が言える。

運動障害の主なタイプを述べることができる。

腰椎穿刺の適応と禁忌について説明できる。

【準備学習】

標準小児科学 第8版 p620-628を読む

11/9 (火) 2限

【単元】

小児神経各論:発達障害

【講義担当者】

山下 裕史朗

【学習目標各論】

<u>脳性麻痺</u>の定義、診断、病型分類、原因について説明できる。

知的能力障害の定義と原因について説明できる。

自閉スペクトラム症、注意欠如多動症、限局性学習症の特徴と対応について述べることができる。

【準備学習】

標準小児科学 第8版 p664-670, p690-694を読む。

11/9 (火) 7限

【単元】

小児神経各論:<u>熱性けいれん</u>、髄膜炎、脳炎、脳症

【講義担当者】

弓削 康太郎

【学習目標各論】

<u>熱性けいれん</u>の定義、自然歴、再発予防について説明できる。

けいれん(てんかん)重積状態の定義を理解し、治療の実際を学ぶ。

小児期の熱性けいれん、髄膜炎、脳炎、脳症の鑑別、治療法を説明できる。

【準備学習】

予習:標準小児科学第8版628-643頁の関連項目を読んでおく

復習:講義中の臨床問題を復習する。

11/10 (水) 1限

【単元】

小児救急

【講義担当者】

清水 直樹

【学習目標各論】

小児のバイタルサインと病的意義を説明できる。

小児のショックと呼吸不全の早期認識過程を説明できる。

小児のショックと呼吸不全の初期対応と蘇生法を説明できる。

重篤小児患者をめぐる医療体制について説明できる。

【準備学習】

大人と違って自分で訴えることができない子どもの重症度をどう峻別しうるか「想像」する。

講義スライド資料に目を通しておく。

11/10 (水) 2限

【単元】

小児血液疾患

【講義担当者】

大園 秀一

【学習目標各論】

小児特有の非腫瘍性血液疾患 各疾患の診断と治療及び説明のポイントについて学ぶ。

【準備学習】

標準小児科学 第8版 第19章を予習する。

11/10 (水) 5限

【単元】

新生児:各論3 早産、循環器

【講義担当者】

七種 護

早産に合併する病態、疾患を理解する。

新生児の循環器疾患について理解する。

【準備学習】

標準小児科学 第8版 第7章の該当する部分を予習する。

11/10 (水) 6限

【単元】

小児の血液悪性疾患、小児の固形腫瘍

【講義担当者】

中川 慎一郎

【学習目標各論】

小児の血液悪性疾患の病因、病態、診断と治療を説明できる。

小児の固形腫瘍の病因、病態、診断と治療を説明できる。

【準備学習】

標準小児科学 第8版 第19章、20章を予習する。

11/11 (木) 1限

【単元】

小児循環器疾患:総論

【講義担当者】

籠手田 雄介

【学習目標各論】

心臓の発生について説明できる

正常心臓の血行動態が説明できる。

<u>先天性心疾患</u>を合併する主な染色体異常症候群を説明できる。

異常心音について説明できる。

心雑音について説明できる。

小児の心不全の特徴が説明できる。

チアノーゼの説明ができる。

心エコー図検査において、基本断面を説明できる。

心臓力テーテル検査について説明できる。

【準備学習】

標準小児科学 第8版 第17章の該当する部分を予習する。

11/11 (木) 2限

【単元】

小児循環器疾患:各論1、心構造異常

【講義担当者】

籠手田 雄介

【学習目標各論】

左右短絡疾患について説明できる。

右左短絡疾患について説明できる。

その他の複雑心奇形について説明できる。

各疾患に対して行われる手術について説明できる。

【準備学習】

標準小児科学第8版第17章の該当する部分を予習する。

11/11 (木) 5限

【単元】

小児循環器:各論2 心筋症、後天性疾患

【講義担当者】

須田 憲治

【学習目標各論】

急性心筋炎の原因・症状・検査所見・治療法について説明できる。

特発性心筋症の分類・症状・検査所見・治療法について説明できる。

二次性心筋症や血管疾患を来す全身性疾患の疾患名を挙げることができる。

急性心膜炎と心タンポナーゼの原因・症状・検査所見・治療法について説明できる。

<u>感染性心内膜炎</u>の原因・症状・検査所見・治療法について説明できる。

<u>リウマチ熱、僧帽弁逸脱</u>症候群の概略を述べることができる。

二次性高血圧の原因について概略を述べることができる。

<u>肺高血圧</u>の定義・分類・症状・検査所見・治療法について述べることができる。

【準備学習】

標準小児科学 第8版 第17章 循環器疾患 H 後天性心疾患、J 血圧の異常

11/11 (木) 6限

【単元】

小児循環器:不整脈

【講義担当者】

須田 憲治

【学習目標各論】

頻脈性不整脈の種類、診断、治療法について説明できる。

徐脈性不整脈の種類、診断、治療法について説明できる。

心臓突然死を来す可能性がある遺伝性不整脈症候群(QT延長症候群、Brugada症候群)について概略を言える。

【準備学習】

標準小児科学 第8版 第17章 循環器疾患 I 不整脈 p469-475

```
【単元】
```

予防接種

【講義担当者】

津村 直幹

【学習目標各論】

小児保健における予防接種の意義を説明できる。

小児期に必要な予防接種の種類,接種法,また禁忌事項を説明できる。

【準備学習】

予習 標準小児科学第8版第4章小児保健B予防接種を読んでおく。

復習 予防接種とVPD (vaccine preventable diseases)との関係を説明できるように復習。

11/12 (金) 1限

【単元】

小児心身医学総論

【講義担当者】

石井 隆大

【学習目標各論】

子どもの心とからだの相関について理解する。

子どもの各年代の精神発達を理解する。

【準備学習】

標準小児科学 第8版 第25章を予習する。

11/12 (金) 2限

【単元】

小児心身医学各論

【講義担当者】

石井 隆大

【学習目標各論】

不登校・虐待・摂食障害について理解する。

子どもの各年代における心身症について理解する。

親子の心の支援について理解する。

【準備学習】

標準小児科学 第8版 第25章の該当する部分を予習する。

11/12 (金) 7限

【単元】

小児感染症:総論

【講義担当者】

田中 悠平

【学習目標各論】

小児の発熱、感染症の特徴を理解できる。

【準備学習】

標準小児科学 第8版 第15章の該当する部分を予習する。

11/15 (月) 1限

【単元】

小児科:臨床遺伝:総論

【講義担当者】

渡邊 順子

【学習目標各論】

遺伝性疾患の基礎的な病態、遺伝形式、倫理学的問題点を理解し、代表的な染色体異常症について説明できる。

【準備学習】

標準小児科学 第8版

- 1. 小児の成長 E.胎児の発育
- 7. 新生児疾患 K.感染症, ①TORCH症候群
- 8. 遺伝性疾患、染色体異常、奇形

11/15 (月) 2限

【単元】

小児科:臨床遺伝:先天異常

【講義担当者】

渡邊 順子

【学習目標各論】

発生異常、先天異常の発生メカニズム、臨界期を理解する。

代表的な先天異常、奇形症候群を説明できる。

【準備学習】

標準小児科学 第8版

- 1. 小児の成長 E.胎児の発育
- 7. 新生児疾患 K.感染症, ①TORCH症候群
- 8. 遺伝性疾患、染色体異常、奇形

11/15 (月) 5限

【単元】

小児免疫の発達と免疫疾患

【講義担当者】

西小森 隆太

【学習目標各論】

小児における免疫学的特徴を理解出来る。

原発性免疫不全症の疾患を理解出来る。

【準備学習】

標準小児科学 第8版 第12章を予習しておくこと。

11/15 (月) 6限

【単元】

小児アレルギー疾患

【講義担当者】

西小森 隆太

【学習目標各論】

小児に有病率の高いアレルギー疾患である、食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、小児期に発症が多い気管支喘息の診断・治療の説明が出来るようになる。

【準備学習】

予習:標準小児科学第8版12章アレルギー疾患を読む。

復習:到達目標を達成できているか確認する。

11/15 (月) 7限

【単元】

小児感染症各論

【講義担当者】

後藤 憲志

【学習目標各論】

発疹症の鑑別ができる。

小児で頻度の多い感染症の説明ができる。

【準備学習】

予習:標準小児科学第8版628-643頁の関連項目を読んでおく。

11/16 (火) 1限

【単元】

新生児:各論4 消化器、感染症

【講義担当者】

嶽間澤 昌史

【学習目標各論】

新生児期に遭遇する機会の多い主要な消化器疾患を説明できる。

(消化器)疾患によって外科的治療時期の違いを理解できる。

新生児感染症の感染経路別に代表的な病原体がいえる。

TORCH症候群を説明できる。

【準備学習】

標準小児科学 第8版第7章 新生児疾患 M血液疾患 p 134-135

標準小児科学 第8版第7章 新生児疾患 N代謝異常症 P135-137

11/16 (火) 2限

【単元】

新生児:各論5 血液疾患、代謝疾患

【講義担当者】

嶽間澤 昌史

【学習目標各論】

新生児期にみられる主要な血液疾患がいえる。

ビタミンK欠乏性出血症の病態生理を説明できる。

新生児低血糖症の定義と症状・治療・鑑別疾患を説明できる。

【準備学習】

標準小児科学 第8版第7章 新生児疾患 M血液疾患 p 134-135

標準小児科学 第8版第7章 新生児疾患 N代謝異常症 P135-137

11/16 (火) 5限

【単元】

小児神経: <u>てんかん</u>

【講義担当者】

弓削 康太郎

【学習目標各論】

<u>てんかん</u>の定義、鑑別疾患を理解する。

<u>てんかん</u>の発作型、症候群分類を理解する。

年齢依存性ではんかんの好発年齢・発作・脳波の特徴・治療法について説明できる。

【準備学習】

予習:標準小児科学第8版628-643頁の関連項目を読んでおく。

復習:各てんかんの特徴的脳波をテキストで確認する。

11/17 (水) 1限

【単元】

小児科: 先天代謝異常症 I: 総論、マススクリーニング

【講義担当者】

渡邊 順子

【学習目標各論】

新生児マススクリーニングについて、①概念②方法、③対象疾患の種類と治療法④社会的、倫理的問題について説明できる。

有機酸血症、アミノ酸代謝異常症、脂肪酸代謝異常症、糖代謝異常症

【準備学習】

標準小児科学 第8版

- 4. 小児保健 C.マススクリーニング
- 9. 先天代謝異常

11/17 (水) 2限

【単元】

小児科:先天代謝異常症Ⅱ:各論

【講義担当者】

渡邊 順子

【学習目標各論】

脂質代謝異常症、ムコ多糖症、核酸・ヌクレオチド代謝異常症、無機質代謝異常症の病態、症状、治療について説明できる。

【準備学習】

標準小児科学 第8版9. 先天代謝異常

11/17 (水) 7限

【単元】

小児消化器疾患:腸疾患

【講義担当者】

水落 建輝

【学習目標各論】

小児の急性腹症に関して、年齢別に鑑別疾患をあげることができる。

小児の血便に関して、年齢別に鑑別疾患をあげることができる。

小児に多い感染性腸炎の原因ウイルス・細菌をあげることができる。

腸重積症の診断と治療を理解する。

<u>炎症性腸疾患</u>の診断と治療、小児と成人の違いを理解する。

【準備学習】

到達目標の内容を以下の参考図書で予習する。

「小児栄養消化器肝臓病学」

「標準小児科学第8版」

11/18 (木) 1限

【単元】

小児循環器:川崎病

【講義担当者】

須田 憲治

【学習目標各論】

川崎病の疫学・診断・治療・合併症について説明できる。

【準備学習】

アップするガイドライン類を通読すること。

11/18 (木) 2限

【単元】

小児科総論:小児の成長

【講義担当者】

須田 憲治

【学習目標各論】

小児の成長について述べる事ができる。

成長に関わる因子について述べることができる。

成長障害を来す疾患について述べることができる。

成長ホルモン分泌不全について述べることができる。

【準備学習】

標準小児科学 第8版

第1章 小児の成長 p4-14

第8章 遺伝性疾患、染色体異常 p144-165

第9章 先天代謝異常 p167-195

第10章 代謝疾患 p196-224

第11章 内分泌疾患 p225-256

第23章 神経筋疾患 p671-689

11/18 (木) 7限

【単元】

外来小児科

【講義担当者】

吉永 陽一郎

【学習目標各論】

common disease診療のポイントと重要性を知る。

教科書の症状や所見をどのように得るのかを知る。

乳幼児健診の意義と全体の流れを知る。

小児プライマリケア実習を知る。

【準備学習】

予習:感染症、神経発達の学習

復習:全国の小児プライマリケア実習に参加する。

11/19 (金) 2限

【単元】

小児膠原病

【講義担当者】

田中 征治

【学習目標各論】

小児の関節リウマチの特徴を知り、分類ができる。

治療法を理解する。

<u>リウマチ熱</u>の発症機序を理解し、合併症および治療法を説明できる。

【準備学習】

標準小児科学 第8版 第14章 リウマチ性疾患

11/19 (金) 5限

【単元】

小児神経: 小児の神経変性疾患・末梢神経障害

【講義担当者】

原 宗嗣

【学習目標各論】

小児の神経変性疾患・末梢神経障害について理解する。

症状、検査所見から鑑別疾患をあげることができる。

【準備学習】

標準小児科学 第8版の該当する部分を予習する。

11/19 (金) 6限

【単元】

小児科総論:小児保健

【講義担当者】

長井 孝二郎

【学習目標各論】

小児の保健、福祉について理解する。

小児の学校保健について理解する。

【準備学習】

標準小児科学 第8版 第4章を予習する。

試験問題・解答(本試験)

あなたは 学生 アカウント としてログインしています (ログアウト) Home

日本語 (ja)

English (en)

日本語 (ja)

モバイルアプリを取得する

2021 精神神経科

<u>ダッシュボード</u> / マイコース / <u>2021年度</u> / <u>2021年度・医学科</u> / <u>2学期</u> / <u>3年</u> / <u>2021 精神神経科</u>

精神神経科

【統括責任者】

小曽根 基裕

【何を学ぶか】

人の行動と心理を理解するための基礎的な知識と考え方を学ぶ。

精神の正常構造と機能を理解し、主な精神疾患の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。

精神と行動の障害に対して、児童・思春期から老年期のライフステージに応じた病態生理、診断、治療を理解し、良好な患者と医師の信頼関係に基づいた全人的医療を学ぶ。

【獲得すべき能力(全体)】

精神系の発達・加齢に伴う生理的な変化を概説できる。 各精神疾患の概念、病態背景、臨床診断、治療について習得している。

【獲得すべき能力(個別)】

<精神医学概論>

- 1. 精神の正常と異常の概念について説明できる。
- 2. 各精神機能の定義と主な異常について説明できる。

<<u>統合失調症</u>>

- 1. 疾患の疫学を説明できる。
- 2. 発病過程と成因と病態、症状について説明できる。
- 3. 診断と下位分類を説明出来る。
- 4. 治療(救急治療と慢性期リハビリテーションを含む)と予後を説明できる。
- 5. 抗精神病薬の作用機序を説明できる。

<気分障害>

- 1. うつ病と双極性障害の概念、疫学、病前性格、発症誘因、病型や鑑別診断に関する知識を説明できる。
- 2. 抗うつ薬と気分安定薬の作用機序と副作用を説明できる。
- 3. うつ病と双極性障害の薬物療法の違いを概説できる。

<不安障害・ストレス関連疾患と身体表現性障害>

- 1. 不安障害,ストレス関連疾患と身体表現性障害に該当する疾患概念や鑑別診断のポイントを説明できる。
- 2. 症候としての離人症, 転換, 解離, 心気症について説明できる。
- 3. 不安障害・ストレス関連疾患と身体表現性障害の治療の基本について説明できる。

<心身症と摂食障害>

- 1. 心身症の定義を理解する。
- 2. <u>摂食障害</u>の定義、疫学、発生機序、症候学を説明できる。
- 3. 摂食障害の治療、経過を説明できる。

<心理療法と心理検査法>

- 1. 主要な心理療法の種類を概説できる。
- 2. 心理療法の適応について説明できる。
- 3. 心理検査の名称と実施手順を分類できる。

<心理的発達の障害>

- 1. 知的障がいの概念、疫学、診断、必要な支援を概説できる。
- 2. 各種発達障がいの概念、疫学、診断、経過、必要な支援を概説できる。

3. 各種パーソナリティー障がいの概念、疫学、診断、経過、必要な支援を概説できる。

<器質・症候性精神障害>

- 1. 症状精神病の概念と診断を概説できる。
- 2. 他の精神疾患との鑑別に有用な検査法と、急性期の対応について概説できる。

<認知症>

- 1. わが国の認知症・高齢者を取り巻く医療・介護の現況と施策について説明できる。
- 2. 老年期における生理学的変化や高齢者が抱えやすい心理社会的要因を説明できる。
- 3. 認知症とは何か、その病因、中核症状や周辺症状、重症度を説明できる。
- 4. 認知症をきたす主な病態 (Alzheimer型、Lewy 小体型、血管性) の症候と診断を説明できる。
- 5. 高齢者の薬物動態、抗認知症薬の作用機序を理解し、列挙することができる。

<嗜癖と物質関連障害>

- 1. 嗜癖と物質依存、乱用の概念について理解し述べることができる。
- 2. アルコール関連障害についてその診断・治療を理解し述べることができる。

<<u>てんかん</u>>

- 1. てんかん分類、およびてんかん発作の種類を説明し診断できる。
- 2. 臨床発作に特徴的な脳波像を説明できる。
- 3. てんかんの薬物療法の基本、副作用を説明できる。

<救急と精神>

1. 救急医療の現場で問題となる主要な精神疾患とその対応について述べることができる。

<コンサルテーション・リエゾン精神医学・緩和ケア>

- 1. コンサルテーションリエゾン精神医学を説明できる。
- 2. 総合病院におけるコンサルテーション・リエゾンの必要性と、そこで見られる症状について説明できる。
- 3. 緩和ケアにおいて<u>精神科</u>医療ができうる貢献について説明できる。

<緊急時のこころのケア>

1. 災害等の緊急時のこころのケアについて、その概要を述べることができる。

<<u>精神科</u>治療学概論>

- 1. 精神障害者への社会的処遇の歴史および精神保健福祉について概説できる。
- 2. 代表的な精神疾患・障害への薬物療法、心理社会的療法の位置づけを概説できる。
- 3. 患者-医師の良好な信頼関係に基づく精神科面接の基本を説明できる。

<精神医療と法>

- 1. 精神保健医療の特性および精神障害者に対する支援の基本的考え方について理解できる。
- 2. <u>精神障害</u>者の人権・処遇の歴史を学び、<u>精神障害</u>者を支える理念の変遷を理解できる。
- 3. 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律で規定される入院形態を列挙し、説明できる。

医学教育モデル・コア・カリキュラム 平成28年度改訂版(精神神経科) 参照

【身に着けてほしい能力】

精神疾患は誰もが罹患しうる病気であり、適切な治療介入により、その症状は相当程度安定化する。精神医学を学ぶ際には、精神疾患を自分も関与しうる問題として捉え、自身の精神疾患への偏見を解きながら理解を深めていくことが重要である。

【評価方法】

100点満点でマルチプルチョイス形式の試験を行い評価する。 症例問題も含まれる。

遅刻 ・ 欠席は減点の対象となる。

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

【問い合わせ】

psychief@med.kurume-u.ac.jp

□ 質疑応答掲示板□ 科目DB□ 指定・参考図書□ 英語DB□ 用語集

科目評価(新)

0942-31-7564(内線 3777) 神経精神医学講座(臨床研究棟10F)

■ 医学教育モデル・コア・カリキュラム 平成28年度改訂版(精神神経科)

1/4 (火) 3限

【単元】

精神医学概論

【講義担当者】

小曽根 基裕

【学習目標各論】

- 1. 精神医学の独自性をその歴史的発展や方法論の観点から考えることができる。
- 2. 精神の正常と異常の概念について説明することができる。
- 3. 各精神機能の定義と主な異常について述べることができる。

【準備学習】

指定教科書 p2-22

1/4 (火) 4限

【単元】

精神科治療学概論 (1)

【講義担当者】

内野 俊郎

【学習目標各論】

- 1. 代表的な精神疾患・障害への薬物療法、心理社会的療法の位置づけを概説できる。
- 2. 患者-医師の良好な信頼関係に基づく精神科面接の基本を説明できる。
- 3. <u>精神障害</u>リハビリテーションについて概説できる。
- 4. 精神障害者への社会的処遇の歴史および精神保健福祉について概説できる。

【準備学習】

指定教科書

p 2-10、p 75-82、p 88-136

【単元】

感情・気分の障害 (1)

【講義担当者】

小曽根 基裕

【学習目標各論】

躁うつ病の概念、病前性格、病型、症候、診断について基礎的知識を説明できる。

【準備学習】

指定教科書 p 216 - 235

1/5 (水) 4限

【単元】

感情・気分の障害 (2)

【講義担当者】

小曽根 基裕

【学習目標各論】

- 1. 躁うつ病の治療、予後について基礎知識を説明できる。
- 2. 感情病をリズム障害と理解し、光療法、季節性感情障害などについても知識を得る。

【準備学習】

指定教科書 p 216 - 235

1/6 (木) 3限

【単元】 <u>統合失調症</u> (1)

【講義担当者】 土生川 光成

【学習目標各論】

- 1. 統合失調症の概念の歴史的変遷と今日の診断について概説できる。
- 2. 統合失調症の疫学、疾病の縦断的特性が説明できる。
- 3. 統合失調症の横断的症状について列挙できる。

【準備学習】 指定教科書 p 236- 252

<u>
恒 土生川光成 シラバス 統合失調症 PDF シラバス2コマ分ファイル</u>アップロード 20年 04月 21日 14:24 編集

【単元】 心身症と摂食障害

【講義担当者】 丸岡 隆之

【学習目標各論】 指定教科書 p 280 - 289、p 304 - 318

<u>値</u> 丸<u>岡隆之 シラバス PDF (心身症と摂食障害)ファイル</u> アップロード 20年 04月 21日 14:13 編集

1/7 (金) 3限

【単元】 器質性・症候性<u>精神障害</u> (1)

【講義担当者】 本岡 大道

【学習目標各論】

- 1. 器質性・症候性精神障害の概念、特徴、原因について述べることができる。
- 2. <u>精神科</u>でよく経験する代表疾患について述べることができる。

【準備学習】 指定教科書 p 168 - p200

1/7 (金) 4限

【単元】 器質性・症候性精神障害 (2)

【講義担当者】 本岡 大道

【学習目標各論】

- 1. 器質性・症候性精神障害の概念、特徴、原因について述べることができる。
- 2. <u>精神科</u>でよく経験する代表疾患について述べることができる。

【準備学習】 指定教科書 p 168 - p200

1/11 (火) 3限

【単元】 睡眠と覚醒の障害 総論

【講義担当者】 小鳥居 望

【学習目標各論】

不眠症の診断、治療

過眠症の臨床症状、診断、治療(特にナルコレプシー、睡眠時無呼吸症候群、反復性過眠症) 睡眠覚醒スケジュールの障害(特に時差ボケ、<u>DSPS</u>、非24時間睡眠覚醒リズム)の臨床症状、治療等について説明できる。

【準備学習】

参考図書

『現代臨床精神医学』改訂12版 金原出版株式会社 p42-46

1/11 (火) 4限

【単元】 精神医療と法

【講義担当者】 小鳥居 望

【学習目標各論】

- 1. 精神保健医療の特性(精神医療の歴史・動向や<u>精神科</u>病院の特性の理解を含む)および<u>精神障害</u>者に対する支援の基本的考え方について理解できるようにする。
- 2. <u>精神障害</u>者の人権・処遇の歴史を学び、<u>精神障害</u>者を支える理念の変遷を理解できるようにする。

【準備学習】

参考図書

『現代臨床精神医学』改訂12版 金原出版株式会社 p6-17, p436-455

1月11日 (水) 7限

【単元】 臨床<u>脳波</u>学

【講義担当者】 安元 眞吾

【学習目標各論】

- 1. 脳波の記録法、脳波の構成要素、脳波でわかることについて述べることができる。
- 2. 脳波の臨床応用、疾患と比較的対応のある異常脳波について述べることができる。

【準備学習】 現代臨床精神医学脳波検査

1月12日(水) 3限

【単元】

精神科治療学概論 (2)

【講義担当者】

内野 俊郎

【学習目標各論】

- 1. 代表的な精神疾患・障害への薬物療法、心理社会的療法の位置づけを概説できる。
- 2. 患者-医師の良好な信頼関係に基づく精神科面接の基本を説明できる。
- 3. <u>精神障害</u>リハビリテーションについて概説できる。
- 4. 精神障害者への社会的処遇の歴史および精神保健福祉について概説できる。

【準備学習】

指定教科書

p 2-10, p 75-82, p 88-136

1月12日(水)4限

【単元】

心理的発達の障がい、パーソナリティ障がい

【講義担当者】

内野 俊郎

【学習目標各論】

- 1. 代表的な心理的発達障がいの疫学、障がい特性について説明できる。
- 2. 心理的発達障がいを持つ人への支援の概要を理解する。
- 3. 代表的なパーソナリティ障がいの疫学、症状について説明できる。
- 4. パーソナリティ障がいを持つ人への治療的関わりについて概説できる。

【準備学習】

指定教科書 p.319~337、p.344~364

1月13日(木) 3限

1月13日(木) 3限

【単元】

救急と精神

【講義担当者】

福山 裕夫

【学習目標各論】

精神医療における救急について、以下の基本的手技と知識、禁忌について学習する。

【準備学習】

<u>精神科</u>救急医療ガイドライン ISBN-10 4892698792

1月13日(木) 4限

【単元】 心理療法

【講義担当者】 石田 哲也

【学習目標各論】

- 1. 精神療法の基本的概念、理論、種類について説明できる。
- 2. 神経症、パーソナリティ障害および精神病患者に対する精神療法の概略を説明できる。

【準備学習】 指定教科書 p 112 - 122

1月14日(金) 3限

【単元】 精神科薬物療法

【講義担当者】 比江嶋 啓至

【学習目標各論】

<u>向精神薬</u>の特徴と分類を述べることができる。 <u>精神科</u>薬物療法の特殊性について述べることができる。 各<u>向精神薬</u>の作用機序を述べることができる。

【準備学習】 指定教科書 p88-p111

1月14日(金) 4限

【単元】 睡眠と覚醒の障害 (2)

【講義担当者】 橋爪 祐二

【学習目標各論】

不眠症の診断、治療

過眠症の臨床症状、診断、治療(特にナルコレプシー、睡眠時無呼吸症候群、反復性過眠

症)

睡眠覚醒スケジュールの障害(特に時差ボケ、<u>DSPS</u>、非24時間睡眠覚醒リズム)の臨床

症状、治療等について説明できる。

【準備学習】 指定教科書 p 290 - 303

1月17日(月) 3限

【単元】 <u>てんかん</u> (1)

【講義担当者】 石田 重信

【学習目標各論】

- 1. <u>てんかん</u>分類、および<u>てんかん</u>発作の種類を説明し診断できる。
- 2. 臨床発作に特徴的な脳波像を説明できる。
- 3. てんかんの薬物療法の基本、副作用を説明できる。

【準備学習】 指定教科書 p 384 - 399

1月/17日(月) 4限

【単元】 <u>てんかん</u> (2)

【講義担当者】 石田 重信

【学習目標各論】

1. <u>てんかん</u>分類、および<u>てんかん</u>発作の種類を説明し診断できる。

- 2. 臨床発作に特徴的な脳波像を説明できる。
- 3. てんかんの薬物療法の基本、副作用を説明できる。

【準備学習】 指定教科書 p 384 - 399

1月17日(月)5限

【単元】 心理検査法

【講義担当者】 石田 哲也

【学習目標各論】 心理検査の種類(知能検査、性格検査、その他の検査)とその意義、代表的な検査名を説明できる。

【準備学習】 指定教科書 p 52 - 56

1月17日 (月) 6限

【単元】 嗜癖と物質関連障害

【講義担当者】 山田 英孝

【学習目標各論】 アルコールを含む薬物依存の概念、類型、症候、治療および中毒性精神病

の臨床について概念を理解し述べることができる。

【準備学習】 指定教科書 p 201 - 215

1月18日 (火) 3限

【単元】 睡眠と覚醒の障害 (2)

【講義担当者】 橋爪 祐二

【学習目標各論】

不眠症の診断、治療

過眠症の臨床症状、診断、治療(特にナルコレプシー、睡眠時無呼吸症候群、反復性過眠症)

睡眠覚醒スケジュールの障害(特に時差ボケ、DSPS、非24時間睡眠覚醒リズム)の臨床症状、治療等について説明できる。

【準備学習】 指定教科書 p 290 - 303

1月19日(水) 3限

【単元】 老年精神医学 (1)

【講義担当者】 小路 純央

【学習目標各論】

- 1. 老年期における生理学的変化や高齢者が抱えやすい心理社会的要因について、その特徴を述べることができる。
- **2.** アルツハイマー型認知症に代表される、認知症性変性疾患や脳<u>血管性認知症</u>について、その臨床症状、検査所見の特徴を述べることができる。

3. 老年期に認められるうつ病やせん妄、妄想性障害等の器質性・機能性精神疾患についてその特徴を述べることができる

【準備学習】 指定教科書 P365 - 383

1月19日(水) 4限

【単元】 老年精神医学 (2)

【講義担当者】 小路 純央

【学習目標各論】

- 1. 老年期における生理学的変化や高齢者が抱えやすい心理社会的要因について、その特徴を述べることができる。
- **2.** アルツハイマー型認知症に代表される、認知症性変性疾患や脳<u>血管性認知症</u>について、その臨床症状、検査所見の特徴を述べることができる。
- 3. 老年期に認められる<u>うつ病</u>や<u>せん妄</u>、<u>妄想</u>性障害等の器質性・機能性精神疾患についてその特徴を述べることができる

【準備学習】 指定教科書 P365 - 383

1月20日 (木) 3限

【単元】 統合失調症(2)

【講義担当者】 土生川 光成

【学習目標各論】

- 1. 統合失調症の亜型、類縁疾患について列挙できる。
- 2. 統合失調症の病態仮説を概説できる。
- 3. 統合失調症の治療について急性期と慢性期に分けて要点を説明できる

【準備学習】 指定教科書 p 253 - 263

1月20日(木) 4限

【単元】 サイコオンコロジーと緩和ケア

【講義担当者】 三木 浩司

【学習目標各論】

- 1. 緩和ケアにおける精神医学の必要性とその根拠について説明することができる。
- 2. 緩和ケアの場面で使用される向精神薬について述べることができる。
- 3. 緩和ケアに必要な精神療法について理解し説明することができる。

【準備学習】

1月21日(金) 3限

【単元】 コンサルテーション・リエゾン精神医学

【講義担当者】 柳本 寛子

【学習目標各論】

総合病院におけるコンサルテーション・リエゾン精神医学の必要性を知り、そこで見られる症状について説明できる。

【準備学習】 指定教科書 p 149 - 155

1月21日(金)4限

【単元】 緊急時のこころのケア

【講義担当者】 松本 晃明

【学習目標各論】 災害等の緊急時における こころのケアについてその概要を述べることができる。

【準備学習】 指定教科書 p 271 - p 274

1月21日(金) 5限

【単元】 不安障害・ストレス関連疾患と身体表現性障害(1)

【講義担当者】 大江 美佐里

【学習目標各論】

- 1. 不安障害,ストレス関連疾病と身体表現性障害の症候と診断を説明できる。
- 2. 解離性障害の治療を概説できる。

【準備学習】 指定教科書 p 264 - p279

1月21日(金)6限

【単元】 不安障害・ストレス関連疾患と身体表現性障害(2)

【講義担当者】 大江 美佐里

【学習目標各論】

- 1. 不安障害,ストレス関連疾病と身体表現性障害の症候と診断を説明できる。
- 2. 解離性障害の治療を概説できる。

【準備学習】 指定教科書 p 264 - p279

試験問題·解答(本試験)

あなたは 学生 アカウント としてログインしています (ログアウト) Home

日本語 (ja) English (en) 日本語 (ja)

モバイルアプリを取得する

2021 放射線医学

<u>ダッシュボード</u> / マイコース / <u>2021年度</u> / <u>2021年度・医学科</u> / <u>2学期</u> / <u>3年</u> / <u>2021 放射線医学</u>

放射線医学

【統括責任者】

安陪 等思

【何を学ぶか】

医学・医療の分野に広く応用されている放射線や電磁波等の医療機器を用いた診断と治療を理解し、臨床応用への準備を整える。

【獲得すべき能力(全体)】

画像診断、<u>画像下治療</u>(インターベンショナルラジオロジー)、<u>放射線治療</u>に関連する臨床医学を学修し、医療における<u>放射</u>線医学の意義について説明できるようになる。

<u>放射</u>線等を用いた診断、治療には適応があり、利点と欠点を十分に説明ができてはじめて人体に利用することができるので、そのために十分な知識と技能、コミュニケーション能力を習得する。

様々の診療科で重要な役割を果たす放射線医学に興味をもって学び、実際に活用できるようになる。

【獲得すべき能力(個別)】

医学教育モデル・コア・カリキュラム 平成28年度改訂版

D 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療

D-6 呼吸器系

構造と機能

D-6-1) ①気道の構造、肺葉・肺区域と肺門の構造を説明できる。

D-6-1) ③縦隔と胸膜腔の構造を説明できる。

E 全身に及ぶ生理的変化、病態、診断、治療

E-6 放射線の生体影響と放射線障害

放射線リスクコミュニケーション

E-6-3) ①患者と家族が感じる放射線特有の精神的・社会的苦痛に対して十分に配慮できる。

E-6-3) ②患者の漠然とした不安を受け止め、不安を軽減するためにわかりやすい言葉で説明でき、対話ができる。

放射線災害医療

E-6-4) ①内部被ばくと外部被ばくの病態、症候、線量評価、治療を説明できる。

E-6-4) ②放射線災害・原子力災害でのメンタルヘルスを説明できる。

F 診療の基本

F-2 基本的診療知識

放射線等を用いる診断と治療

F-2-5) ①エックス線撮影、コンピュータ断層撮影 < CT > 、磁気共鳴画像法 < MRI > と核医学検査の原理を説明できる。

F-2-5) ②エックス線撮影、コンピュータ断層撮影<CT>、磁気共鳴画像法<MRI>と核医学検査の読影の基本を説明できる。

F-2-5) ③放射線治療の原理を説明し、主な放射線治療法を列挙できる。

F-2-5) ④ 放射線診断・治療による利益と不利益を説明できる。

F-2-5) ⑤インターベンショナルラジオロジー(画像誘導下治療)を概説できる。

①さまざま領域における各種画像診断について利用法、診断法などを説明できる。

②画像下治療(インターベンショナルラジ和ジー)の適応、治療法などを説明できる。

③放射線治療の適応、治療法などを説明できる。

④核医学・PETについて利用法、診断法などを説明できる。

⑤放射線診断・治療による利益と不利益を説明できる。

【身に着けてほしい能力】

- ①安全に放射線等を利用するためにそれぞれの検査や治療の利点と欠点を説明できる。
- ②患者や家族に分かりやすくそれぞれの検査や治療について説明できる。
- ③各種疾患の診療における画像診断の役割を説明できる。
- ④各種疾患の診療における画像下治療(インターバンショナルラジオロジー)の役割を説明できる。
- ⑤各種疾患の診療における放射線治療の役割を説明できる。
- ⑥ 放射線医学における低侵襲の考え方を習得する。

【評価方法】

筆記試験による知識を評価(100点満点中の60点以上を合格とする)

行動と態度の評価(上記に加点もしくは減点する)

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

試験については問題、解答を開示する。

また、結果は平均点および点数分布を開示する。

【問い合わせ】

放射線科医局 0942-31-7576または内線3790



■ 科目DB

指定・参考図書

英語DB

Aa 用語集

科目評価(新)

1/26 (水) 1限

【単元】

放射線災害医療

【講義担当者】

長田 周治

【学習目標各論】

1.内部被ばくと外部被ばくの病態、症候、線量評価、治療を説明できる

2.放射線災害・原子力災害でのメンタルヘルスを説明できる

1/26 (水) 2限

【単元】

胸部 1

【講義担当者】

藤本 公則

【学習目標各論】

胸部画像診断 総論

【準備学習】

胸部単純X線における基本的画像解剖、シルエットサインとその応用などを学習する

1/26 (水) 5限

【単元】

放射線リスクコミュニケーション

【講義担当者】

安陪 等思

【学習目標各論】

- 1.放射線の原理とリスクを平易に説明できる
- 2.リスクをたとえて説明できる
- 3.情報の受け手との信頼関係を形成できる
- 4.社会に与える影響を考察できる

【準備学習】

講義資料は当日、配布します。

電子シラバスに目を通しておいてください。

1/26 (水) 6限

【単元】

頭頸部癌に対する動注

【講義担当者】

田中 法瑞

【学習目標各論】

頭頸部癌に対する機能温存のための動注化学<u>放射線治療</u>を理解する

外頸動脈の臨床画像解剖を習得する

1/26 (水) 7限

【単元】

肝胆膵の画像診断 1

【講義担当者】

東南 辰幸

【学習目標各論】

肝の正常解剖と腫瘍性疾患、びまん性肝疾患の画像所見を理解する

1/27 (木) 1限

【単元】

脳血管障害の画像診断

【講義担当者】

田上 秀一

【学習目標各論】

脳血管障害の種類(虚血性、出血性、その他)について理解する

【準備学習】

脳血管の解剖を復習する

1/27 (木) 2限

【単元】

胸部 2

【講義担当者】

藤本 公則

【学習目標各論】

胸部画像診断 肺結節・縦隔腫瘍

【準備学習】

肺の結節性病変(肺癌)、縦隔腫瘍(胸腺上皮性腫瘍、神経原性腫瘍)を主体に学習する

1/27 (木) 3限

【単元】

中枢神経の感染症や炎症・脱髄性疾患の画像診断

【講義担当者】

内山 雄介

【学習目標各論】

中枢神経(脳)に発生する感染症や炎症・脱髄性疾患におけるCT、MRI検査の適応を理解し、その疾患の異常所見を説明し、結果を解釈できる.

代表的な疾患

- ・細菌性<u>髄膜炎/脳炎</u>、脳腫瘍
- ・ウィルス性<u>脳炎</u>
- ·多発性硬化症・視神経<u>脊髄炎</u>

【準備学習】

講義前にCT・MRIの画像解剖に目を通しておく

参考図書:脳のMRI (メディカル・サイエンス・インターナショナル)

1/27 (木) 4限

【単元】

核医学 1

【講義担当者】

倉田 精二

【学習目標各論】

1.機能診断としての核医学検査の有用性を理解する

2.SPECT、PETの違いを理解する

【準備学習】

放射性医薬品、SPECT装置、PET装置などの基礎的学習

参考図書:核医学ノート(金原出版)

1/28 (金) 1限

【単元】

緊急症例の<u>画像下治療</u>

【講義担当者】

小金丸 雅道

【学習目標各論】

緊急インターベンショナルラジオロジー (画像下治療) を概説できる

【準備学習】

インターベンショナルラジオロジー (画像下治療) の基本を予習しておく

1/28 (金) 2限

【単元】

胆膵内視鏡を用いた診断と治療

【講義担当者】

岡部 義信

【学習目標各論】

- 1.胆膵内視鏡の目的について理解する
- 2.胆膵内視鏡による診断について理解する (ERCP、超音波内視鏡、細胞診)
- 3.胆膵内視鏡による治療について理解する(内視鏡的乳頭切開術、砕石術、ドレナージ術)

1/28 (金) 5限

【単元】

腎・泌尿器

【講義担当者】

角 明子

【学習目標各論】

- 1.腎・泌尿器領域の画像診断の種類と適応を理解する
- 2.腎・泌尿器臓器の解剖と正常画像所見を理解する
- 3.腎・泌尿器臓器の画像異常所見を理解する

【準備学習】

腎・泌尿器臓器の解剖

1/28 (金) 6限

【単元】

放射線治療 1

【講義担当者】

淡河 恵津世

【学習目標各論】

頭蓋・頭頸部の放射線療法について理解する

【準備学習】

頭蓋内・頭頸部の腫瘍への放射線療法の適応・有害事象・効果について学習する

1/31 (月) 1限

【単元】

血管

【講義担当者】

安陪 等思

【学習目標各論】

- 1.心臓の画像について概要を説明できる
- 2.大血管の画像について概要を説明できる
- 3.動脈瘤の病態と画像について説明できる
- 4.動静脈短絡の病態と画像について説明できる

【準備学習】

講義資料は当日、配布します。

電子シラバスに目を通しておいてください。

1/31 (月) 2限

【単元】

画像下治療の応用

【講義担当者】

小金丸 雅道

【学習目標各論】

その他のインターベンショナルラジオロジー(<u>画像下治療</u>)を概説できる

【準備学習】

インターベンショナルラジオロジー (画像下治療) の基本を予習しておく

1/31 (月) 5限

【単元】

放射線治療 2

【講義担当者】

淡河 恵津世

【学習目標各論】

【準備学習】

胸部の腫瘍への<u>放射</u>線療法の適応・有害事象・効果について学習する

1/31 (月) 6限

【単元】

<u>脊椎・脊髄</u>の画像診断

【講義担当者】

田上 秀一

【学習目標各論】

脊髄腫瘍の種類とその概要を理解する

【準備学習】

<u>脊椎・脊髄</u>の解剖を復習する

2/1 (火) 5限

【単元】

脳腫瘍の画像診断

【講義担当者】

安陪 等思

【学習目標各論】

- 1.脳内腫瘍と脳実質外腫瘍の違いを概説できる
- 2.脳腫瘍の好発部位と好発年齢を概説できる
- 3.脳腫瘍の診断におけるCTとMRIの役割を概説できる
- 4.特徴的な脳腫瘍を診断できる

【準備学習】

講義資料は当日、配布します。

電子シラバスに目を通しておいてください。

2/1 (火) 6限

【単元】

放射線治療3

【講義担当者】

淡河 恵津世

【学習目標各論】

腹部の<u>放射</u>線療法について理解する

【準備学習】

腹部の腫瘍への<u>放射</u>線療法の適応・有害事象・効果について学習する

2/2 (水) 1限

【単元】

骨腫瘍の画像診断

【講義担当者】

長田 周治

【学習目標各論】

類骨腫、骨肉腫、ユーイング肉腫の臨床的特徴と画像所見(単純X線検査、CT、MRI)を説明できる

2/2 (水) 2限

【単元】

胸部 3

【講義担当者】

藤本 公則

【学習目標各論】

胸部画像診断 びまん性肺疾患

【準備学習】

びまん性肺疾患の定義、間質性肺疾患を主体に学習する

2/2 (水) 7限

【単元】

肝胆膵の画像診断 2

【講義担当者】

東南 辰幸

【学習目標各論】

胆道・膵の正常解剖と腫瘍性疾患、炎症性疾患の画像所見を理解する

2/3 (木) 1限

【単元】

頭頸部疾患の画像診断

【講義担当者】

内山 雄介

【学習目標各論】

頭頸部領域に発生する主な腫瘍性病変におけるCT、MRI検査の適応を理解し、その疾患の異常所見を説明し、結果を解釈できる.

代表的な疾患

- 頭頸部がん
- 悪性リンパ腫
- ・唾液性腫瘍

【準備学習】

講義前にCT・MRIの画像解剖に目を通しておく

参考図書:頭頸部のCT・MRI (メディカル・サイエンス・インターナショナル)、

Head and Neck Radiology Vol.2 1st ed. (Wolters Kluwer business)

2/3 (木) 2限

【単元】

軟部腫瘍の画像診断

【講義担当者】

長田 周治

【学習目標各論】

脂肪腫、神経鞘腫、横紋筋肉腫の臨床的特徴と画像所見(CT、MRI)を説明できる

2/4 (金) 1限

【単元】

核医学 2

【講義担当者】

倉田 精二

【学習目標各論】

1.機能診断としての核医学検査の有用性を理解する

2.SPECT、PETの違いを理解する

【準備学習】

骨シンチグラフィ、FDG-PETなどの臨床核医学検査における基礎的学習

参考図書:核医学ノート(金原出版)

2/4 (金) 2限

【単元】

血管奇形・血管腫の診断と治療

【講義担当者】

田中 法瑞

【学習目標各論】

血管奇形に対するISSVA分類を知る

静脈奇形に対する直接穿刺硬化療法の概要を理解する

動静脈奇形 (AVM) に対する血管内治療の概要を理解する

2/4 (金) 5限

【単元】

女性骨盤

【講義担当者】

角 明子

【学習目標各論】

- 1.女性骨盤領域の画像診断の種類と適応を理解する
- 2.女性骨盤臓器の解剖と正常画像所見を理解する
- 3.女性骨盤臓器の画像異常所見を理解する

【準備学習】

女性骨盤臓器の解剖

2/4 (金) 6限

【単元】

放射線治療 4

【講義担当者】

淡河 恵津世

【学習目標各論】

骨軟部・良性疾患の<u>放射</u>線療法/<u>放射</u>線療法に関する保険適応疾患を理解する

【準備学習】

緩和照射・緊急照射、良性疾患など特殊な放射線療法について学習する

試験問題・解答(本試験)

あなたは 学生 アカウント としてログインしています (ログアウト) Home

日本語 (ja)

English (en)

日本語 (ja)

モバイルアプリを取得する

2021 產婦人科

<u>ダッシュボード</u> / マイコース / <u>2021年度</u> / <u>2021年度・医学科</u> / <u>2学期</u> / <u>3年</u> / <u>2021 産婦人科</u>

産婦人科

【統括責任者】

牛嶋 公生

【何を学ぶか】

- ・生殖系の構造と機能を理解し、生殖器に問題を有する患者の診断と治療に関する知識を学ぶ。
- ・妊娠、分娩と産褥期の管理に必要な基礎知識とともに、母子保健、生殖医療のあり方を学ぶ。

【獲得すべき能力(全体)】

ヒトの成長、発達に伴う常態、病態を受精に始まり個体死に至る生涯の一過程としてとらえる能力。

人体の構造と機能を生殖器という視点から学習し、それらの常態を理解した上で病的逸脱に関する病態、さらにその対応について理解する能力。

【獲得すべき能力(個別)】

医学教育モデル・コア・カリキュラム 平成28年度改訂版(産婦人科) 参照

【身に着けてほしい能力】

女性生殖器の特殊性を理解し、女性の一生における<u>妊娠・分娩</u>・出産・<u>産褥</u>について理解する。また、生殖器に関する疾患の基礎的 事項を学習し、5年生からのクリニカルクラークシップで実際に患者と接する際の必要な知識・対応を身につけ、クリニカルクラーク シップでの効果を最大限にあげられるようになることを目標とする。

【評価方法】

末期試験,講義内小テスト及び出席により評価する。

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

【問い合わせ】

- 1.0942-31-7573または(内線 3565)
- 2. 產科<u>婦人科学</u>教室(臨床研究棟 東3F)
- **恒** 質疑応答掲示板
- 科目DB
- 指定・参考図書
- 英語DB
- Aa 用語集
- 科目評価(新)
- 医学教育モデル・コア・カリキュラム 平成28年度改訂版(産婦人科)

10/27 (水) 3限

【単元】

性腺と生殖管機能と構造

【講義担当者】

牛嶋 公生

【学習目標各論】

女性の性腺と生殖管の機能と構造を説明できる。

【準備学習】

予習資料を電子シラバスにアップロードする。

10/27 (水) 4限

【単元】

婦人科<u>腫瘍</u>の発生と疫学

【講義担当者】

牛嶋 公生

【学習目標各論】

- 1.全身所見の取り方について述べることができる。
- 2.外診、内診時の体位、所見の取り方を述べることができる。
- 3.腟鏡診でとれる所見を説明できる。
- 4.細胞診の所見について説明できる。
- 5.内診台で施行可能な検査について理解し、説明できる。

【準備学習】

予習資料を電子シラバスにアップロードする

10/28 (木) 3限

【単元】

妊娠の生理(受精・着床・母体・付属物)

【講義担当者】

吉里 俊幸

【学習目標各論】

- 1.受精・着床について説明できる。
- 2.妊娠維持機構、持続期間について説明できる。
- 3.胎児の器官形成と臓器の成熟(呼吸器・心臓など)について説明できる。
- 4.<u>胎児</u>付属物 (<u>胎盤</u>、<u>羊水、臍帯、卵膜</u>) の機能について説明できる。

【準備学習】

予習資料を電子シラバスにアップロードする。

10/28 (木) 4限

【単元】

産科診察法(レオポルド・エコー・Bishop score)

【講義担当者】

吉里 俊幸

【学習目標各論】

- 1.妊娠に伴う母体変化について説明できる。
- 2.<u>妊娠</u>時の診察法(Leopold診察法、Bishop score,妊婦健診法)について説明できる。

【準備学習】

予習資料を電子シラバスにアップロードする。

11/8 (月) 3限

【単元】

正常<u>分娩</u>、<u>產褥</u>

【講義担当者】

横峯 正人

【学習目標各論】

- 1.分娩の3要素(娩出力・娩出物・産道)について説明できる。
- 2.分娩の転機、経過について説明できる。
- 3.<u>分娩</u>時の<u>胎児</u>の回旋について説明できる。
- 4.正常<u>産褥</u>(子宮復古、<u>悪露</u>、乳汁分泌) について説明できる。

【準備学習】

予習資料を電子シラバスにアップロードする。

11/8 (月) 4限

【単元】

婦人科診断(画像診断、CT,MRI,echo)

【講義担当者】

寺田 貴武

【学習目標各論】

- 1. 骨盤内正常臓器の画像所見について理解することができる。
- 2.主要な婦人科疾患の画像所見について理解することができる。

【準備学習】

予習資料を電子シラバスにアップロードする。

11/9 (火) 3限

【単元】

婦人科<u>腫瘍</u>の発生と疫学

【講義担当者】

牛嶋 公生

【学習目標各論】

- 1.代表的な婦人科腫瘍の発生メカニズムを学ぶ。
- 2.代表的な婦人科腫瘍の疫学を学ぶ。
- 3.婦人科腫瘍と遺伝に関連する事項を学ぶ。

【準備学習】

予習資料を電子シラバスにアップロードする。

11/9 (火) 4限

【単元】

異常分娩(損傷、出血)、産褥

【講義担当者】

武藤 愛

【学習目標各論】

- 1. 分娩時の異常出血(<u>弛緩出血</u>、子宮内反、産道<u>裂傷</u>など)を原因別に分類し、その診断、治療法について説明できる。
- 2.<u>産褥</u>時の異常(児外傷、<u>子宮</u>復古不全、<u>産褥</u>熱、乳<u>腺</u>炎など)について説明できる。

【準備学習】

予習資料を電子シラバスにアップロードする。

11/9 (火) 5限

【単元】

合併症妊娠 (糖代謝異常)

【講義担当者】

堀 大蔵

【学習目標各論】

- 1. 妊娠中の糖代謝について説明できる。
- 2. 妊娠糖尿病の診断方法を述べることが出来る。
- 3. 高血糖が胎児に与える影響について説明できる。
- 4. 妊娠が母体の糖尿病に与える影響を説明することが出来る。
- 5. 周術期の母体管理について述べることが出来る。

【準備学習】

予習資料を電子シラバスにアップロードする。

11/9 (火) 6限

【単元】

合併症妊娠(内分泌、循環器、腎臓、血液)

【講義担当者】

堀 大蔵

【学習目標各論】

- 1.循環器疾患が妊娠、児に与える影響について説明できる。
- 2.内分泌疾患(<u>妊娠</u>糖尿病、甲状<u>腺</u>疾患など)が<u>妊娠</u>、児に与える影響について説明できる。
- 3.腎疾患が<u>妊娠</u>、児に与える影響について説明できる。

【準備学習】

予習資料を電子シラバスにアップロードする。

11/10 (水) 3限

【単元】

非特異的妊娠合併症(母子感染)

【講義担当者】

吉里 俊幸

【学習目標各論】

母子感染(TORCH synd.B型肝炎、HTLV-1)について説明できる。

【準備学習】

予習資料を電子シラバスにアップロードする。

11/10 (水) 4限

【単元】

産科治療(急速遂娩、産科手術)

【講義担当者】

武藤 愛

【学習目標各論】

1.急速遂娩(帝王切開、吸引分娩)の適応、手技を説明できる。

2.産科手術法(子宮内容除去術、頸管縫縮術など)の適応と手技を説明できる。

【準備学習】

予習資料を電子シラバスにアップロードする。

11/11 (木) 3限

【単元】

絨毛性疾患

【講義担当者】

駒井 幹

【学習目標各論】

1.絨毛性疾患の分類、発生、診断について述べることができる。

2.<u>胞状奇胎</u>、存続絨毛症、絨毛癌の治療、管理について述べることができる。

【準備学習】

予習資料を電子シラバスにアップロードする。

11/11 (木) 4限

【単元】

異常分娩 (産道、娩出力、体位、回旋)

【講義担当者】

堀之内 崇士

【学習目標各論】

- 1.分娩停止を診断し、その原因について分類しその診断法、治療法を説明できる。
- 2.胎位の異常(骨盤位、横位など)とその対応について説明できる。
- 3. <u>肩甲難産</u>についてその原因や対処法について説明できる。

【準備学習】

予習資料を電子シラバスにアップロードする。

11/12 (金) 3限

【単元】

性分化の異常、性器の先天異常

【講義担当者】

岩永 成晃

【学習目標各論】

- 1.性の決定を理解する。
- 2.性の分化の過程を理解する。
- 3.性分化異常症を理解する。
- 4.<u>腟・子宮奇形</u>を理解する。
- 5.性同一性障害を理解する。

【準備学習】

予習資料を電子シラバスにアップロードする。

11/12 (金) 4限

【単元】

特異的<u>妊娠</u>合併症(<u>胎児</u>付属物の異常)

【講義担当者】

堀之内 崇士

【学習目標各論】

- 1.<u>胎盤</u>の異常(<u>前置胎盤、常位胎盤早期剥離</u>など)について説明できる。
- 2.<u>臍帯、卵膜</u>の異常(<u>臍帯</u>脱出、過捻転、<u>卵膜</u>付着など)について説明できる。

【準備学習】

予習資料を電子シラバスにアップロードする。

11/12 (金) 5限

【単元】

母子保健・母子健康

【講義担当者】

蔵本 昭孝

【学習目標各論】

- 1.母子健康の現状と動向(妊産婦死亡、死産、周産期死亡)について理解し、周産期医療の重要性を説明できる。
- 2.母子保健に関係する法規則について説明できる。

3.環境因子や薬剤の児に与える影響について説明できる。

【準備学習】

予習資料を電子シラバスにアップロードする

11/12 (金) 6限

【単元】

特異的<u>妊娠</u>合併症(<u>妊娠</u>悪阻、<u>妊娠高血圧症候群</u>)

【講義担当者】

蔵本 昭孝

【学習目標各論】

1.妊娠悪阻と関連疾患について説明できる。

2.妊娠高血圧症候群HELLP症候群の病態と診断、治療法について説明できる。

【準備学習】

予習資料を電子シラバスにアップロードする。

11/15 (月) 3限

【単元】

特異的妊娠合併症(流早產、前期破水)

【講義担当者】

堀之内 崇士

【学習目標各論】

1.<u>流産、早産、前期破水</u>の定義、病因、診断法について述べることができる。

2. 早産、前期破水への対応、児の予後について述べることが出来る。

【準備学習】

予習資料を電子シラバスにアップロードする。

11/15 (月) 4限

【単元】

子宫頸部

【講義担当者】

津田 尚武

【学習目標各論】

- 1.<u>子宮</u>頸癌の疫学を理解する。2.<u>子宮</u>頸癌の発生、<u>臨床進行期</u>を説明できる。
- 3.子宮頸癌の診断法、治療法について説明できる。
- 4.子宮頸部の良性疾患について説明できる。
- 5. 座癌・外陰癌の疫学、病態、診断、治療法を説明できる。

【準備学習】

予習資料を電子シラバスにアップロードする

11/16 (火) 3限

【単元】

産科救急(ショック、DIC)

【講義担当者】

横峯 正人

【学習目標各論】

- 1.産科DIC、ショックを起こす疾患を列記し、管理法を説明できる。
- 2.子宮外妊娠(異所性妊娠)の病態について説明できる。
- 3.<u>羊水塞栓</u>症、術後肺塞栓症を理解し、病態を説明できる。

【準備学習】

予習資料を電子シラバスにアップロードする。

11/16 (火) 4限

【単元】

特異的妊娠合併症(多胎妊娠)

【講義担当者】

横峯 正人

【学習目標各論】

- 1.多胎妊娠の病態、管理について説明できる。
- 2.双胎間輸血症候群について説明できる。
- 3.過期産による母体、<u>胎児</u>の影響について説明できる。

【準備学習】

予習資料を電子シラバスにアップロードする

11/16 (火) 6限

【単元】

婦人科良性疾患 (筋腫・内膜症)

【講義担当者】

黒松 肇

【学習目標各論】

- 1.子宮筋腫の診断(症状、画像所見)、治療(手術適応、その他の治療)に関して説明できる。
- 2.子宮内膜症の診断(症状、画像所見)、治療(薬物療法、<u>手術</u>療法)、<math><u>卵巣</u>癌との関連について説明できる。

【準備学習】

予習資料を電子シラバスにアップロードする

11/16 (火) 7限

【単元】

出生前診断

【講義担当者】

吉里 俊幸

【学習目標各論】

- 1.出生前診断の方法とその種類を説明できる。
- 2.出生前診断の意義とその問題点を理解できる。

【準備学習】

出生前診断の方法や出生前診断の異議を調べておく。

予習資料を電子シラバスにアップロードする。

11/17 (水) 3限

【単元】

体外受精の実際

【講義担当者】

蔵本 武志

【学習目標各論】

体外受精における下記項目について理論や手技を理解し説明できる。

- 1.体外受精の方法
- 2.体外受精の卵巣刺激法
- 3.胚(受精卵)の発生
- 4.媒精法の違い
- 5.胚移植
- 6.胚凍結、卵子凍結
- 7.体外受精と顕微授精

【準備学習】

予習資料を電子シラバスにアップロードする。

11/17 (水) 4限

【単元】

不妊症の診断・治療

【講義担当者】

三田尾 拡

【学習目標各論】

- 1.<u>不妊症</u>の定義と原因分類ができる。
- 2.月経異常、不妊症の原因分類に必要な検査の意義、所見の解釈ができる。

【準備学習】

予習資料を電子シラバスにアップロードする。

11/17 (水) 5限

【単元】

内分泌疾患の治療・診断

【講義担当者】

三田尾 拡

【学習目標各論】

1.月経異常の種類を挙げ、定義を説明できる。

2.ARTについて適応とその方法について説明できる。

【準備学習】

予習資料を電子シラバスにアップロードする。

11/17 (水) 6限

【単元】

婦人科治療総論

【講義担当者】

嘉村 敏治

【学習目標各論】

1.婦人科疾患の治療法について、その基本を学ぶ。

2.診断から治療に至るプロセスを理解する。

【準備学習】

予習資料を電子シラバスにアップロードする。

11/18 (木) 3限

【単元】

女性ヘルスケア

【講義担当者】

駒井 幹

【学習目標各論】

1.性成熟期から更年期における内分泌動態について説明出来る。

2.更年期障害の成因と治療について説明できる。

3.ホルモン補充療法について説明できる。

4.更年期以降に発症しやすい婦人科疾患について説明できる。

【準備学習】

予習資料を電子シラバスにアップロードする

11/18 (木) 4限

【単元】

卵巣腫瘍 (付属器疾患)

【講義担当者】

西尾 真

【学習目標各論】

1. 卵巣がんの疫学、病態を説明出来る。2. 卵巣がんの診断、治療法を説明出来る。

【準備学習】

予習資料を電子シラバスにアップロードする。

11/18 (木) 5限

【単元】

<u>胎児心拍数</u>図1

【講義担当者】

上妻 友隆

【学習目標各論】

1.胎児心拍数陣痛図の所見から胎児の病態を理解することができる。

2.<u>胎児心拍数陣痛図</u>の所見から、reassuring fetal status、<u>胎児</u>機能不全を評価することができる。

【準備学習】

<u>基線細変動</u>とは何か。心拍<u>基線</u>とは何か。<u>一過性頻脈</u>および一過性除脈の定義を予習しておく。

予習資料を電子シラバスにアップロードする。

11/18 (木) 6限

【単元】

胎児心拍数図2

【講義担当者】

上妻 友隆

【学習目標各論】

- 1. 胎児心拍数モニタリングの生理学を理解出来る。
- 2. 胎児心拍数モニタリングの基本的解読が出来る。
- 3. 胎児心拍数モニタリング所見に基づき管理指針を作成出来る。

【準備学習】

<u>胎児心拍数陣痛図</u>の教科書的記述を予習。図譜を用いて復習することが望ましい。

予習資料を電子シラバスにアップロードする。

11/19 (金) 3限

【単元】

子宮体部腫瘍の診断と治療

【講義担当者】

加藤 聖子

【学習目標各論】

1.婦人科腫瘍の治療法を学ぶ。

2.治療法の違いと合併症について理解する。

3.婦人科における機能温存の意味を理解する。

【準備学習】

予習資料を電子シラバスにアップロードする。

11/19 (金) 4限

【単元】

非特異的<u>妊娠</u>合併症(Rh不適合)

【講義担当者】

吉里 俊幸

【学習目標各論】

血液疾患(血液型不適合 $\underline{\mathsf{ff}}_{\underline{\mathsf{fk}}}$ 、貧血、 ITP など)が $\underline{\mathsf{ff}}_{\underline{\mathsf{fk}}}$ 、児に与える影響について説明できる。

【準備学習】

予習資料を電子シラバスにアップロードする。

試験問題 · 解答 (本試験)

あなたは 学生 アカウント としてログインしています (ログアウト) Home

日本語 (ja)

English (en)

日本語 (ja)

モバイルアプリを取得する

2021 麻酔科

<u>ダッシュボード</u> / マイコース / <u>2021年度</u> / <u>2021年度・医学科</u> / <u>1学期</u> / <u>3年</u> / <u>2021 麻酔科</u>

麻酔科

①総括責任者

平木 照之

②何を学ぶか

全身麻酔、局所麻酔、ペインクリニック、緩和医療、集中治療医学を学ぶ。

③獲得すべき能力(全体)

<u>麻酔</u>科学に関連する知識の習得と現在の医療における<u>麻酔</u>科の重要性を学ぶ。

④獲得すべき能力(個別)

- 1) <u>麻酔</u>の概念、種類と<u>麻酔</u>時の生体反応を説明できる。(F-2-10①)
- 2) <u>麻酔</u>管理を安全に行うために必要な術前評価(冠動脈疾患、糖尿病、高血圧などの全身疾患、<u>気道</u>評価など)について概説できる。(F-2-10②)
- 3) 心肺蘇生について説明できる。
- 4) 悪性高熱症や神経筋疾患患者における麻酔管理上の注意点、予防、治療について説明できる。(F-2-10®)
- 5) 術前の禁煙、早期離床、呼吸器リハビリなど<u>周術期</u>の呼吸管理の重要性について説明できる。
- 6) <u>周術期</u>の肺<u>血栓塞栓症</u>の重要性、予防法、診断、治療について概説できる。
- 7) 術前服用薬の対応(継続すべき薬物、術前中止薬物、薬物の変更) および術後の薬物再開に重要性について説明できる。
- 8) 緊急手術の麻酔について問題点を説明することができる。
- 9) 誤嚥のリスク、術前の経口摂取ガイドラインについて概説できる。
- 10) 麻酔薬の種類と使用上の原則を説明できる。(F-2-103)
- 11) 吸入麻酔と静脈麻酔の適応、禁忌、方法、事故と合併症を概説できる。(F-2-10④)
- 12) 吸入麻酔薬の特徴(血液/ガス分配係数、MAC、生体内代謝) について説明できる。
- 13) 脊髄<u>くも膜下麻酔</u>および<u>硬膜外麻酔</u>の適応、禁忌と合併症を概説できる。(F-2-10⑥)
- 14) <u>局所麻酔、末梢神経ブロック</u>、神経叢ブロックの適応、禁忌と合併症を概説できる。(F-2-10⑥)
- 15) <u>局所麻酔</u>薬中毒のリスク、診断、治療について説明できる。
- 16) 安全な<u>麻酔</u>のためのモニタリングの方法、重要な異常所見と対処法を概説できる。 (F-2-10⑦)
- 17) 呼吸器系の異常発見に有用な身体所見、<u>気道</u>内圧、パルスオキシメータ、カプノグラフィなどモニタリングからの情報を列挙できる
- 18) 呼吸器系異常(低酸素血症、換気不全、気道内圧上昇・低下) 時の対応について概説できる。
- 19) 血液ガスについて解釈し、必要な対応について説明できる。
- 20) 酸素化の重要性について、ガス交換、酸素運搬、酸素需給バランスに基づいて説明できる。
- 21) 術中の呼吸管理について概説できる。(F-2-10②)
- 22) 血行動態変化による有害作用(心筋虚血、脳虚血、腎機能低下など)について概説し、その対処法について説明できる。

- 23) 血行動態を把握するための侵襲的・非侵襲的モニタリングについて説明できる。
- 24) 急性期に使用される昇圧薬、降圧薬、抗不整脈薬、冠血管拡張薬などの使用法、禁忌について概説できる。
- 25) 重大な後遺症を残す低酸素血症や、換気不全を早期発見するためのパルスオキシメータ、カプノグラフィの意義について説明できる。
- 26) <u>周術期</u>の中枢神経系(脳卒中、脳虚血、脊髄虚血)、末梢神経障害の発生機序、神経モニタリングについて説明できる。
- 27) 腎機能低下の診断、対処(血行動態、<u>電解質</u>、輸液管理)について説明できる。
- 28) 気管<u>挿管</u>を含む各種の<u>気道</u>確保法を概説できる。(F-2-10⑤)
- 29) 気道確保法の選択について困難気道対策を含めて説明できるようにする。
- 30) 麻酔回路、CO2吸収剤について説明できる。
- 31) 筋弛緩薬の種類と使用上の原則を説明できる。(F-2-103)
- 32) 術後痛など急性痛に対するmultimodalな鎮痛管理について説明できる。
- 33) 麻薬性鎮痛薬・鎮静薬の適応、有害事象、投与時の注意事項について説明できる。(F-2-8⑦)
- 34) 集中治療について概説できる。
- 35) 癌性疼痛コントロールや緩和医療を概説できる。
- 36) ペインクリニックにおける疾患や治療を概説できる。
- 37) 中心静脈穿刺合併症について概説できる。
- 38) アナフィラキシー発症時の診断、対処法について概説できる。
- 39) 危機的出血時の対応を説明できる。
- 40) 産科危機的出血時の対応を説明できる。
- 41) 植物状態、脳死、心臓死及び脳死判定を説明できる。(B-2-1①)

⑤身につけて欲しい能力

生理学や薬理学などの基礎医学の知識を基に、<u>周術期</u>の全身管理および<u>蘇生</u>、集中治療、疼痛管理を理解し、臨床実習に繋がるように知識を身につける。

⑥評価方法

試験成績、出席率を総合して評価する。

⑦課題 (試験やレポート等) に対するフィードバック法

試験後に適宜フィードバックを行う。

⑧問合わせ

平木 照之

【講義資料について】

講座にて印刷し、当日に配布します。



科目DB

指定・参考図書

英語DB

Aa 用語集

[] 科目評価(新)

7/8 (木) 5限

【単元】麻酔の概念、歴史

【講義担当者】平木 照之

【学習目標各論】現在の医療における<u>麻酔</u>科の重要性を理解する。

【資料】当日配布

【準備学修】特になし

7/8 (木) 6限

【単元】 麻酔と呼吸生理

【講義担当者】平木 照之

【学習目標各論】

人工呼吸に必要な呼吸生理(呼吸運動,肺内ガス交換,呼吸ガスの運搬)

自然呼吸と人工呼吸の違い

人工呼吸器のセッティング, 人工換気モード

呼吸モニタ

【資料】当日配布

【準備学修】

1)全身麻酔中に呼吸が抑制される理由を挙げられる。

2)<u>自発呼吸</u>と陽圧換気の違いを説明できる。

3)血液中の酸素と二酸化炭素の運搬様式を説明できる。

7/8 (木) 7限

【単元】 麻酔と循環生理

【講義担当者】九州歯科大学・渡邉 誠之

【学習目標各論】

本講義により、

- 1. 心機能評価とその対応について理解する。
- 2. 左右心不全の違いについて理解する。
- 3. 虚血性心疾患患者の循環モニタと術中循環管理の要点がわかるようになる。

【資料】資料としてPowerPointファイルを配布する。

【準備学修】心不全、狭心症について事前学習する。

7/9 (金) 5限

【単元】 麻酔と神経生理

【講義担当者】原 将人

【学習目標各論】

全身麻酔・局所麻酔の分子〜細胞レベル作用機序について理解する。

脳の循環代謝に関する生理学、他臓器と比べた特殊性を理解する。

脳神経モニタリングについて学習する。

【資料】第2学年までに学習した神経生理解剖ノート/テキスト

【準備学修】予習として第2学年までに学習した神経生理解剖ノートおよびテキストの再確認をすること。

7/9 (金) 6限

【単元】術前評価と麻酔の実際

【講義担当者】宮川 貴圭

【学習目標各論】

- 1. 術前のリスクマネジメント
- 2. インフォームドコンセント
- 3. 麻酔手技に伴う合併症
- 4. 全身麻酔: 全身麻酔の流れ(導入、維持、覚醒)、モニタリング

【資料】当日配布

【準備学修】

- ・WHO「手術安全チェックリスト」
- ・安全な麻酔のためのモニター指針
- ・術前に内服を中止する薬剤
- ・術前絶飲食ガイドラインについて予習すること

7/9 (金) 7限

【単元】 吸入麻酔薬、鎮静薬

【講義担当者】三島 康典

【学習目標各論】

<u>吸入麻酔</u>薬、静脈<u>麻酔</u>薬、各種鎮静薬の薬理作用を述べることができる。<u>麻酔</u>薬、鎮静薬の生体機能への影響について説明できる。

【資料】標準麻酔科学(第6版)第3、4、8章

【準備学習】<u>吸入麻酔</u>薬、静脈<u>麻酔</u>薬や鎮静薬の種類、特性について予習しておくこと。

7/13 (火) 5限

【単元】筋弛緩薬

【講義担当者】大下 健輔

【学習目標各論】

筋弛緩薬の分類、作用機序、代謝について説明できる。

筋弛緩薬を使用する上での原則、注意点について説明できる。

筋弛緩薬の拮抗について説明できる。

【資料】当日配布

【準備学修】 神経筋接合部の構造と機能について予習しておく。

7/13 (火) 6限

【単元】鎮痛薬

【講義担当者】平田 麻衣子

【学習目標各論】

鎮痛薬の薬理と実際の使用

鎮痛薬の分類、作用部位、副作用について説明できる。

【資料】当日配布

【準備学修】鎮痛薬について予習する。講義内容について復習する。

7/13 (火) 7限

【単元】ペインクリニック I

【講義担当者】非常勤講師 佐野 智美

【学習目標各論】

ペインクリニックにおける疾患や治療を概説できる。

- ・痛みの種類とその定義
- ・痛みのアセスメント
- ・慢性痛の治療とその問題点(急性痛との違い)
- ・主な対象疾患と各疾患に対する痛みの治療

【資料】

当日配布

<参考文献>

- ・伊藤誠二:痛覚のふしぎ、講談社(ブルーバックス B-2007)、2017
- ・丸山一男:痛みの考えかた しくみ・何を・どう効かす、南江堂、2014
- ・阿部泰之:痛み×構造構成主義 痛みの原理と治療を哲学の力で解き明かす、南江堂、2016
- ・日下隼人:医療者の心を贈るコミュニケーション、医師薬出版株式会社、2016
- ・「慢性の痛み診療・教育の基盤となるシステム構築に関する研究」研究班 監修:慢性疼痛治療ガイドライン、真興交易(株)医書 出版部、2018

- ・日本ペインクリニック学会治療指針検討委員会・編:ペインクリニック治療指針 改訂第6版、真興交易医書出版部、2019
- ・日本ペインクリニック学会神経障害性疼痛薬物療法ガイドライン改訂版作成ワーキンググループ・編:神経障害性疼痛薬物療法ガイドライン 改訂第2版、真興交易医書出版部、2016
- ・日本ペインクリニック学会非がん性慢性疼痛に対するオピオイド鎮痛薬処方ガイドライン改訂版作成ワーキンググループ・編:非がん性慢性疼痛に対するオピオイド鎮痛薬処方ガイドライン 改訂2版、真興交易医書出版部、2017
- ・日本ペインクリニック学会インターベンショナル痛み治療ガイドライン作成ワーキンググループ・編:インターベンショナル痛み 治療ガイドライン、真興交易医書出版部、2014

<参照WEB>

・日本ペインクリニック学会ホームページ 医学生/研修医の皆様 https://www.jspc.gr.jp/igakusei/igakusei.html

【準備学修】

<予習>

- ①痛み発生の仕組みについて
- ・痛み刺激の種類
- ・痛みに関係する神経
- ・痛みの伝導と伝達(経路と中継点、フィードバック機構)
- ・痛み刺激のもたらすもの
- ②痛みを診断、治療するために必要な知識の復習
- ・問診
- ・身体症状評価
- ・画像診断
- ・鎮痛薬、鎮痛補助薬

<復習>

慢性痛と急性痛の違いに着目して整理

- ・医療人として必要なコミュニケーションのポイント
- 痛みの持つ意味
- ・痛みのアセスメント法
- ・痛みのマネジメント目標の立て方
- ・ペインクリニック対象疾患とその治療

7/14 (水) 5限

【単元】ペインクリニックⅡ

【講義担当者】山田 信一

【学習目標各論】ペインクリニックで行われる治療の目的、方法、効果、合併症について述べることができる。

【資料】教育用サーバ

【準備学修】

硬膜外ブロック、星状神経節ブロック、腕神経叢ブロック、神経根ブロックなど

それぞれの適応疾患と解剖、治療効果、合併症に関して予習を行っておく。

7/14 (水) 6限

【単元】集中医療医学

【講義担当者】鹿児島大学 新山 修平

【学習目標各論】呼吸・循環管理について概説できる。

【資料】当日配布

【準備学修】麻酔科学の教科書(とくに指定はない)レベルの内容は予習しておくこと

7/14 (水) 7限

【単元】手術室環境

【講義担当者】太田 聡

【学習目標各論】手術室の構造、清拭の維持、安全対策等について理解する。

【資料】当日配布

【準備学修】講義内容の復習

7/15 (木) 5限

【単元】脊髄<ち膜下麻酔、硬膜外麻酔

【講義担当者】兵頭 彩子

【学習目標各論】

- ・解剖
- ・適応
- ・脊麻と硬麻の違い
- ・禁忌
- ・合併症とその対策

【資料】当日配布

【準備学修】

- ・脊椎、脊髄、神経の解剖
- ・<u>局所麻酔</u>薬

7/15 (木) 6限

【単元】心臓麻酔

【講義担当者】原 将人

【学習目標各論】

循環に関わるモニタリングデバイスについて説明できる。圧容量曲線を用いて循環動態を包括的に把握できる。

心臓手術の流れと麻酔科医の役割を理解する。

【資料】当日配布

【準備学修】心臓手術において使用されるモニター、<u>麻酔</u>薬、循環作動薬の種類と特徴を理解しておくこと。

7/16 (金) 5限

【単元】帝王切開の<u>麻酔</u>、分娩<u>麻酔</u>

【講義担当者】中川 景子

【学習目標各論】

妊婦の生理について理解する。

帝王切開の麻酔法、注意点について概説できる。

【資料】当日配布

【準備学修】妊婦と胎児の生理について予習しておく。

7/16 (金) 6限

【単元】 局所麻酔薬

【講義担当者】上瀧 正三郎

【学習目標各論】

局所麻酔薬の作用機序

分類

使用方法

光学異性体

副作用

などを理解する。

【資料】教育用サーバ

【準備学修】<u>局所麻酔</u>薬特徴、分類について予習を行っておく

7/19 (月) 6限

【単元】緩和ケア

【講義担当者】名誉教授 福重 哲志

【学習目標各論】緩和ケアの意味する内容について理解し述べることができる。緩和ケアは医療の基本であることについても理解できる。

【資料】当日配布

【準備学修】がん患者・家族に生じる辛さについて考える。

7/19 (月) 7限

【**単元**】<u>周術期</u>モニタリング

【講義担当者】横溝 泰司

【学習目標各論】安全な<u>麻酔</u>のためのモニタリング指針について概説できる。パルスオキシメータ、カプノグラフィの意義について 説明できる。

【資料】当日配布

【準備学修】特に必要なし

7/20 (火) 5限

【単元】鏡視下手術麻酔

【講義担当者】平木 照之

【学習目標各論】気腹による生体への影響、合併症について説明することができる。

【資料】当日配布

【準備学修】

鏡視下手術の利点、欠点について予習する。

講義内容を復習する。

7/20 (火) 6限

【単元】小児麻酔

【講義担当者】古賀 由香利

【学習目標各論】

小児における解剖・生理を理解し、麻酔管理の注意点について説明できる。

小児疾患と麻酔との関連について理解できる。

【資料】当日配布

【準備学修】小児の解剖・生理について予習しておく。

7/20 (火) 7限

【単元】輸液、<u>電解質</u>

【講義担当者】中川 景子

【学習目標各論】輸液の必要性、選択、量、技術

【資料】当日配布

【準備学修】体液の生理学(水、電解質)について復習しておくこと。

7/21 (水) 5限

【単元】輸血

【講義担当者】山田 阿貴子

【学習目標各論】輸血の必要性、種類、合併症

【資料】当日配布

【準備学修】輸血の必要性、種類、合併症について予習しておく。

7/21 (水) 6限

【単元】脳死と臓器移植

【講義担当者】原 将人

【学習目標各論】

植物状態、脳死および心臓死を区別できる。

脳死判定の流れや判定基準、臓器移植との関連について説明できる。

【資料】当日配布

【準備学修】脳死と臓器移植に関する一般の情報や記事、書籍などをなにかひとつでも読んでおくこと。

7/21 (水) 7限

【単元】 蘇生法

【講義担当者】伊藤 貴彦

【学習目標各論】

医師としては基本的な手技となる蘇生方法を十分に理解する。

ガイドラインに沿った<u>蘇生</u>方法を理解する。

【資料】

第4版日本救急医学会ICLSコースガイドブック

JRC<u>蘇生</u>ガイドライン2015オンライン版

http://www.japanresuscitationcouncil.org/

【準備学修】ガイドブックを予習、復習しておく。

7/26 (月) 5限

【単元】<u>周術期</u>合併症、<u>麻酔</u>関連偶発症

【講義担当者】木村 寛子

【学習目標各論】

中心静脈穿刺による合併症など周術期の合併症について述べることができる。

重大な麻酔関連偶発症例の鑑別、診断、治療について理解する。

【資料】当日配布

【準備学修】特になし

7/26 (月) 6限

【単元】緩和ケアチーム

【講義担当者】津田 勝哉

【学習目標各論】

- ①緩和ケアチームの働きを概説できる。
- ②オピオイドの適応と課題を説明できる。
- ③疼痛のアセスメント、疼痛緩和の薬物療法、癌疼痛治療法を説明できる。

【資料】教育用サーバ、当日配布

【準備学修】

教育用サーバの資料を閲覧しておく。

講義内容を復習する。

7/26 (月) 7限

【単元】高齢者の麻酔

【講義担当者】非常勤講師 金子 真也

【学習目標各論】高齢者の術前評価、<u>麻酔</u>管理とその注意点、術後合併症について述べることができる。

【資料】当日配布

【準備学修】加齢による生理機能の変化について予習しておく。

7/27 (火) 5限

【単元】区域麻酔、神経ブロック

【講義担当者】濵田 伸哉

【学習目標各論】

- ・神経ブロックの適応
- ・神経ブロックの方法
- ・全身麻酔との違い
- ・硬膜外麻酔、脊髄くも膜下麻酔との違い
- ・禁忌・合併症

【資料】当日配布

【準備学修】

- ・神経の大まかな走行
- ・局所麻酔薬

7/27 (火) 6限

【**単元**】 <u>気道</u>確保、<u>麻酔</u>器具、<u>麻酔</u>器

【講義担当者】大下 健輔

【学習目標各論】

気管<u>挿管</u>、声門上器具、外科的<u>気道</u>確保法を含む各種<u>気道</u>確保の方法や必要な器具を説明できる。

<u>気道</u>確保法の計画、選択について<u>気道</u>確保困難対策を含めて説明できる。

<u>麻酔</u>器、<u>麻酔</u>回路の構造、ソーダライムについて説明できる。

【資料】当日配布

【準備学修】特に必要なし

試験問題・解答(本試験)

あなたは 学生 アカウント としてログインしています (ログアウト) Home

日本語 (ja)

English (en)

日本語 (ja)

モバイルアプリを取得する

2021 救急医学

<u>ダッシュボード</u> / マイコース / <u>2021年度</u> / <u>2021年度・医学科</u> / <u>2学期</u> / <u>3年</u> / <u>2021 救急医学</u>

救急医学

【統括責任者】

高須 修

【何を学ぶか】

緊急度・重症度の高い病態、代表的な救急疾患、中毒や環境要因によって生じる特殊な病態について基本的な知識を習得する。

また、救急医療のシステム、救急医療体制、さらに災害時の医療に関する知識を習得する。

【獲得すべき能力(全体)】

緊急度の高い内因性、外因性疾患、重症度の高い内因性疾患、外因性疾患を列挙し、各々の症状と身体所見、病態と初期治療について説明できる知識を身につける。

【獲得すべき能力(個別)】

地域医療への貢献

①地域における救急医療体制、救急医療システムを説明できる。

②災害医療(災害時保健医療、医療救護班、<u>災害派遣医療チーム(Disaster Medical Assistance Team < DMAT</u>>)、災害派遣精神医療チーム(Disaster Psychiatric Assistance Team < DPAT>)、日本医師会災害医療チーム(Japan Medical Association Team < JMAT>)、災害拠点病院、トリアージ等)を説明できる。

診断と検査の基本

緊急度・重症度の高い救急疾患の身体所見、鑑別方法、初期治療を概説できる。

症候

①ショック ②<u>意識障害</u> ③心肺停止 ④呼吸障害 ⑤運動麻痺・筋力低下 ⑥腹痛 ⑦<u>頭痛・悪心・嘔吐</u>、麻痺 その他

疾患

特に頻度の高い内因性・外因性の救急疾患について理解する。

1) ショック、心肺停止

<u>循環血液量減少</u>性ショック、心原性ショック、閉塞性ショック、血液分布異常性ショックについて

鑑別と緊急処置・治療について説明できる。

2) 中毒

- ①中毒を疑う所見、共通する合併症を説明できる。
- ②一酸化炭素中毒の発生機序、症候、診断と治療法を説明できる。
- ③有機リン剤、有機塩素剤と有機溶剤による中毒の機序、診断と治療を説明できる。
- ④自然毒による中毒を概説できる。
- ⑤アルコール、覚醒剤・麻薬・大麻などの乱用薬物による中毒を説明できる。
- ⑥医薬品による中毒を説明できる。
- 3) 環境要因等による疾患
- ①高温による障害(熱中症)を説明できる。
- ②寒冷による障害を説明できる。

4) 熱傷

- ①熱傷の重症度を説明できる。
- ②熱傷の治療方針を概説できる。

5) 外傷

特に外傷ショックを呈する病態と治療方針について理解する。

6) その他頻度の高い内因性救急疾患

医学教育モデル・コア・カリキュラム 平成28年度改訂版(救急医学) 参照

【身に着けてほしい能力】

主要な救急疾患について知識を深め、身体所見の重要性を理解する。また緊急度、重症度が判断できる知識、能力を身につける。

【評価方法】

論述試験およびマークシート方式による試験、参加姿勢を評価する。

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

Moodle上に掲載

【問い合わせ】

救急医学講座(内線 3552)



科目DB

指定・参考図書

英語DB

Aa 用語集

科目評価(新)

<u>医学教育モデル・コア・カリキュラム 平成28年度改訂版(救急医学)</u>

11/25 (木) 1限

【単元】

救急医学総論:救急医療体制とMC、病院前救護

【講義担当者】

高須 修

【学習目標各論】

- 1. 救急医療体制
- 2. 救急医療と医学
- 3. 病院前診療
- 4. 救急救命士制度とMC

【準備学習】

参考図書Aの該当箇所を参照のこと

11/25 (木) 2限

【単元】

救急医学総論:緊急度と重症度評価、バイタルサイン評価

【講義担当者】

高須 修

【学習目標各論】

- 1. 緊急度と重症度
- 2. 気道緊急と処置
- 3. ショック

【準備学習】

参考図書Aの該当箇所を参照のこと

11/25 (木) 7限

【単元】

救急病態1.Aの異常

【講義担当者】

高須 修

【学習目標各論】

- 1. 気道緊急とその病態
- 2. 窒息・気道閉塞・狭窄を疑う身体所見
- 3. 気道緊急に対する処置

【準備学習】

参考図書Aの該当箇所を参照のこと

11/26 (金) 1限

【単元】

救急病態2.Bの異常

【講義担当者】

高須 修

【学習目標各論】

- 1. 呼吸の異常と身体所見
- 2. 換気不全と酸素化障害

【準備学習】

参考図書Aの該当箇所を参照のこと

11/26 (金) 2限

【単元】

救急病態3.Cの異常

【講義担当者】

高須 修

【学習目標各論】

- 1. ショックの定義と分類
- 2. ショックを疑う身体所見
- 3. ショックの早期認知

【準備学習】

参考図書Aの該当箇所を参照のこと

11/29 (月) 1限

【単元】

循環器救急 (総論)

【講義担当者】

大塚 麻樹

【学習目標各論】

- 1. 心原性ショックの病態
- 2. 循環不全時の身体所見とモニタリング

【準備学習】

参考図書Aの該当箇所を参照のこと

11/29 (月) 2限

【単元】

循環器救急(各論)

【講義担当者】

大塚 麻樹

【学習目標各論】

- 1. 急性心筋梗塞
- 2. 急性大動脈解離
- 3. 肺血栓塞栓症
- 4. その他

【準備学習】

参考図書Aの該当箇所を参照のこと

11/30 (火) 1限

【単元】

心肺停止と<u>心肺蘇生</u>

【講義担当者】

大塚 麻樹

【学習目標各論】

- 1. 心停止と心電図
- 2. 心肺蘇生法: 一次救命処置と二次救命処置
- 3. 緊急医薬品

【準備学習】

参考図書Aの該当箇所を参照のこと

11/30 (火) 2限

【単元】

熱傷

【講義担当者】

高須 修

【学習目標各論】

- 1. 熱傷の重症度を規定する因子
- 2. 熱傷ショックの病態
- 3. 気道熱傷
- 4. その他

【準備学習】

参考図書Aの該当箇所を参照のこと

12/1 (水) 1限

【単元】

法医学と救急医学(CO中毒含む)

【講義担当者】

神田 芳郎

【学習目標各論】

- 1. 急性薬物中毒と異状死
- 2. CO中毒その他

【準備学習】

標準法医学 第7章「中毒」総論 を参照のこと

12/1 (水) 2限

【単元】

意識の異常 (総論・基礎)

【講義担当者】

塩見 直人

【学習目標各論】

- 1. 意識の評価
- 2. 脳幹の機能と評価
- 3. 頭蓋内圧亢進と脳ヘルニア

【準備学習】

参考図書Aの該当箇所を参照のこと

12/1 (水) 7限

【単元】

意識の異常(各論):脳血管障害、中枢神経系の異常

【講義担当者】

塩見 直人

【学習目標各論】

- 1. <u>意識障害</u>をきたす疾患
- 2. 脳血管障害
- 3. 中枢神経感染症
- 4. その他

【準備学習】

12/2 (木) 1限

【単元】

中毒1) 中毒総論

【講義担当者】

山下 典雄

【学習目標各論】

- 1. 急性中毒物質の診断および推定法を説明できる。
- 2. 急性中毒患者への全身的対応を述べることができる。
- 3. 中毒患者への基本的処置を説明できる。 ①吸収物、②既吸収物、③拮抗薬・解毒薬

【準備学習】

参考図書Aの該当箇所を参照のこと

12/2 (木) 2限

【単元】

中毒2) 医薬品中毒、家庭用品

【講義担当者】

山下 典雄

【学習目標各論】

- 1. 急性中毒をきたして来院する代表的な医薬品、家庭用品を述べることができる。
- 2. 個々の中毒の症状および対応・治療を説明できる。

【準備学習】

参考図書Aの該当箇所を参照のこと

12/3 (金) 1限

【単元】

中毒3) 農薬中毒、動物毒

【講義担当者】

山下 典雄

【学習目標各論】

- 1. 急性中毒をきたす代表的な農薬を述べることができる。
- 2. 個々の中毒の病態症状および対応・治療を説明できる。

【準備学習】

参考図書Aの該当箇所を参照のこと

12/3 (金) 2限

【単元】

急性腹症①

【講義担当者】

中村 篤雄

【学習目標各論】

- ・急性腹症について理解する
- ・急性腹症の原因、鑑別、身体所見等を説明できる

【準備学習】

参考図書Aの該当箇所を参照のこと

12/3 (金) 7限

【単元】

急性腹症②

【講義担当者】

中村 篤雄

【学習目標各論】

- ・急性腹症について理解する
- ・急性腹症の原因、鑑別、身体所見等を説明できる

【準備学習】

参考図書Aの該当箇所を参照のこと

12/6 (月) 1限

【単元】

環境異常

【講義担当者】

中村 篤雄

【学習目標各論】

- 1. 熱中症
- 2. <u>低体温</u>症

【準備学習】

参考図書Aの該当箇所を参照のこと

12/6 (月) 2限

【単元】

外傷1 外傷総論

【講義担当者】

山下 典雄

【学習目標各論】

- 1. 外傷初期診療の理念
- 2. 受傷機転と高エネルギー外傷
- 3. 外傷患者にみられるショックの病態
- 4. 標準的な初期診療手順

【準備学習】

12/7 (火) 1限

【単元】

外傷2 頭頸部・顔面外傷

【講義担当者】

塩見 直人

【学習目標各論】

- 1. 頭頸部外傷の重症度、病態、初期診療について述べることができる。
- 2. 顔面外傷の緊急処置について述べることができる。

【準備学習】

参考図書Aの該当箇所を参照のこと

12/7 (火) 2限

【単元】

外傷3 胸部外傷

【講義担当者】

高須 修

【学習目標各論】

- 1. 受傷機転からみた胸部外傷
- 2. 致死的胸部外傷
- 3. 胸部外傷の診断:特に理学所見
- 4. 胸部外傷の治療:緊急開胸術、ダメージコントロールサージェリーについて

【準備学習】

参考図書Aの該当箇所を参照のこと

12/8 (水) 1限

【単元】

外傷4 腹部外傷

【講義担当者】

山下 典雄

【学習目標各論】

- 1. 受傷機転からみた腹部外傷
- 2. 腹部外傷の特徴
- 3. 腹部外傷の診断:特に理学所見
- 4. 腹部外傷の治療:緊急開腹術、ダメージコントロールサージェリーについて

【準備学習】

参考図書Aの該当箇所を参照のこと

12/8 (水) 2限

【単元】

外傷5 骨盤・四肢

【講義担当者】

山下 典雄

【学習目標各論】

骨盤・四肢外傷について述べる。

- 1. 骨盤輪骨折の受傷機転と重症度判定
- 2. 骨盤輪骨折の初期治療
- 3. 骨盤輪骨折の合併症と予後

重篤な四肢外傷の診断と治療

コンパートメント症候群、クラッシュ症候群、神経・血管損傷、切断

【準備学習】

参考図書Aの該当箇所を参照のこと

12/8 (水) 7限

【単元】

小児救急 (誤飲・誤嚥、小児虐待、その他含む)

【講義担当者】

長井 孝二郎

【学習目標各論】

- 1. 小児の不慮の事故の特徴
- 2. 消化管異物・気道異物
- 3. 小児虐待

【準備学習】

参考図書Aの該当箇所を参照のこと

12/9 (木) 1限

【単元】

臓器不全を生じる病態

【講義担当者】

高須 修

【学習目標各論】

- 1. 生体侵襲と生体反応
- 2. 臓器不全の原因となる病態・治療
- 3. 敗血症

【準備学習】

参考図書Aの該当箇所を参照のこと

12/9 (木) 2限

【単元】

救急医療と災害医療

【講義担当者】

山下 典雄

【学習目標各論】

風水害や地震などの災害発生時に、医師が救急医療を通じて果たすべき社会的責務について述べることができる。

- 1. トリアージと災害医療の理念
- 2. 災害医療と医師の役割
- 3. NBC災害(テロ災害について)

【準備学習】

参考図書Aの該当箇所を参照のこと

12/10 (金) 1限

【単元】

救急医療と集中治療

【講義担当者】

高須 修

【学習目標各論】

- 1. 気道確保
- 2. 輸液と循環モニタリング
- 3. 人工呼吸管理 その他

【準備学習】

参考図書Aの該当箇所を参照のこと

12/10 (金) 2限

【単元】

予備日

試験問題・解答(本試験)

あなたは 学生 アカウント としてログインしています (ログアウト) Home

日本語 (ja)

English (en)

日本語 (ja)

モバイルアプリを取得する

2021 泌尿器科

<u>ダッシュボード</u> / マイコース / <u>2021年度</u> / <u>2021年度・医学科</u> / <u>2学期</u> / <u>3年</u> / <u>3年</u> / <u>2021 泌尿器科</u>

泌尿器科

【統括責任者】

井川 掌

【何を学ぶか】

- ・腎・尿路系の構造と機能を理解し、主な腎・尿路系疾患の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。
- ・生殖系の構造と機能を理解し、生殖器に問題を有する患者の診断と治療に関する知識を学ぶ。

【獲得すべき能力(全体)】

診断・検査・症候についての能力が獲得できる。

【獲得すべき能力(個別)】

医学教育モデル・コア・カリキュラム 平成28年度改訂版(泌尿器科) 参照

【身に着けてほしい能力】

診断・検査・症候についての学習能力および各種疾患の基本的事項

【評価方法】

出席状況とユニット試験(本試験)にて総合的に評価する。

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

【問い合わせ】

内線:3638あるいは0942-31-7572

恒 質疑応答掲示板

➡ 科目DB

指定・参考図書

英語DB

Aa 用語集

科目評価(新)

医学教育モデル・コア・カリキュラム 平成28年度改訂版(泌尿器科)

10/12 (火) 5限

【単元】

総論1(腎·尿路)

【講義担当者】

末金 茂高

【学習目標各論】

- 1.腎・尿路系の解剖を説明できる。
- 2.腎・尿路系疾患の症状・症候を理解する。
- 3.各種尿路画像検査の診断的意義を理解する。

```
【準備学習】
```

標準泌尿器科学(第9版) p 10-20 50分

10/12 (火) 6限

【単元】

総論2(生殖器)

【講義担当者】

末金 茂高

【学習目標各論】

1.性器の解剖と生理

【準備学習】

標準泌尿器科学(第9版) p 20-25 50分

10/13 (水) 5限

【単元】

診断·検査

【講義担当者】

末金 茂高

【学習目標各論】

泌尿器疾患の画像診断

- 1.尿路の画像診断について概説できる。
- 2.精路の画像診断について概説できる。
- 3.後腹膜臓器の画像診断について概説できる。

【準備学習】

標準泌尿器科学(第9版) p 47-90 50分

10/13 (水) 6限

【単元】

症候

【講義担当者】

江口 善朗

【学習目標各論】

1.血尿の種類、疾患、病態について説明する。

```
10/14 (木) 5 IR

【単元】

尿路上皮腫瘍
【講義担当者】

西原 聖顕
【学習目標各論】

1.腎盂・尿管腫瘍、膀胱腫瘍の頻度、病因と病理について理解できる。
2.症状・診断について説明できる。
3.手術をはじめとした治療法の適応を理解できる。
【準備学習】
標準泌尿器科学(第9版) p230-238 50分
```

2.排尿の異常について種類を挙げ、その定義、疾患を説明する。

標準泌尿器科学(第9版) p 36-46 50分

10/14 (木) 6限

【準備学習】

【単元】

腎移植·腎不全

【講義担当者】

西原 聖顕

【学習目標各論】

- 1.ドナー・レシピエントの選択について説明できる。
- 2.拒絶反応の種類・診断・治療を説明できる。
- 3.免疫抑制法について説明できる。

【準備学習】

標準泌尿器科学(第9版) p 171-182 50分

10/15 (金) 5限

【単元】

腎•<u>副腎</u>腫瘍

【講義担当者】

松尾 光哲

【学習目標各論】

- 1.良性・悪性腫瘍の種類を説明できる。
- 2.臨床病気分類を理解できる。
- 3.それぞれの腫瘍の症状、診断について説明できる。
- 4.それぞれの腫瘍の治療法について概説できる。

【準備学習】

標準泌尿器科学(第9版) p 224-230 p 239-263 50分

10/15 (金) 6限

【単元】

泌尿器内視鏡手術

【講義担当者】

松尾 光哲

【学習目標各論】

- 1.尿路内視鏡手術
- 2.<u>腹腔鏡</u>手術
- 3.ロボット支援手術
- 4.体外手術

【準備学習】

標準泌尿器科学(第9版) p 299-309 50分

10/15 (金) 7限

【単元】

尿路結石

【講義担当者】

江島 和久

【学習目標各論】

- 1.尿路結石症の診断ができる。
- 2.治療法の種類とその適応、合併症について概説できる。

【準備学習】

標準泌尿器科学(第9版) p 196-215 50分

10/18 (木) 5限

【単元】

腎尿路外傷・異物

【講義担当者】

```
【学習目標各論】
  1.尿路·性器損傷
  2.尿路•性器異物
  3.尿瘻
  【準備学習】
  標準泌尿器科学(第9版) p 140-150 50分
10/18 (月) 6限
  【単元】
  尿路感染症
  【講義担当者】
  築井 克聡
  【学習目標各論】
  1.尿路感染症はなぜ起こるのか。
  2.尿路感染症の部位による診断、治療について説明できる。
  3.尿路結核の診断、治療について述べることができる。
  【準備学習】
  標準泌尿器科学(第9版) p 183-195 50分
10/19 (火) 5限
   【単元】
  <u>勃起·射精</u>障害、男性<u>不妊</u>
  【講義担当者】
  名切 信
  【学習目標各論】
  1.精巣と前立腺の検査方法を説明し結果を解釈できる。
  2.<u>勃起障害</u>と<u>射精</u>障害を概説できる。
  3.男性不妊を概説できる。
  【準備学習】
  標準泌尿器科学(第9版) p 278-288 50分
```

10/19 (火) 6限

【単元】

植田 浩介

精巣・<u>陰嚢</u>疾患

【講義担当者】

```
熊谷 壽二
```

【学習目標各論】

- 1.陰嚢内腫瘤を列挙でき、それぞれについての診断や治療を概説できる。
- 2.精巣腫瘍の疫学や病理所見を説明できる。
- 3.精巣腫瘍の診断および病理分類を理解できる。
- 4.精巣腫瘍の治療法を理解できる。
- 5.停留精巣を概説でき、治療法を理解できる。

【準備学習】

標準泌尿器科学(第9版) p 252-259 50分

10/20 (水) 5限

【単元】

前立腺肥大•癌

【講義担当者】

井川 掌

【学習目標各論】

- 1.前立腺肥大症の診断と治療を説明できる。
- 2.前立腺癌の診断と治療を説明できる。

【準備学習】

標準泌尿器科学(第9版) p 240-252 50分

10/20 (水) 6限

【単元】

先天·形態異常

【講義担当者】

宮島 次郎

【学習目標各論】

- 1.おもな腎尿路の先天異常の疾患について説明できる。
- 2.膀胱尿路逆流症を説明できる。

【準備学習】

標準泌尿器科学(第9版) p 118-138 50分

10/21 (木) 5限

【単元】

試験問題・解答(本試験)

あなたは 学生 アカウント としてログインしています (ログアウト) Home

日本語 (ja)

English (en)

日本語 (ja)

モバイルアプリを取得する

神経因性膀胱

2021 心臓・血管外科

<u>ダッシュボード</u> / マイコース / <u>2021年度</u> / <u>2021年度・医学科</u> / <u>1学期</u> / <u>3年</u> / <u>2021 心臓・血管外科</u>

心臓・血管外科

【統括責任者】

田山 栄基

【何を学ぶか】

- ・循環器(心血管)系の構造と機能を理解し、各科日常診療の基本となる一般的な循環器疾患の予防、病因、病態生理、症候、診断と初期対応を中心とした治療を学ぶ。
- ・外科的治療と周術期管理の基本を学ぶ。

【獲得すべき能力(全体)】

内科では各疾患の病態生理や診断と内科的治療について学ぶが、外科では各疾患の手術適応と術式および術後の合併症に着目して学習すること。

特に心臓血管外科疾患は基本的に生物学的には良性疾患なので、何故手術をしなければならないかを、常に念頭に置きながら学習する。

【獲得すべき能力(個別)】

医学教育モデル・コア・カリキュラム 平成28年度改訂版 (心臓・血管外科)参照

【身に着けてほしい能力】

循環器の解剖生理を熟知し、心臓血管外科手術の理解を深める。

【評価方法】

筆記試験で評価する。理由のない欠席は本試験より減点する。脈管の名称は英語で記述できるようにしておくこと。(<u>用語集</u>欄に覚えて欲しい脈管の単語のファイルを添付しているので、必ず覚えること)

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

【問い合わせ】

- 1.0942-31-7567 (内線 3539)
- 2. 外科学心臓血管外科(臨床研究棟2F)
- **宣疑応答掲示板**
- 科目DB
- 指定・参考図書
- 英語DB
- Aa 用語集
- 科目評価(新)
- 医学教育モデル・コア・カリキュラム 平成28年度改訂版 (心臓・血管外科)

7/9 (金) 3限

【単元】

心臓外科総論

【講義担当者】

【学習目標各論】

- 1. 心臓血管外科診療に必要な基本的事項(構造、機能、病因)の理解。
- 2. 診断 技術 (問診、診察、基本的検査法、特殊検査法など) の理解と実施および病態評価

【準備学習】

7/9 (金) 4限

【単元】

心臓外科に関連した解剖生理薬理

【講義担当者】

田山 栄基

【学習目標各論】

- 1. 心臓外科手術に必要な解剖を理解する。
- 2. 心臓外科手術に必要な体外循環法について理解する。
- 3. 心臓外科手術に必要な生理薬理について理解する。

【準備学習】

7/14 (水) 3限

【単元】

心臓手術後 術後管理 合併症

【講義担当者】

有永康一

【学習目標各論】

- 1. 心臓外科手術後の周術期管理、合併症の予防と対策を理解する。
- 2. 心臓外科手術後の周術期管理に必要な薬物について理解する。
- 3. 人工呼吸器のしくみや人工呼吸管理法について理解する。

【準備学習】

7/14 (水) 4限

【単元】

心膜の疾患 心臓腫瘍 肺塞栓症

【講義担当者】

有永康一

【学習目標各論】

1.心膜疾患 心臓腫瘍 肺塞栓症の診断と病態評価について理解する。

2.心膜疾患 心臓腫瘍 肺塞栓症の総合的治療計画と手術適応について理解する。

3.心膜疾患 心臓腫瘍 肺塞栓症の術式の選択と手術療法について理解する

【準備学習】

7/15 (木) 1限

【単元】

胸部大動脈瘤 急性大動脈解離の外科治療

【講義担当者】

新谷悠介

【学習目標各論】

1.胸部大動脈瘤 急性大動脈解離の診断と病態評価について理解する。

2.胸部大動脈瘤 急性大動脈解離の総合的治療計画と手術適応について理解する。

3.胸部大動脈瘤 急性大動脈解離の術式の選択と手術療法(血管内治療を含む)について理解する。

【準備学習】

7/15 (木) 2限

【単元】

血管外科に関連した解剖

【講義担当者】

廣松伸一

【学習目標各論】

1. 血管外科手術に必要な解剖を理解する。

7/15 (木) 3限

【単元】

下肢静脈瘤の病態治療

【講義担当者】

廣松伸一

【学習目標各論】

- 1. 下肢静脈の解剖について理解する。
- 2. 下肢静脈瘤の病態について理解する。
- 3. 下肢静脈瘤の治療法および治療法の変遷について理解する。

【準備学習】

7/15 (木) 4限

【単元】

深部静脈血栓症の診断治療

【講義担当者】

廣松伸一

【学習目標各論】

- 1. 深部静脈血栓症の成因および病態について理解する。
- 2. 深部静脈血栓症の診断治療について理解する。
- 3. 新規経口抗凝固薬(DOAC)について理解する。

【準備学習】

7/16 (金) 3限

【単元】

急性および慢性動脈閉塞症の診断と治療

【講義担当者】

中村英司

【学習目標各論】

- 1. 急性動脈閉塞症と慢性動脈閉塞症の原因について理解する。
- 2. 急性動脈閉塞症の診断治療と合併症(特にMNMS)について理解する。
- 3. 慢性動脈閉塞症の診断治療および閉塞性動脈硬化症と閉塞性血栓血管炎の鑑別について理解する。

【準備学習】

7/16 (金) 4限

【単元】

弁膜症の外科治療

【講義担当者】

高瀬谷徹

【学習目標各論】

- 1.弁膜症の成因、診断と病態評価について理解する。
- 2.弁膜症の総合的治療計画と手術適応について理解する。
- 3.弁膜症の術式の選択と手術療法について理解する。
- 4.大動脈弁狭窄症に対する経力テーテル的大動脈弁置換術の適応と治療を理解する。

【準備学習】

7/20 (火) 3限

【単元】

腹部大動脈瘤の外科治療

【講義担当者】

大塚裕之

【学習目標各論】

- 1.腹部大動脈瘤の診断と病態評価について理解する。
- 2.腹部大動脈瘤の総合的治療計画と手術適応について理解する。
- 3.腹部大動脈瘤の術式の選択と手術療法(血管内治療および開腹法)について理解する。

【準備学習】

7/20 (火) 4限

【単元】

血管外科総論 血管内治療

【講義担当者】

大塚裕之

【学習目標各論】

- 1. 血管疾患の概要を説明できる。
- 2. 血管外科領域における最新の血管内治療を理解する。

7/21 (水) 3限

【単元】

虚血性心疾患の外科治療

【講義担当者】

高木数実

【学習目標各論】

- 1. 虚血性心疾患の診断と病態評価について理解する。
- 2. 虚血性心疾患の総合的治療計画と手術適応について理解する。
- 3. 虚血性心疾患の術式の選択と手術療法について理解する。

7/21 (水) 4限

【単元】

重症心不全に対する外科治療(心移植補助人工心臓)

【講義担当者】

高木数実

【学習目標各論】

- 1.重症心不全の診断と病態評価について理解する。
- 2.重症心不全の総合的治療計画と手術適応について理解する。
- 3.重症心不全に対する補助人工心臓法や心移植法について理解する。

【準備学習】

7/27 (火) 3限

【単元】

先天性心疾患の外科治療(1)

【講義担当者】

庄嶋賢弘

【学習目標各論】

- 1.先天性心疾患の診断と病態評価について理解する。
- 2.先天性心疾患の手術時期を含めた総合的治療計画と手術適応について理解する。
- 3.先天性心疾患の術式の選択と手術療法について理解する。
- 4.先天性心疾患術後の血行動態について理解する 【準備学習】

7/27 (火) 4限

【単元】

先天性心疾患の外科治療(2)

【講義担当者】

財満康之

【学習目標各論】

- 1.先天性心疾患の診断と病態評価について理解する。
- 2.先天性心疾患の手術時期を含めた総合的治療計画と手術適応について理解する。
- 3.先天性心疾患の術式の選択と手術療法について理解する。
- 4.先天性心疾患術後の血行動態について理解する

【準備学習】

試験問題·解答(本試験)

あなたは 学生 アカウント としてログインしています (ログアウト) Home

日本語 (ja)

English (en)

日本語 (ja)

モバイルアプリを取得する

2021 呼吸器·乳腺外科

<u>ダッシュボード</u> / マイコース / <u>2021年度</u> / <u>2021年度・医学科</u> / <u>2学期</u> / <u>3年</u> / <u>2021 呼吸器・乳腺外科</u>

呼吸器·乳腺外科

【統括責任者】

光岡 正浩

【何を学ぶか】

(呼吸器外科)

呼吸器系の構造と機能を理解し、主な呼吸器疾患の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。 外科的治療と周術期管理の基本を学ぶ。

(乳腺外科)

乳房の構造と内分泌依存性の機能を理解し、主な乳房疾患の症候、診断と治療を学ぶ。 外科的治療と周術期管理の基本を学ぶ。

【獲得すべき能力(全体)】

(呼吸器外科)

- 1. 呼吸器外科で扱う主な疾患の定義、治療方針の決め方、手術術式名を正確に述べることができる。
- 2. 基礎医学で学んだ呼吸器の解剖・生理の理解を確認する。

【獲得すべき能力(個別)】

(呼吸器外科)

呼吸不全、低酸素血症と高二酸化炭素血症

①呼吸不全の定義、分類、病態生理と主な病因を説明できる。

腫瘍性疾患

① 原発性肝癌、転移性肝癌の病因、病理所見、症候、診断と治療を説明できる。

(乳腺外科)

診断と検査の基本

- ①乳房腫瘤の画像診断(乳房撮影、超音波検査、磁気共鳴画像法<MRI>)を概説できる。
- ②乳房腫瘤に対する細胞・組織診断法を概説できる。

症候

乳房腫瘤、異常乳汁分泌(血性乳頭分泌)と乳房の腫脹・疼痛・変形をきたす主な病因を列挙できる。

疾患

- (1) 良性乳腺疾患
- ①良性乳腺疾患の種類を列挙できる。
- ②女性化乳房を概説できる。

腫瘍性疾患

①乳癌の危険因子、症候、病理所見、診断、治療と予後を説明できる。

【身に着けてほしい能力】

(呼吸器外科)

教科書的な知識を確実なものとしてCBT試験、臨床実習にスムーズに移行できること。

【評価方法】

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

【問い合わせ】

呼吸器外科;光岡正浩(久留米市旭町67 外科学講座医局(1)、TEL 0942-31-7566, 内線3505, 3506.)

質疑応答掲示板

料目DB

指定・参考図書

英語DB

Aa 用語集

科目評価(新)

10/14 (木) 3限

【講義内容】

乳癌の治療

【講義担当者】

唐 宇飛

【学習目標各論】

乳腺悪性腫瘍の治療法を理解できる。手術療法、薬物療法など

10/14 (木) 4限

【講義内容】

呼吸器の構造と機能、呼吸不全

【講義担当者】

光岡 正浩

【学習目標各論】

- 1.肺の区域、気道・肺血管の構造を理解する。
- 2.呼吸器外科手術において重要な神経の走行・損傷時の合併症について説明できる。
- 3.肺におけるガス交換、呼吸筋運動、酸塩基平衡について説明できる。
- 4.呼吸不全の分類、4つの病態について説明できる。
- 5.換気障害の分類を正確に述べることができる。
- 6.分離肺換気麻酔について説明できる。
- 7.ARDSの定義を理解できる。

10/15 (金) 3限

【講義内容】

原発性肺癌

【講義担当者】

光岡 正浩

【学習目標各論】

- 1.原発性肺癌の主な組織型を挙げることができる。
- 2.肺癌の遠隔転移の好発部位を5臓器挙げることができる。
- 3.非小細胞肺癌の治療方針の決め方が理解できる。
- 4.小細胞肺癌の治療方針の決め方が理解できる。
- 5.肺癌に対する標準術式を正確に説明できる。
- 6.術後合併症の代表疾患名を挙げることができる。

10/15 (金) 4限

【講義内容】

胸膜疾患 (気胸、膿胸、中皮腫など)

【講義担当者】

吉山康一

【学習目標各論】

- 1.気胸の分類、治療方法を説明できる。
- 2.膿胸の分類、治療方法を説明できる。
- 3.悪性胸膜中皮腫の分類、治療方針の概要を説明できる。

10/21 (木) 3限

【講義内容】

胸腔ドレーン(目的・疾患・手技・原理など)

【講義担当者】

吉山 康一

【学習目標各論】

- 1.胸腔ドレーンの目的、原理を説明できる。
- 2.胸腔ドレーン挿入手技の手順を説明できる。
- 3.術後胸腔ドレーンで観察すべきポイントを理解できる。

10/21 (木) 4限

【講義内容】

乳腺の構造と機能、乳腺疾患の診察、診断法

【講義担当者】

山口 美樹

【学習目標各論】

- 1.乳房の解剖を理解できる。
- 2.成長発達に伴う乳房の変化を説明できる。
- 3.乳房を診察できる。

10/22 (金) 3限

【講義内容】

良性の乳腺腫瘍、乳腺炎、乳癌

【講義担当者】

山口 美樹

【学習目標各論】

- 1.乳房の検査法を理解できる。
- 2.乳腺良性疾患の診断と治療法を理解できる。
- 3.乳腺良悪性腫瘍の診断法と鑑別法を理解できる。

10/22 (金) 4限

【講義内容】

転移性肺腫瘍

【講義担当者】

樫原 正樹

【学習目標各論】

- 1.転移性肺腫瘍の病態を説明できる。
- 2.主な原発疾患に対する転移性肺腫瘍の手術適応について理解できる。
- 3.転移性肺腫瘍に対する外科治療について説明できる。

10/25 (月) 3限

【講義内容】

縦隔疾患 (縦隔腫瘍、重症筋無力症など)

【講義担当者】

樫原 正樹

【学習目標各論】

- 1.縦隔の胸部X線側面像による解剖区分と好発腫瘍を理解できる。
- 2.胸腺腫に合併しやすい疾患名を挙げることができる。
- 3.重症筋無力症に対する胸腺摘出手術の意義につて説明ができる。
- 4.各種縦隔腫瘍と腫瘍マーカーの組み合わせを述べることができる。

10/25 (月) 4限

【講義内容】

呼吸器インターベンション

【講義担当者】

光岡 正浩

【学習目標各論】

- 1.呼吸器インターベンションとは何かを説明できる。
- 2.気道ステントの種類を挙げることができる。
- 3.肺癌治療における呼吸器インターベンション治療の役割が説明できる。

10/26 (火) 3限

【単元】

肺癌の病理像

【講義担当者】

橋口 俊洋

【学習目標各論】

腺癌、扁平上皮癌、大細胞癌、小細胞癌の典型的な病理像を説明できる。

【準備学習】

2年生の病理講義の肺癌の内容を復習しておくこと。

試験問題・解答(本試験)

あなたは 学生 アカウント としてログインしています (ログアウト) Home

日本語 (ja)

English (en)

日本語 (ja)

モバイルアプリを取得する

2021 消化器外科

<u>ダッシュボード</u> / マイコース / 2021年度 / 2021年度・医学科 / 1学期 / 3年 / 2021 消化器外科

消化器外科

【統括責任者】

赤木 由人

【何を学ぶか】

消化器系の正常構造と機能を理解し、主な消化器系疾患の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。 外科的治療と周術期管理の基本を学ぶ 患者の問診および身体診察をおこなう。

カンファランスでプレゼンテーションができる。

輸血

【獲得すべき能力(全体)】

(消化器外科)

- 1. 消化器外科であつかう疾患の病因、病態生理、症候、診断と治療を学び理解する。
- 2. 消化器外科治療と周術期管理の基本を学ぶ。

(肝胆膵外科)

- 1. 肝胆領域の疾患の病因、病態生理、症候、診断と治療を学び理解する。
- 2. 消化器外科治療と周術期管理の基本を学ぶ。

【獲得すべき能力(個別)】

外科的治療

- 1. 清潔の概念と必要性を説明できる。
- 2. 手洗いの意味と手技を説明できる。
- 3. ガウンテクニックの必要性と手技を説明できる。
- 4. 創傷治癒のメカニズムを説明できる。
- 5. 消毒の意味と方法を説明でき、被覆材の種類と適応、効果を説明できる。
- 6. 外科的治療の適応と合併症を説明できる。

周術期管理

- 1. 手術の危険因子を列挙し、その対応の基本を説明できる。
- 2. 基本的バイタルサイン(体温、呼吸、脈拍、血圧)の意義とモニターの方法を説明できる。
- 3. 主な術後合併症を列挙し、その予防の基本を説明できる。
- 4. 手術に関するインフォームド・コンセントの注意点を列挙できる。
- 5. 周術期管理における事前のリスク評価を説明できる。
- 6. 周術期における主な薬剤の服薬管理(継続、中止等)の必要性とそれに伴うリスクの基本を説明できる。
- 7. 周術期管理における輸液・輸血の基本を説明できる。
- 8. 術後痛の管理を説明できる。
- 9. 術後回復室の役割を概説できる。
- 10. 集中治療室の役割を概説できる。

食道疾患

- 1. 食道を含めた解剖を理解する。
- 2. 食道の良性疾患(アカラシア、食道裂孔ヘルニア)の診断と治療を説明できる。
- 3. 食道破裂の診断と治療を説明できる。

胃・十二指腸疾患

- 1. 胃潰瘍、十二指腸潰瘍 (消化性潰瘍) の病因、症候、進行度分類、診断と治療を説明できる。
- 2. 胃切除後症候群の病態生理を説明できる。

小腸・大腸疾患

- 1. 急性虫垂炎の症候、診断と治療を説明できる。
- 2. 腸閉塞とイレウスの病因、症候、診断と治療を説明できる。
- 3. 炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎・Crohn病)の病態生理、症候、診断と治療を説明できる。
- 4. 痔核と痔瘻の病態生理、症候と診断を説明できる。

肝臓疾患

- 1. 肝臓の機能・解剖を理解して説明できる
- 2. 肝機能検査を理解する
- 3. 肝疾患の画像診断ができる
- 4. 肝移植の適応を説明できる

膵臓疾患

- 1. 膵臓の機能・解剖を理解して説明できる。
- 2. 慢性膵炎 (膵石) の原因、症候、診断と治療を説明できる。

胆道疾患

- 1. 胆石症の病因、症候、診断と治療を説明できる。
- 2. 嚢炎と胆管炎の病因、病態生理、症候、診断、合併症と治療を説明できる。
- 3. 胆嚢ポリープ、胆嚢腺筋腫症について説明できる。
- 4. 閉塞性黄疸の原因、症候、診断と治療を説明できる。

腫瘍性疾患

- 1. 食道癌の症候、診断、治療と予後を説明できる。
- 2. 胃癌の進行度に応じた治療を概説できる。
- 3. 大腸癌の症候、診断、治療を説明できる。
- 4. 胆嚢・胆管癌の診断および治療について説明できる。
- 5. 原発性肝癌、転移性肝癌の診断および治療について説明できる。
- 6. 膵癌、膵神経内分泌腫瘍および膵嚢胞性腫瘍の診断、治療について説明できる。

【身に着けてほしい能力】

教科書的な知識を学び、実習に必要な考え方の基本を体得すること。

【評価方法】

「消化器外科」セクションの試験点数を主として評価し、講義受講態度を参考に加える。

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

【問い合わせ】

消化器外科:赤木由人(久留米市旭町67外科学講座(1) TEL:0942-31-7566 内線:3506



➡ 科目DB

指定・参考図書

英語DB

Aa 用語集

科目評価(新)

6/25 (金) 3限

【講義内容】

腹部一般外科・術後外科代謝

【講義担当者】

石橋 生哉

【学習目標各論】

- 1. 外科的侵襲とは何かを理解する
- 2. 周術期の生体の代謝変化について理解する
- 3. 周術期代謝変動に関与する物質を知る
- 4. 外科的侵襲を制御するための方策を理解する

【準備学習】

標準外科学 第15版

Schwartz's Principles of Surgery 10th edition

上記成書にて事前学習

6/25 (金) 4限

【講義内容】

肝移植

【講義担当者】

久下 亨

【学習目標各論】

- 1. 臓器移植の現状を理解する
- 2. 肝移植適応疾患について述べることができる
- 3. 肝移植の術後合併症、成績を理解する

【準備学習】

6/25 (金) 7限

【講義内容】

胃・十二指腸疾患の外科的治療(良性)

【講義担当者】

磯邉 太郎

【学習目標各論】

- 1. 外科治療を要する胃良性疾患を挙げることができる
- 2. 各疾患の診断・治療法について説明できる

【準備学習】

6/29 (火) 3限

【講義内容】

下部消化管の外科的治療(良性疾患)

【講義担当者】

溝部 智亮

【学習目標各論】

- 1. 下部消化管の良性疾患外科治療について理解する
- 2. 急性腹症(急性虫垂炎、腸閉塞)などの症候、診断、治療を説明できる
- 3. 炎症性腸疾患の手術適応、術式を説明できる
- 4. 痔核と痔瘻の病態生理・症候・診断・治療を説明できる

【準備学習】

指定教科書:標準外科学第14版に記載されている内容を把握しておくこと。

講義後は配布資料を含めて教科書とともに講義内容を整理すること

6/29 (火) 4限

【講義内容】

下部消化管の外科的治療(悪性疾患)

【講義担当者】

溝部 智亮

【学習目標各論】

- 1. 大腸癌の外科治療について理解する
- 2. 大腸癌の症候・診断・治療を説明できる
- 3. 大腸癌の手術適応・術式・合併症を説明できる

【準備学習】

指定教科書:標準外科学第14版に記載されている内容を把握しておくこと。

講義後は配布資料を含めて教科書とともに講義内容を整理すること。

6/29 (火) 7限

【講義内容】

悪性食道疾患の外科治療

【講義担当者】

日野 東洋

【学習目標各論】

- 1. 食道を含めた縦隔の解剖が理解できる
- 2. 食道癌の主な組織型を挙げることができる
- 3. 食道癌の手術適応を挙げることができる
- 4. 食道癌の手術方法を説明できる
- 5. 食道癌手術の術後合併症について説明できる

【準備学習】

6/30 (水) 5限

【講義内容】

良性食道疾患の外科治療

【講義担当者】

森 直樹

【学習目標各論】

- 1. 外科治療を要する食道良性疾患を挙げることができる
- 2. 各疾患の症状や診断・治療法 (手術方法) について説明できる

【準備学習】

6/30 (水) 6限

【講義内容】

転移性肝癌ならびに脾疾患の外科治療

【講義担当者】

久下 亨

【学習目標各論】

- 1. 転移性肝癌の病態・治療法について述べることができる
- 2. 脾臓疾患の手術を理解できる

【準備学習】

7/1 (木) 3限

【講義内容】

原発性肝腫瘍の外科治療

【講義担当者】

酒井 久宗

【学習目標各論】

- 1. 肝臓解剖を理解する
- 2. 原発性肝腫瘍の病態、治療法について述べることができる
- 3. 原発性肝癌手術の合併症、予後について述べることができる

【準備学習】

7/1 (木) 4限

【講義内容】

胃・十二指腸疾患の外科的治療(悪性)

【講義担当者】

村上 直孝

【学習目標各論】

【準備学習】

7/2 (金) 1限

【講義内容】

胆道の外科的疾患

【講義担当者】

久下 亨

【学習目標各論】

- 1. 胆道解剖を熟知する
- 2. 胆道疾患の病態、治療法について述べることができる
- 3. 胆道疾患手術の合併症、予後について述べることができる

【準備学習】

7/2 (金) 2限

【講義内容】

膵臓の外科的治療

【講義担当者】

久下 亨

【学習目標各論】

- 1. 膵臓の解剖を熟知する
- 2. 膵臓疾患の病態・治療法について述べることができる
- 3. 膵臓疾患手術の合併症・予後について述べることができる

【準備学習】

試験問題・解答(本試験)

あなたは 学生 アカウント としてログインしています (ログアウト) Home

日本語 (ja)

English (en)

日本語 (ja)

モバイルアプリを取得する

2021 小児外科

<u>ダッシュボード</u> / マイコース / <u>2021年度</u> / <u>2021年度・医学科</u> / <u>2学期</u> / <u>3年</u> / <u>2021 小児外科</u>

小児外科

【統括責任者】

後任教授

【何を学ぶか】

- ・胎児・新生児・乳幼児・小児期から思春期にかけての生理的成長・発達とその異常の特徴及び精神・社会的な問題を理解する。
- ・外科的治療と周術期管理の基本を学ぶ。

【獲得すべき能力(全体)】

胎児・新生児・乳幼児・小児期から思春期にかけての小児外科疾患の診断から治療方針を習得する。

【獲得すべき能力(個別)】

医学教育モデル・コア・カリキュラム 平成28年度改訂版

- G 臨床実習
- G-4 診療科臨床実習

必ず経験すべき診療科

<小児科>

G-4-1)-(3) ②疾患の病態や疫学を理解する。

- 1. 小児食道疾患を概説できる。
- 2. 肥厚性幽門狭窄症を概説できる。
- 3. 下部消化管の主な先天性疾患(鎖肛、Hirschsprung(ヒルシュシュプルング)病)を概説できる。
- 4. <u>胆道閉鎖症</u>、<u>先天性胆道拡張症</u>と膵・胆管合流異常症を概説できる。
- 5. ヘルニアの概念(滑脱、嵌頓、絞扼性) と好発部位を説明できる。
- 6. 鼠径ヘルニアの病因、診断と治療を説明できる。
- 7. <u>停留精巣</u>を概説できる。
- 8. 小児固形性腫瘍を概説できる。
- 9. 小児救急疾患の診断と治療について概説できる。
- 10.先天性横隔膜異常、腹壁異常について概説できる。
- 11.小児嚢胞性肺疾患について概説できる。

【身に着けてほしい能力】

胎児・新生児・乳幼児・小児期から思春期にかけての小児外科疾患の診断から治療方針を習得する。

【評価方法】

筆記試験にて行う。

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

【問い合わせ】

- 1. evo_5@med.kurume-u.ac.jp (小児外科 石井信二のメールアドレス)
- 2.0942-31-7631 (内線 5232)
- 3. 小児外科医局(病院北館5F)

恒 <u>質疑応答掲示板</u>

科目DB

指定・参考図書

英語DB



10/12 (火) 3限

【単元】

小児の小腸、下部消化管疾患(石井)

【講義担当者】

石井 信二

【学習目標各論】

1. 小児小腸疾患(腸閉鎖症・腸回転異常)について理解する。

【資料】

当日配布資料

指定教科書:標準小児外科学第7版に準拠した講義資料

【準備学習】

事前に関連する項目を参考図書で精読すること。 講義後は配付資料を用いて講義内容を整理すること。

10/12 (火) 4限

【単元】

小児の小腸、下部消化管疾患(石井)

【講義担当者】

石井 信二

【学習目標各論】

1. 小児下部消化管疾患(ヒルシュスプルング病・鎖肛)について理解する。

【資料】

当日配布資料

指定教科書:標準小児外科学第6(7)版に準拠した講義資料

【準備学習】

事前に関連する項目を参考図書で精読すること。 講義後は配付資料を用いて講義内容を整理すること。

10/12 (火) 7限

【単元】

小児肝胆道疾患 (深堀)

【講義担当者】

深堀 優

【学習目標各論】

1. <u>胆道閉鎖症・先天性胆道拡張症</u>について理解する。

【資料】

当日配布資料

指定教科書:標準小児外科学第6(7)版

【準備学習】

事前に関連する項目を参考図書で精読すること。 講義後は配付資料を用いて講義内容を整理すること。

10/13 (水) 3限

【単元】

小児救急疾患の診断と治療 I (浅桐)

【講義担当者】

浅桐 公男

【学習目標各論】

1. 外科的小児救急疾患について理解する。

【資料】

当日配布資料

指定教科書:標準小児外科学第7版

【準備学習】

事前に関連する項目を参考図書で精読すること。 講義後は配付資料を用いて講義内容を整理すること。

10/13 (水) 4限

【単元】

小児救急疾患の診断と治療Ⅱ (浅桐)

【講義担当者】

浅桐 公男

【学習目標各論】

1. 外科的小児救急疾患について理解する。

【資料】

当日配布資料

指定教科書:標準小児外科学第7版

【準備学習】

事前に関連する項目を参考図書で精読すること。 講義後は配付資料を用いて講義内容を整理すること。

10/18 (月) 3限

【単元】

小児固形性腫瘍 I (小児腫瘍総論、<u>神経芽腫</u>) (深堀)

【講義担当者】

深堀 優

【学習目標各論】

1. 小児固形腫瘍(総論)について理解する。

【資料】

当日配布資料

指定教科書:標準小児外科学第7版に準拠した講義資料

【準備学習】

事前に関連する項目を参考図書で精読すること。 講義後は配付資料を用いて講義内容を整理すること。

10/18 (月) 4限

【単元】

小児固形性腫瘍 I (小児腫瘍総論、<u>神経芽腫</u>) (深堀)

【講義担当者】

深堀 優

【学習目標各論】

1. 小児固形腫瘍 (<u>神経芽腫</u>) について理解する。

【資料】

当日配布資料

指定教科書:標準小児外科学第6(7)版に準拠した講義資料

【準備学習】

事前に関連する項目を参考図書で精読すること。 講義後は配付資料を用いて講義内容を整理すること。

10/18 (月) 7限

【単元】

囊胞性肺疾患 (東舘)

【講義担当者】

東舘 成希

【学習目標各論】

1. 小児先天性・後天性嚢胞性肺疾患について理解する。

【資料】

当日配布資料

指定教科書:標準小児外科学第6(7)版に準拠した講義資料

【準備学習】

事前に関連する項目を参考図書で精読すること。 講義後は配付資料を用いて講義内容を整理すること。

10/19 (火) 3限

【単元】

小児固形性腫瘍 I (Wilms腫瘍・<u>肝芽腫</u>・その他の腫瘍) (深堀)

【講義担当者】

深堀 優

【学習目標各論】

1. 小児固形腫瘍(Wilms腫瘍・<u>肝芽腫</u>)について理解する。

【資料】

当日配布資料

指定教科書:標準小児外科学第6(7)版に準拠した講義資料

【準備学習】

事前に関連する項目を参考図書で精読すること。 講義後は配付資料を用いて講義内容を整理すること。

10/19 (火) 4限

【単元】

小児固形性腫瘍 II (Wilms腫瘍・<u>肝芽腫</u>・その他の腫瘍) (深堀)

【講義担当者】

深堀 優

【学習目標各論】

1. 小児固形腫瘍 (<u>横紋筋肉腫・胚細胞腫瘍・リンパ管腫</u>など) について理解する。

【資料】

当日配布資料

指定教科書:標準小児外科学第6(7)版に準拠した講義資料

【準備学習】

事前に関連する項目を参考図書で精読すること。 講義後は配付資料を用いて講義内容を整理すること。

10/19 (火) 7限

【単元】

先天性横隔膜異常、腹壁異常、<u>鼠径</u>ヘルニア、<u>停留精巣</u> <math>I (深堀)

【講義担当者】

深堀 優

【学習目標各論】

1. 小児先天横隔膜異常・腹壁異常について理解する。

【資料】

当日配布資料

指定教科書:標準小児外科学第6(7)版に準拠した講義資料

【準備学習】

事前に関連する項目を参考図書で精読すること。 講義後は配付資料を用いて講義内容を整理すること。

10/20 (水) 3限

【単元】

小児食道疾患 (深堀)

【講義担当者】

深堀 優

【学習目標各論】

1. 小児の食道疾患について理解する。

【資料】

当日配布資料

指定教科書:標準小児外科学第7版

【準備学習】

事前に関連する項目を参考図書で精読すること。 講義後は配付資料を用いて講義内容を整理すること。

10/20 (水) 4限

【単元】

小児食道疾患 (深堀)

【講義担当者】

深堀 優

【学習目標各論】

1. 小児の食道疾患について理解する。

【資料】

当日配布資料

指定教科書:標準小児外科学第7版

【準備学習】

事前に関連する項目を参考図書で精読すること。 講義後は配付資料を用いて講義内容を整理すること。

10/20 (水) 7限

【単元】

先天性横隔膜異常、腹壁異常、<u>鼠径ヘルニア</u>、<u>停留精巣</u> II (深堀)

【講義担当者】

深堀 優

【学習目標各論】

1. 小児鼠径ヘル二ア・停留精巣・臍ヘル二アについて理解する。

【資料】

当日配布資料

指定教科書:標準小児外科学第6(7)版に準拠した講義資料

【準備学習】

事前に関連する項目を参考図書で精読すること。 講義後は配付資料を用いて講義内容を整理すること。

試験問題・解答(本試験)

あなたは 学生 アカウント としてログインしています (ログアウト) Home

日本語 (ja)

English (en)

日本語 (ja)

モバイルアプリを取得する

2021 脳神経外科

<u>ダッシュボード</u> / マイコース / <u>2021年度</u> / <u>2021年度・医学科</u> / <u>2学期</u> / <u>3年</u> / <u>2021 脳神経外科</u>

脳神経外科学

【統括責任者】

森岡 基浩

【何を学ぶか】

主な脳神経外科疾患の病因、病態、症候、診断、治療を学ぶ。

【獲得すべき能力(全体)】

医師として必要な脳神経外科学の知識を習得する。

【獲得すべき能力(個別)】

対象患者の病歴・現症・検査所見を総合的に評価して診断を確定し、さらに治療へと結びつけるまでの論理的な考え方を習得する。 医学教育モデル・コア・カリキュラム 平成28年度改訂版(脳神経外科) 参照

【身に着けてほしい能力】

講義は基本的知識や病態の考え方を教えるのみで、自己学習による補完を必要とする。参考図書などを用いて講義内容をさらに発展させ、関連する情報を重要性と必要性に従って客観的かつ批判的に統合整理する能力を習得してほしい。

【評価方法】

出席状況、授業および学習態度、各科試験の結果を総合的に評価する。

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

【問い合わせ先】

脳神経外科学講座医局(内線3579)

- **恒** 質疑応答掲示板
- ➡ 科目DB
- 指定・参考図書
- 英語DB
- Aa 用語集
- 科目評価(新)
- 医学教育モデル・コア・カリキュラム 平成28年度改訂版(脳神経外科)

1/4 (火) 1限

【単元】

#1 総論6-1脳神経外科学総論/頭蓋内圧亢進と脳ヘルニア

【講義担当者】

森岡基浩

【学習目標各論】

頭蓋内圧平衡のメカニズム、脳ヘルニアの原因、病態、兆候を理解する

【準備学習】

病気がみえる:神経系の構造と機能、脳血管障害に関わる病態

標準脳神経外科学:総論第1-5章

1/4 (火) 2限

【単元】

#2 総論6-2脳血管障害と脳循環/脳血管障害総論

【講義担当者】

広畑優

【学習目標各論】

脳血管解剖および循環代謝を理解する。

脳血管障害の分類・基本病態について理解する。

【準備学習】

病気がみえる:脳循環と脳血管障害、脳静脈・髄液循環とその障害

標準脳神経外科:総論第2章、各論第7章

1/5 (水) 1限

【単元】

総論 6 - 3 中枢神経組織と<u>脳腫瘍</u>病理/<u>脳腫瘍</u>総論

【講義担当者】

中村英夫

【学習目標各論】

中枢神経系を構成する細胞・組織を理解する。 脳腫瘍の病理分類・基本的病態について理解する。

【準備学習】

病気がみえる:神経系の構造と機能、神経・筋の異常(脳腫瘍~)

1/5 (水) 2限

【単元】

脳卒中7-1出血性脳血管障害

【講義担当者】

下川 尚子

【学習目標各論】

脳内出血・脳動静脈奇形を理解する。

【準備学習】

病気がみえる:脳動脈と脳血管障害(脳出血/脳動静脈奇形~)

標準脳神経外科学:各論第7章

1/6 (木) 1限

【単元】

<u>脳腫瘍</u>6-2<u>下垂体</u>腺腫 ・<u>頭蓋咽頭腫</u>

【講義担当者】

坂田清彦

【学習

<u>下垂体</u>腺腫 ・<u>頭蓋咽頭腫</u> を理解する

目標各論】

【準備学習】

病気がみえる:神経・筋の異常($\underline{r垂体}$ 腺腫/<u>頭蓋咽頭腫</u>~)標準<u>脳神経</u>外科学:各論第6章

1/6 (木) 2限

【単元】

各論5-1中枢神経奇形

【講義担当者】 服部剛典 【学習目標各論】 頭蓋縫合早期癒合症を理解する。 二分脊椎・二分頭蓋を理解する。 【準備学習】 病気がみえる:神経・筋の異常(先天奇形~) 標準脳神経外科学:各論第9章 1/7 (金) 1限 【単元】 脳卒中7-2<u>くも膜下出血</u>と脳動脈瘤 【講義担当者】 折戸公彦 【学習目標各論】 <u>くも膜下出血</u>と脳動脈瘤を理解する。 【準備学習】 病気がみえる:脳動脈瘤と脳血管障害(脳動脈瘤・
 くも膜下出血~) 標準脳神経外科学:各論第7章 1/7 (金) 2限 【単元】 脳卒中7-5もやもや病 【講義担当者】 森岡基浩

【学習目標各論】

【準備学習】

もやもや病を理解する

病気がみえる:脳動脈と脳血管障害(もやもや病~)

標準脳神経外科学:各論第7章

1/11 (火) 5限

【単元】

総論6-5意識障害

【講義担当者】

竹内靖治

【学習目標各論】

意識障害のメカニズムを理解する。 意識障害の分類・評価法を理解する。

【準備学習】

病気がみえる:症候と検査

標準脳神経外科学:総論第5章

1/11 (火) 6限

【単元】

総論 6 - 6 <u>脳神経</u>外科の画像検査

【講義担当者】

竹内靖治

【学習目標各論】

脳神経外科の臨床で行う神経放射線学的検査を理解する。

【準備学習】

病気がみえる:症候と検査

標準<u>脳神経</u>外科学:総論第4章

1/12 (水) 5限

【単元】

総論6-4脳脊髄液循環/水頭症総論

```
【講義担当者】
  下川尚子
  【学習目標各論】
  髄液の循環生理、水頭症を理解する。
  【準備学習】
  病気がみえる:脳静脈・髄液循環とその障害
  標準脳神経外科学:各論第10章
1/12 (水) 6限
  【単元】
  脳腫瘍6-6神経皮膚症候群
  【講義担当者】
  坂田清彦
  【学習目標各論】
  神経皮膚症候群を理解する。
  【準備学習】
  病気がみえる:神経・筋の異常(母斑症/結節性硬化症/神経線維腫症/Sturge-Weber症候群/von Hippel-Lindau病/血管芽腫
  標準脳神経外科学:各論第6章、9章
1/12 (水) 7限
  【単元】
  脳卒中7-3虚血性脳血管障害
  【講義担当者】
  折戸公彦
  【学習目標各論】
  脳梗塞を理解する。
```

【準備学習】

病気がみえる:脳動脈と脳血管障害(脳梗塞~)

標準脳神経外科学:各論第7章

1/13 (木) 5限

【単元】

特別講義 2 – 1

【講義担当者】

竹島秀雄(宮崎大学医学部臨床神経科学講座<u>脳神経</u>外科学分野教授)

【学習目標各論】

未定

【準備学習】

1/13 (木) 6限

【単元】

脳膿瘍とてんかん外科

【講義担当者】

音琴 哲也

【学習目標各論】

脳膿瘍とてんかん外科を理解する。

【準備学習】

病気がみえる:神経・筋の異常(脳膿瘍/てんかん~)

標準<u>脳神経</u>外科学:各論第11章、14章

1/14 (金) 5限

【単元】

脳卒中7-6特殊な脳血管障害

【講義担当者】

森岡基浩

【学習目標各論】

【準備学習】

病気がみえる:脳静脈・髄液循環とその障害(内頸動脈-海綿静脈洞瘻~)

標準脳神経外科学:各論第7章

1/14 (金) 6限

【単元】

<u>脳腫瘍</u>6-3神経膠腫

【講義担当者】

中村英夫

【学習目標各論】

神経膠腫を理解する。

【準備学習】

病気がみえる:神経・筋の異常(神経膠腫~)

標準脳神経外科学:各論第6章

1/17 (月) 1限

【単元】

外傷2-1頭部外傷の総論・びまん性脳損傷

【講義担当者】

森岡基浩

【学習目標各論】

頭部外傷の疫学、分類を理解する。 頭蓋骨骨折・脳震盪・びまん性脳損傷を理解する。

【準備学習】

病気がみえる:神経・筋の異常(頭部外傷/頭蓋骨骨折)

標準<u>脳神経</u>外科学:各論第8章

```
1/17 (月) 2限
```

【単元】

<u>脳腫瘍</u>6-4小児の<u>脳腫瘍</u>

【講義担当者】

中村英夫

【学習目標各論】

小児<u>脳腫瘍</u>の特徴を理解する。 <u>髄芽腫</u>・胚細胞腫を理解する。

【準備学習】

病気がみえる:神経・筋の異常(<u>髄芽腫</u>・胚細胞腫)標準<u>脳神経</u>外科学:各論第6章

1/18 (火) 1限

【単元】

脳卒中7-7脳血管内手術の実際

【講義担当者】

広畑優

【学習目標各論】

脳血管内手術を理解する。

【準備学習】

病気がみえる:脳動脈と脳血管障害(頸動脈ステント留置術/動脈瘤コイル塞栓術~)

標準脳神経外科学:各論第7章

1/18 (火) 2限

【単元】

外傷2-2頭部外傷の各論・局所性損傷

【講義担当者】

森岡基浩

【学習目標各論】

脳挫傷・急性<u>硬膜</u>下血腫・<u>急性硬膜外血腫</u>・<u>慢性硬膜下血腫</u>を理解する。

【準備学習】

病気がみえる:神経・筋の異常(急性頭蓋内血腫/慢性硬膜下血腫)

標準脳神経外科学:各論第8章

1/19 (水) 1限

【単元】

脳腫瘍6-1髄膜腫と聴神経鞘腫

【講義担当者】

坂田清彦

【学習目標各論】

<u>髄膜腫</u>・聴<u>神経鞘腫</u>を理解する

【準備学習】

病気がみえる:神経・筋の異常(髄膜腫/神経鞘腫~)

標準脳神経外科学:各論第6章

1/19 (水) 2限

【単元】

各論5-2頭蓋頸椎移行部/脊椎疾患

【講義担当者】

服部剛典

【学習目標各論】

Chiari奇形・Dandy–Waker症候群を理解する。 頭蓋頸椎移行部〜上位頸椎疾患を理解する。

【準備学習】

病気がみえる:神経・筋の異常 (Chiari奇形~)

標準脳神経外科学:各論第9章、第12章

1/20 (木) 5限

【単元】

脳腫瘍6-5悪性リンパ腫と転移性脳腫瘍

【講義担当者】

小牧哲

【学習目標各論】

中枢神経系悪性リンパ腫と転移性<u>脳腫瘍</u>を理解する。

【準備学習】

病気がみえる:神経・筋の異常(悪性リンパ腫/転移性腫瘍)

標準脳神経外科:各論第6章

1/20 (木) 6限

【単元】

脳卒中7-4一過性脳虚血発作と頸動脈狭窄

【講義担当者】

折戸公彦

【学習目標各論】

一過性脳虚血発作と頸動脈狭窄を理解する。

【準備学習】

病気がみえる:脳動脈と脳血管障害(一過性脳虚血発作)

標準脳神経外科学:各論第7章

1/20 (木) 7限

【単元】

特別講義 2 – 2

【講義担当者】

武笠晃丈(熊本大学大学院生命科学研究部<u>脳神経</u>外科学分野

【学習目標各論】

【準備学習】

1/21 (金) 1限

【単元】

機能的<u>脳神経</u>外科:<u>顔面</u>けいれん、<u>三叉神経痛</u>、パーキンソン病、認知症も治る?!

【講義担当者】

森岡基浩

【学習目標各論】

三叉神経痛と機能的脳神経外科を理解する。

【準備学習】

病気がみえる:運動・感覚・自律神経(<u>脳神経</u>/<u>三叉神経痛</u>~)

標準脳神経外科学:各論第11章

1/21 (金) 2限

【単元】

神経細胞の基本と臓器移植

【講義担当者】

森岡基浩

【学習目標各論】

脳死後移植についてなど

【準備学習】

病気がみえる:運動・感覚・自律神経(片側<u>顔面</u>けいれん~)

標準脳神経外科学:各論第11章

試験問題 · 解答 (本試験)

あなたは 学生 アカウント としてログインしています (ログアウト) Home

日本語 (ja)

English (en)

日本語 (ja)

モバイルアプリを取得する

2021 耳鼻咽喉科

<u>ダッシュボード</u> / マイコース / <u>2021年度</u> / <u>2021年度・医学科</u> / <u>2学期</u> / <u>3年</u> / <u>2021 耳鼻咽喉科</u>

耳鼻咽喉科

【統括責任者】

梅野 博仁

【何を学ぶか】

耳鼻・咽喉・口腔の構造と機能を理解し、耳鼻・咽喉・口腔系疾患の症候、病態、診断と治療を理解する。

【獲得すべき能力(全体)】

日常生活を行っていく上で必要な聴覚,平衡覚,嗅覚,味覚などの種々の感覚を司る臓器(耳,鼻,鼻腔,口腔<u>咽頭</u>)の構造と機能を十分に習得し,機能異常の背景にある疾患の診断と治療を説明できることが求められる。音声,言語,嚥下,呼吸などに重要な役割を果たす口腔,咽頭,喉頭の構造と機能を理解し,これらの部位に発生する炎症・腫瘍性疾患の診断と治療へ適用することが必要である。歯や顎関節の構造と役割,齲歯と全身疾患との関連や,その発生機構についても理解する。頭頸部領域の創傷治癒と組織移植についての基本理念を学び,診断から治療への流れを理解することを目標にする。

【獲得すべき能力(個別)】

医学教育モデル・コア・カリキュラム 平成28年度改訂版

D 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療

D-14 耳鼻・咽喉・口腔系

診断と検査の基本

D-14-2) ①聴力検査と平衡機能検査を説明できる。

症候

<耳鼻・咽喉・口腔系に関する主要症候>

D-14-3)-(1) ①気道狭窄、難聴、鼻出血、<u>咽頭</u>痛、開口障害と<u>反回神経麻痺</u>(嗄声)をきたす疾患を列挙し、その病態を説明できる。 〈その他の症候〉

D-14-3)-(2) ①めまい

D-14-3)-(2) ②嚥下障害・誤嚥

<耳鼻・咽喉・口腔系の良性疾患>

- D-14-4)-(1) ①<u>滲出性中耳炎</u>、急性中耳炎と<u>慢性中耳炎</u>の病因、診断と治療を説明できる。
- D-14-4)-(1) ②伝音難聴と感音難聴、迷路性と中枢性難聴を病態から鑑別し、治療を説明できる。
- D-14-4)-(1) ③末梢性めまいと中枢性めまいを鑑別し、治療を説明できる。
- D-14-4)-(1) ④ <u>良性発作性頭位眩暈症</u>の症候、診断と治療を説明できる。
- D-14-4)-(1) ⑤鼻出血の好発部位と止血法を説明できる。
- D-14-4)-(1) ⑥鼻副鼻腔炎(急性、慢性)の病態と治療を説明できる。
- D-14-4)-(1) ⑦アレルギー性鼻炎の発症機構を説明できる。
- D-14-4)-(1) ⑩気管切開の適応を説明できる。
- D-14-4)-(1) ⑪外耳道・鼻腔・<u>咽頭</u>・<u>喉頭</u>・食道の代表的な異物を説明し、除去法を説明できる。

<腫瘍性疾患>

- D-14-4)-(2) ①口腔・<u>咽頭</u>癌について、病因、病期分類、検査所見、画像所見、病理所見、治療法を説明できる。
- D-14-4)-(2) ②<u>喉頭</u>癌について、病因、病期分類、検査所見、画像所見、病理所見、治療法を説明できる。
- ・上顎癌について、病因、病期分類、検査所見、画像所見、病理所見、治療法を説明できる。

【身に着けてほしい能力】

耳鼻咽喉科領域における解剖を理解し、耳、口腔、咽頭、鼻腔の診察方法と急性疾患についての所見と治療法について説明する。

【評価方法】

試験 (multiple choice +記述方式) 90点 出席・その他 10点

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

講義資料は講座で印刷し、当日配布する。

【問い合わせ】

1. jibikalecture@med.kurume-u.ac.jp





指定・参考図書

英語DB



科目評価(新)

1/4 (火) 5限

【単元】

概論・脳神経

【講義担当者】

梅野 博仁

【学習目標各論】

- 1. 耳鼻・咽喉・口腔・<u>喉頭</u>・頭頸部についての概説
- 2. 耳鼻咽喉・頭頸部の診察における脳神経の解剖と機能の理解
- 3. 脳神経麻痺の診断と治療

【準備学習】

第1~12脳神経の名称と作用

顔面神経の走行と麻痺の原因

迷走神経麻痺、反回神経麻痺の症状と原因

1/4 (火) 6限

【単元】

気管・食道

【講義担当者】

梅野 博仁

【学習目標各論】

- 1. 上部気管, 食道を図示し, 解剖学的名称を記入する。
- 2. 気道異物・食道異物の病態生理診断および摘出方法を説明する。
- 3. 高度の呼吸困難に対する緊急処置について説明する。

【準備学習】

気管・気管支、食道の解剖

気管・気管支異物の診断と治療

食道異物の診断と治療

気管切開術の適応と手技

1/4 (火) 7限

【単元】

口腔・<u>咽頭</u>の構造

【講義担当者】

末吉 慎太郎

【学習目標各論】

- 1. 口腔の解剖, ワルダイエル咽頭輪を図示し, 説明する。
- 2. 上・中・下咽頭の解剖学的区分を図示し,説明する。

【準備学習】

口腔・咽頭各部の名称

上・中・下<u>咽頭</u>の役割

> ファイルをここに追加する

1/5 (水) 5限

【単元】

頭頸部の臨床解剖

【講義担当者】

末吉 慎太郎

【学習目標各論】

【準備学習】

1/5 (水) 6限

【単元】

鼻・副鼻腔の構造

【講義担当者】

栗田 卓

【学習目標各論】

- 鼻・副鼻腔の解剖を図示し,説明する。
- 鼻・副鼻腔の機能を説明する。

前鼻鏡・後鼻鏡所見を図示し, 名称を記入する。

鼻・副鼻腔の画像検査(X線, CT, MRI)を説明し, 具体的に示す。

【準備学習】

鼻副鼻腔の解剖を予習する。

鼻副鼻腔の解剖を理解して診察、検査で何を診るのかを復習する。

1/6(木)5限

【単元】

鼻副鼻腔及び中耳の手術解剖

【講義担当者】

三橋 亮太

【学習目標各論】

鼻・副鼻腔および中耳の手術解剖

【準備学習】

- ・副鼻腔の名称
- ・近接する臓器について
- ・ 内耳・中耳 (耳小骨、内耳窓、顔面神経など) の構造と機能について

1/6 (木) 6限

【単元】

鼻疾患

【講義担当者】

佐藤 公宣

【学習目標各論】

- 1. 形態異常や外傷について説明する。
 - 2. アレルギー性鼻炎の診断と治療について説明する。
 - 3. 鼻出血の原因・治療について説明する。
 - 4. 嗅覚障害について説明する。

【準備学習】

症状からどのような鼻疾患があるのか予習する。

それぞれの鼻疾患の症状、診断、治療法を復習する。

1/7(金)5限

【単元】

外耳・中耳・内耳の構造

【講義担当者】

田中 久一郎

【学習目標各論】

- 1. 耳介・外耳道の解剖学的名称を図示し、名称を記入する。
 - 2. <u>鼓膜</u>・耳小骨・蝸牛の断面模式図を図示し、名称を記入する。

- 3. 球形嚢・卵形嚢および三半規管の構造と機能を説明する。
- 4. 体の平衡(前庭脊髄反射)と眼の平衡(前庭眼反射)を説明する。

【準備学習】

外耳、中耳、内耳の解剖について予習する。

1/7(金)6限

【単元】

外耳・中耳疾患

【講義担当者】

深堀 光緒子

【学習目標各論】

耳介・外耳道の疾患を説明する。

中耳の疾患,特に中耳炎について説明する。

慢性中耳炎, 真珠腫性中耳炎に対する手術的治療を説明する。

外側半規管瘻孔, 顔面神経麻痺, 錐体炎, 頭蓋内合併症について説明する。

【準備学習】

予習:外耳・中耳・内耳の解剖について(名称・機能)

中耳炎に対する手術について

中耳炎の合併症について

ファイルをここに追加する

1/7(金) 7限

【単元】

内耳疾患

【講義担当者】

深堀 光緒子

【学習目標各論】

- 1. めまいを来す基礎疾患を挙げ、その簡単な鑑別法を説明する。
- 2. メニエール氏病の診断基準,病態を説明する。
- 3. 迷路性と中枢性の平衡失調の鑑別法を説明する。

【準備学習】

めまいをきたす疾患を予習する。

めまいをきたす疾患の鑑別と治療法を復習する。

1/11(火)1限

【単元】

聴覚と検査

【講義担当者】

三橋 亮太

【学習目標各論】

- 1. 外来でルーティンに行われる耳疾患のX線撮影法を挙げ,解剖学的に重要な部位を指示する。
- 2. 純音聴力検査のやり方を説明する。
- 3. 自記オージオ,語音聴力,音叉,他覚的聴力検査について簡単に説明する。
- 4. 伝音系難聴, 感音系難聴, 混合性難聴のオージオグラムを図示し, 鑑別について簡単に説明する。

【準備学習】

予習:聴力検査について参考図書を読む。

伝音難聴・感音難聴混合難聴をきたす疾患について予習する。

1/11(火)2限

【単元】

難聴の診断と治療

【講義担当者】

三橋 亮太

【学習目標各論】

- 1. 聴覚の伝音機構,感音機構を説明する。
- 2. 伝音難聴と感音難聴を来たす疾患を列挙し、その原因、病態、検査法を述べる。
- 3. 人工内耳,補聴器について説明する。

【準備学習】

中耳伝音系について予習する。

内耳の解剖と機能について予習する。

聴力検査に関して復習しておく。

1/12(水)1限

【単元】

口腔疾患

【講義担当者】

小野 剛治

【学習目標各論】

口腔に発生する先天性疾患、炎症性疾患について説明する。

口腔の悪性腫瘍とくに舌癌の好発部位,症状,治療方針について説明する。

【準備学習】

- 1. 口腔内の炎症疾患の特徴、治療を学習する。
- 2. 舌癌の特徴を理解し、治療方針につき学習する。

1/12(水)2限

【単元】

咽頭疾患 (良性)

【講義担当者】

小野 剛治

【学習目標各論】

- 1. アデノイドの病態,手術の適応と時期について説明する。
- 2. 扁桃摘出術の適応について説明する。
- 3. 上咽頭の良性腫瘍について説明する。
- 4. 上・中・下咽頭悪性腫瘍の診断と治療法について説明する。

【準備学習】

良性疾患の手術適応

腫瘍発生の原因

領域別の治療法

> ファイルをここに追加する

1/13(木)1限

【単元】

咽頭疾患 (悪性)

【講義担当者】

千年 俊一

【学習目標各論】

アデノイドの病態, 手術の適応と時期について説明する。

扁桃摘出術の適応について説明する。

上咽頭の良性腫瘍について説明する。

上・中・下<u>咽頭</u>悪性腫瘍の診断と治療法について説明する。

【準備学習】

良性疾患の手術適応

腫瘍発生の原因

領域別の治療法

1/13(木)2限

【単元】

<u>喉頭</u>の構造,生理機能

【講義担当者】

千年 俊一

【学習目標各論】

- 1 . <u>喉頭</u>の前額断,矢状断面の模式図を書き,名称を記入する。
- 2. 内<u>喉頭</u>筋の種類とその神経支配を挙げ、その生理機能を説明する。
- 3. <u>喉頭</u>に対する検査法について説明する。

【準備学習】

<u>喉頭</u>各部の名称

<u>喉頭</u>の役割と機能

<u> 喉頭</u>機能を評価するための検査法

🍞 ファイルをここに追加する

1/14(金) 1限

【単元】

<u>喉頭</u>疾患 (良性)

【講義担当者】

梅野 博仁

【学習目標各論】

- 1. <u>喉頭</u>の良性疾患について説明する。
- 2. <u>喉頭</u>外傷のプライマリーケアについて説明する。

【準備学習】

声帯の良性疾患(ポリープや乳頭腫)の診断と治療

1/14(金) 2限

【単元】

<u>喉頭</u>疾患 (悪性)

【講義担当者】

梅野 博仁

【学習目標各論】

- 1. <u>喉頭</u>癌の診断ができる。
- 2. <u>喉頭</u>癌の治療を説明できる。
- 3. <u>喉頭</u>全摘後の代用発声を説明できる。

【準備学習】

1/18(火)5限

【単元】

頭頸部腫瘍の病理

【講義担当者】

栗田 卓

【学習目標各論】

- 1. 頭頸部に発生する腫瘍を概説し、その由来を説明できる。
- 2 特に頻度の高い扁平上皮癌・唾液腺の多形腺腫やワルチン腫瘍については組織像も説明できる。
- 3. その他の稀な腫瘍も列挙できる。

【準備学習】

予習:頭頸部の解剖について予習する

復習:頭頸部の腫瘍について復習する

1/18(火)6限

【単元】

副鼻腔疾患 (良性)

【講義担当者】

佐藤 公宣

【学習目標各論】

- 1.慢性副鼻腔炎の治療原則を説明する。
- 2.嚢胞性疾患について説明する。
- 3.進行性鼻壊疽について説明する。
- 4.上顎癌の診断、治療および鑑別診断について説明する。

【準備学習】

鼻副鼻腔の解剖について予習する

鼻副鼻腔の疾患について予習する。

上顎癌の診断治療について予習する。

1/18(火) 7限

【単元】

体平衡の生理

【講義担当者】

田中 久一郎

【学習目標各論】

- 1. 前庭、半規管について解剖と機能について説明できる。
- 2. 前庭眼反射、前庭脊髄反射、前庭自律神経反射について説明できる。
- 3. 眼振の定義と方向について説明できる。

【準備学習】

1/19(水)5限

【単元】

平衡機能検査

【講義担当者】

田中 久一郎

【学習目標各論】

- 1. 立直り反射の検査を挙げ、その実施方法を説明する。
- 2. 偏倚現象の検査を挙げ、その実施方法を説明する。
- 3. 眼振検査の種類とその方法を説明する(眼振の記載法)。
- 4. 迷路性と中枢性の平衡失調の鑑別法を説明する。

【準備学習】

平衡機能検査の種類について予習する。 前庭の機能整理を理解して平衡機能検査の意義を復習する。

ファイルをここに追加する

1/19(水)6限

【単元】

唾液腺疾患

【講義担当者】

小野 剛治

【学習目標各論】

1. 唾液腺の種類と解剖を図示し名称を記入する。

- 2. 唾液腺腫脹をきたす疾患を挙げ、その鑑別を説明する。
- 3. <u>耳下腺</u>の良性腫瘍と悪性腫瘍の特徴を概説する。

【準備学習】

- 1. 唾液腺の種類そして性質(粘液腺など)を理解する。
- 2. 唾液腺の炎症性疾患について理解する。
- 3. 良性と悪性の特徴を理解する。
- ファイルをここに追加する

1/20(木)1限

【単元】

副鼻腔疾患 (悪性)

【講義担当者】

小野 剛治

【学習目標各論】

- 1. 鼻・副鼻腔疾患について鑑別診断ができる。
- 2. 鼻・副鼻腔悪性疾患の病態を説明できる。
- 3. 鼻・副鼻腔悪性疾患の治療について説明ができる。

【準備学習】

鼻副鼻腔疾患、特に良性疾患と悪性疾患の鑑別、悪性疾患の治療について学習する。

試験問題・解答(本試験)

1/20(木) 2限

【単元】

頸部腫瘤

【講義担当者】

檜垣雄一郎

【学習目標各論】

- 1. 頸部腫瘤を来す疾患を列挙し、それらの鑑別診断を説明する。
- 2. 頸部のリンパ節の区分を図示し、それらの臨床解剖的事項を説明する。
- 3. 甲状腺の腫脹を来す疾患を挙げ、それらの鑑別診断と治療を説明する。
- 4. 頸部郭清術について説明する。

【準備学習】

予習…頸部の解剖を理解しておくこと

あなたは 学生 アカウント としてログインしています (ログアウト) Home

日本語 (ja)

English (en)

日本語 (ja)

モバイルアプリを取得する

2021 形成外科

<u>ダッシュボード</u> / マイコース / <u>2021年度</u> / <u>2021年度・医学科</u> / <u>2学期</u> / <u>3年</u> / <u>2021 形成外科</u>

形成外科

【統括責任者】

清川 兼輔

【何を学ぶか】

創傷治癒の理論とそれに基づいた形成外科的手技を学ぶ。

【獲得すべき能力(全体)】

外科的治療を行うにあたり、清潔の概念を理解し、手技においてそれを実践できる。 形成外科的治療の必要性と理論について説明できる。

【獲得すべき能力(個別)】

- ①創傷治癒のメカニズムを説明できる。
- ②形成外科的治療の適応と合併症について説明できる。
- ③形成外科的手術におけるインフォームド・コンセントの注意点を列挙できる。
- ④形成外科手術後の創処置において注意すべき徴候や術後の創管理における合併症への対策について説明できる。

医学教育モデル・コア・カリキュラム 平成28年度改訂版(形成外科)参照

【身に着けてほしい能力】

<u>創傷治癒</u>の基本的な理論について説明することができる。

組織移植の理論を説明することができる。

【評価方法】

筆記試験(100点)と出席により評価する。

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

試験終了後に解答を掲示する。

それに対して質問がある者には個別に解説の時間を設ける。

【問い合わせ】

形成外科・顎顔面外科学教室(臨床研究棟1階)内線3520

- **算疑応答掲示板**
- 料目DB
- 指定・参考図書
- 英語DB
- Aa 用語集
- 科目評価(新)
- 医学教育モデル・コア・カリキュラム 平成28年度改訂版(形成外科)

1/26(水) 3限

【単元】

創傷治癒:総論

【講義担当者】

力丸 英明

【学習目標各論】

- 1. 創傷の種類について理解する。
- 2. <u>創傷治癒</u>について理解する。
- 3. <u>瘢痕</u>の種類と治療について理解する。

【準備学習】

- 1. <u>創傷治癒</u>に関する図書を読んで予習する。
- 2. 一次治癒、二次治癒、<u>創傷治癒</u>の条件、<u>瘢痕</u>の種類と治療について復習する。

1/26(水) 4限

【単元】

創傷治癒:各論

【講義担当者】

力丸 英明

【学習目標各論】

- 1. 創傷の治療手段として植皮を理解する。
- 2. <u>熱傷</u>、<u>褥瘡</u>の病態、診断、評価、治療について理解する。

【準備学習】

- 1. <u>熱傷、褥瘡</u>の病態について予習する。
- 2. <u>創傷治癒</u>の理論を念頭に<u>熱傷、褥瘡</u>の病態治療を復習する。

1/27(木)5限

【単元】

形成外科的手術手技1

【講義担当者】

守永 圭吾

【学習目標各論】

筋皮弁、マイクロサージャリーの基本・手技について理解する。

【準備学習】

筋皮弁、マイクロサージャリーの利点と適応を調べておく。

1/27(木)6限

【単元】

形成外科的手術手技 2

【講義担当者】

守永 圭吾

【学習目標各論】

皮弁、W・Z形成術、整容的手術の基本手技について理解する。

【準備学習】

- 1. 皮膚の血行形態と皮弁の関係を調べておく。
- 2. 整容の意味と医学における位置づけを復習する。

2/1 (火) 1限

【単元】

顔面外傷 (骨折・軟部組織損傷)

【講義担当者】

清川 兼輔

【学習目標各論】

- 1. 顔面の軟部組織損傷の治療方針について理解する。
- 2. 顔面の骨折部位とその症状について理解する。

【準備学習】

- 1. <u>顔面外傷</u>について図書を読んで予習する。
- 2. 顔面の骨折と軟部組織損傷について理論的に説明できるよう復習する。

2/1 (火) 2限

【単元】

頭頸部・<u>頭蓋底再建</u>

【講義担当者】

清川 兼輔

【学習目標各論】

頭頸部・頭蓋底の組織欠損の機能的、形態的再建について理解する。

【準備学習】

癌や外傷患者の生命予後とQOLに、再建がいかに重要かを復習する。

2/2 (水) 5限

【単元】

協同学習の意義と実践

【講義担当者】

力丸 由起子

【学習目標各論】

<u>創傷治癒</u>の総論・各論の講義内容を用いて、4~5人の小グループによる協同学習の実践を行う。

【準備学習】

創傷治癒の総論・各論の講義を復習しておく。

2/2 (水) 6限

【単元】

難治性創傷の治療

【講義担当者】

井野 康

【学習目標各論】

- 1. 難治性創傷の病態について理解する。
- 2. 難治性創傷の種類と治療について理解する。

【準備学習】

- 1. <u>創傷治癒</u>の総論、各論、形成外科的手技1、2を復習して専門用語の意味を確認する。
- 2. <u>褥瘡</u>や糖尿病性壊疽の病態と治療について復習する。

2/3 (木) 3限

【単元】

四肢・体幹の外傷・再建における形成外科

【講義担当者】

右田 尚

【学習目標各論】

- 1. 四肢の外傷や先天異常にどのような疾患があるのか理解する。
- 2. 体幹の形成外科的治療を要する疾患について理解する。
- 3. 形成外科の治療の考え方、コンセプトを理解する。
- 4. 形成外科の治療に用いる手技について理解する。

【準備学習】

- 1. 四肢や胸部、腹部の解剖と機能について予習および復習する。
- 2. 再建を要する疾患の病態について復習する。

2/3 (木) 4限

【単元】

頭蓋・顎・顔面の先天異常

【講義担当者】

右田 尚

【学習目標各論】

- 1. 唇裂・□蓋裂の病態を知る。
- 2. <u>頭蓋縫合早期癒合症</u>の発生機転について知る。
- 3. 代表的な疾患の顔貌と治療法を理解する(Treacher Collins症候群、Crouzon症候群)

【準備学習】

- 1. 頭蓋・顎・顔面について図書を読んで予習する。
- 2. 治療の目的と方法について復習する。

試験問題・解答(本試験)

あなたは 学生 アカウント としてログインしています (ログアウト) Home

日本語 (ja)

English (en)

日本語 (ja)

モバイルアプリを取得する

2021 口腔外科

<u>ダッシュボード</u> / マイコース / <u>2021年度</u> / <u>2021年度・医学科</u> / <u>2学期</u> / <u>3年</u> / <u>2021口腔外科</u>

口腔外科

【統括責任者】

楠川 仁悟

【何を学ぶか】

口腔の構造と機能を理解し、口腔系疾患の症候、病態、診断と治療を理解する。

【獲得すべき能力(全体)】

口腔・顎領域の構造と機能を理解し、その障害を引き起こす疾患や全身との関連を理解する能力を身につける。

【獲得すべき能力(個別)】

診断と検査の基本

<u>歯</u>や口腔, 顎の検査、味覚検査、<u>咬合</u>検査を説明できる。

症候

口腔系に関する主要症候

開口障害や閉口障害をきたす疾患を列挙し、その病態を説明できる。

疾患

口腔系の良性疾患

- ①口腔粘膜疾患の病態と治療を説明できる。
- ②咬合異常, 顎変形症について説明できる。
- ③顎や口腔の外傷について検査,症状,治療法を説明できる。
- ④歯性感染症の病態を説明できる。

腫瘍性疾患

口腔がん,唾液腺腫瘍,歯原性腫瘍について、病因、病期分類、検査所見、画像所見、病理所見、治療法を説明できる。

医学教育モデル・コア・カリキュラム 平成28年度改訂版(口腔外科) 参照

【身に着けてほしい能力】

<u>歯</u>や口腔, 顎の診察, 診察する能力

- 1. 咀嚼障害を引き起こす原因と治療について理解する
- 2. <u>咬合</u>や顎の形態異常, <u>顎関節</u>障害の原因と治療について理解する
- 3. 口腔の疾患が全身に及ぼす影響について理解する
- 4. 口腔に症状が表れる全身疾患や薬物の影響について理解する
- 5. 咀嚼や咬合の障害に対する治療について理解する

【評価方法】

筆記試験

【課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法】

課題の中で解らないところに対しては相談を受け指導を行う。

【問い合わせ】

- 1.0942-31-7577 (内線 3669)
- 2. <u>歯</u>科口腔医療センター 医局(臨床研究棟6F)



料目DB

指定・参考図書

英語DB



科目評価(新)



■ 医学教育モデル・コア・カリキュラム 平成28年度改訂版(口腔外科)

1/28 (金) 3限

【単元】口腔の構造と機能

【講義担当者】楠川 仁悟

【学習目標各論】摂食嚥下のメカニズムについて理解し,摂食・<u>嚥下障害</u>,咀嚼障害について学ぶ。

【準備学習】顎口腔領域の解剖と生理について学習しておく。

1/28 (金) 4限

【単元】歯や顎の疾患

【講義担当者】楠川 仁悟

【学習目標各論】 齲蝕症や歯周病および歯性感染症の病態について理解し,全身への影響について学ぶ。

1/31 (月) 3限

【単元】<u>顎関節</u>障害

【講義担当者】中村 守厳

【学習目標各論】 顎関節および周囲の解剖を理解し,重大な臨床症状である開口障害・閉口障害を引き起こす原因,病態を理解する。

【準備学習】顎口腔領域の解剖と生理について理解しておく。

1/31 (月) 4限

【単元】顎・口腔の外傷

【講義担当者】中村 守厳

【学習目標各論】外傷による咬合異常や咀嚼障害の病態と治療を理解する。

【準備学習】顎骨骨折について予習しておく。

2/1 (火) 3限

【単元】<u>咬合</u>異常と<u>顎変形症</u>

【講義担当者】楠川 仁悟

【学習目標各論】 咬合異常の病態を理解し、その治療法について学ぶ。

【準備学習】顎骨の解剖について復習しておく。

2/1 (火) 4限

【単元】咀嚼障害・口腔衛生管理

【講義担当者】楠川 仁悟

【学習目標各論】1.咀嚼障害に対する治療法について説明できる。 2.口腔ケアについて学ぶ。

【準備学習】1.摂食・嚥下について復習しておく。 2.歯ブラシを持参しておく。

2/2 (水) 3限

【単元】口腔<u>粘膜</u>疾患と<u>唾液腺</u>疾患

【講義担当者】中村 守厳

【学習目標各論】 口内炎"や呼吸を関係を関係を関係できる。

【準備学習】口腔症状を呈する全身疾患について1つは挙げられるよう,調べておくことが望ましい。

2/2 (水) 4限

【単元】全身疾患と口腔症状

【講義担当者】中村 守厳

【学習目標各論】全身疾患の部分症状として表れる口腔症状や化学療法や放射線治療と関連した<u>口内炎</u>などについて学び,口腔衛生の意義を理解する。

【準備学習】1.口腔症状を呈する全身疾患について1つは挙げられるよう,調べておくことが望ましい。

2.顎口腔に副作用を生じる薬物について調べておくことが望ましい。

2/4 (金) 3限

【単元】口腔腫瘍

【講義担当者】楠川 仁悟

【学習目標各論】口腔がん,<u>唾液腺</u>腫瘍,<u>歯</u>原性腫瘍の病因・病期・病態について説明ができる。

【準備学習】予習資料を電子シラバスにアップロードする。

2/4 (金) 4限

【単元】口腔腫瘍

【講義担当者】楠川 仁悟

【学習目標各論】口腔がん,顎骨腫瘍の治療,口腔機能の回復法について説明ができる。

【準備学習】予習資料を電子シラバスにアップロードする。

試験問題・解答(本試験)

あなたは 学生 アカウント としてログインしています (ログアウト) Home

日本語 (ja)

English (en)

日本語 (ja)

<u>ダッシュボード</u> / マイコース / <u>2021年度</u> / <u>2021年度・医学科</u> / 実習 / <u>3年</u> / <u>2021 RMCP</u>

RMCP

【統括責任者】

深水 圭

【何を学ぶか】

医療人として求められる社会的役割を担い、地域・国際社会に貢献する。

医学生が早期から医学研究を経験し、研究への意欲向上、医学生としての誇りを持つことにより、グローバルかつ探究心を備えた医師に成長することを目的とする。

RMCP後も継続を望めば、講座との話し合いにより許可されれば研究を継続できる。

【獲得すべき能力(全体)】

研究により医学的現象を客観的にとらえ、身に付けた洞察力・解析力・解決力を将来の診療に応用する。

【獲得すべき能力(個別)】

- 1. 医学研究の基礎知識を身に付け、研究仮説を立てることができる。
- 2. 実際の研究手技を習得する。
- 3. 研究実習遂行に必要な研究方法などの情報を収集することができる。
- 4. 研究結果を客観的にとらえることができる。
- 5. 研究結果を解析し、解釈することができる。
- 6. 研究結果をまとめる能力、発表能力を身に付ける。
- 7. 研究を通じてコミュニケーション能力を高めることができる。
- 8. 研究の重要性を認識し、将来の臨床診療の能力向上に活かすことができる。
- 9. 医学研究員としての誇り、自覚、態度を身に付ける。
- 10. 医学論文をPubmed等のソフトを用いて医学論文を検索することができる。
- 11. 英語の論文を読み説き、理解することができる。
- 12. 医学論文を書く力を身に付ける。

【身に着けてほしい能力】

医学生・社会人としての誇りを持ち、医学を探求する楽しさを感じてほしい。

【評価方法】

- 1. A3サイズのポスターをデータと紙媒体で作成・提出
- 2. 指導教員による学生評価表の提出

【問い合わせ】

久留米大学医学部内科学講座 腎臓内科部門 0942-35-3311 (5346)



料目DB

指定・参考図書

Aa 用語集

英語DB

科目評価(新)

お知らせ

実習期間:令和3年9月6日(月)~10月1日(金)

授業内容については、決まり次第お知らせいたします。